

# 全国の博物館における海洋教育実施状況調査 報告書

平成 26 年 8 月

公益財団法人 日本海事科学振興財団  
船の科学館  
「海と船の博物館ネットワーク活動」事業

# 全国の博物館における海洋教育実施状況調査 報告書

## 目次

---

### 1. 「全国の博物館における海洋教育実施状況調査」について

(1) 調査の目的	1
(2) 調査の概要	2
①調査内容と調査項目	2
②調査対象	3
③調査方法	3
④調査期間	4
⑤回収結果	4
■アンケート調査票	5

### 2. 調査結果について

(1) 集計結果（シングル）	11
①回答館の概要	11
②「海洋教育」の実施状況	16
③「海洋教育」「海洋基本法」の認知度	39
④これからの「海洋教育」の推進	40
(2) 集計結果（クロス）	47
①所在地域との関連性	47
②館種との関連性	50
③回答館のロケーションとの関連性	68
④「海洋教育」の活動内容との関連性	79
⑤「協力者」「協力内容」との関連性	86
⑥「海洋教育」に関する各館の意向との関連性	92

## 1. 「全国の博物館における海洋教育実施状況調査」について

### (1) 調査の目的

公益財団法人 日本海事科学振興財団（船の科学館）では、2006年度から「海と船の博物館ネットワーク活動」事業（日本財団助成）として、全国の博物館が開催する「海や船」をテーマとした企画展を支援することにより「博物館における海洋教育の促進」に取り組んできた。

しかし、博物館における海洋教育は企画展だけではなく、磯の観察会などの体験学習や学習教材を使用したハンズオン、さらには音楽や動画による体感学習など様々な手法で展開されている報告を目の当たりにしていたため、これまでの企画展支援だけでなく、近年の幅広い博物館活動に対応する新たな事業支援や連携を考えることとした。

そこで、新たな事業支援策や連携策を検討するため、全国の博物館ではどのような取り組みを行っているのか（どのような取り組みを計画しているのか）など、海洋教育の現状や課題、問題点を把握するための調査を実施した。

今後当財団では、本調査結果を基に既存の事業を抜本的に見直し、一般市民に対する海洋への興味喚起や重要性の理解促進を目的として、「博物館における海洋教育の推進」のサポート体制を構築し、事業化する予定である。

## (2) 調査の概要

本事業に適した調査を行うために、調査内容、調査項目、調査対象、調査方法などに関して検討・協議を図った上で、国内の主要な博物館を対象にアンケート調査を実施した。

### ①調査内容と調査項目

次の3つの事項について、アンケート調査を実施した。

- ・ 回答館の基本情報
- ・ 「海洋教育」(海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する学習)の実施状況
- ・ 「海洋教育」や海洋教育活動推進に向けた意識(認知度、要望等)

それぞれの調査内容における調査項目は、次の通りである。

調査内容	調査項目
回答館の基本情報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設の館種</li><li>・ 施設の設置者</li><li>・ 施設の運営者</li><li>・ 施設から海までの距離(要する時間や手段)</li><li>・ 学芸系職員の人数(非正規の職員を含む)</li><li>・ 海洋分野に通じる専門知識を持つ職員や、海洋分野に関連する資料を扱う職員の人数(非正規の職員を含む)</li></ul>
「海洋教育」の実施状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「海洋教育」の要素を含んだ活動実施の有無</li></ul> <p>*以下は、「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施したことがある館への項目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の種類</li><li>・ 活動の分野</li><li>・ 活動の頻度</li><li>・ 活動の目的</li><li>・ 活動への協力者の有無</li><li>・ 協力者の種類</li><li>・ 協力内容</li><li>・ 学校教育との関連性</li><li>・ 活動を実施した理由</li></ul> <p>*以下は、「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施したことがない館への項目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動を実施しない理由</li><li>・ 活動の種類(活動を実施すると想定した場合)</li></ul>

<p>「海洋教育」や 海洋教育活動推進に 向けた意識</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「海洋教育」という言葉への認知</li> <li>・「海洋基本法」への認知</li> <li>・これからの海洋教育活動への意識</li> <li>・海洋教育活動を充実させるために必要な事項、新たに海洋教育活動を実施するために必要な事項</li> <li>・必要となる協力者（種類）</li> <li>・必要となる協力・支援内容</li> <li>・博物館で伝えたい「海洋教育」の内容</li> </ul>
--	--

## ②調査対象

調査対象館数は1,000館と定め、次の観点（条件）をもとに施設を選定した。

- ・協議の上、設定した館種（総合博物館、歴史博物館、美術館、科学博物館、海事博物館、水族館、動物園・植物園、その他）の博物館
  - \*特に、海事博物館や水族館は優先的に選定した
  - \*本報告書では、科学博物館は「主に自然科学に関する資料を収集・保管・展示する施設」と捉え、自然史博物館を含めている
- ・全国47都道府県（海岸線を持たない「内陸県」を含む）の博物館
- ・国立・都道府県立・政令指定都市立・県庁所在都市立・中核市立の博物館
  - \*中核市の要件は、人口30万以上
- ・港湾都市や港町に所在する博物館
- ・「海と船の企画展」支援事業で支援を行ったことがある博物館（支援館）

## ③調査方法

本調査では、最近の高度情報化の状況を踏まえ、インターネットのWebを利用した回答を原則とする方式を採用した。そのために、調査対象の各館の担当者（回答者）がWebブラウザの画面上で回答し、その結果を保存蓄積して集計できる調査用システムを、以下の条件に基づいて構築した。

- ・トップページには、本調査に関する説明（趣旨等）や過去の「海と船の企画展」支援事業に関する情報を掲載するとともに、調査の回答のためのページとの双方への入口として機能させた。
- ・調査対象各館の識別番号およびパスワードを入力することによって、各館の担当者（回答者）が自館の回答を入力できる仕様とした。
- ・各館の入力担当者（回答者）が、入力結果を一時保存し、その保存結果を印刷して回答の再検討および館内協議を行い、必要に応じて修正した上で最終回答として確定させることができる仕様とした。
- ・入力された回答内容の相互間に論理的矛盾が無いかどうかを、機械的に判断できる範囲で検査し、入力担当者（回答者）に修正を促す仕様とした。

なお、調査対象館がWebシステムにより回答し難い場合には、郵送やFAX、eメールで回答を受け付けた。

#### ④調査期間

2014年6月9日、調査資料を調査対象館に一斉発送（全国一斉発送）。翌6月10日から回答及び問い合わせ対応開始。当初、調査期間は6月30日までと設定（3週間）していたが、調査期間満了前後に各館の担当者（回答者）から多くの連絡（要望）が寄せられたため、調査期間を1週間延期。7月7日、調査が完了した（最終的な調査期間は4週間）。

#### ⑤回収結果

調査票の配布数（調査対象館）と回収結果（回答館）は、次の通りである。

配布数	回答回収数	回答回収率
1,000館	534館	53.4%

## ■アンケート調査票

平成26年6月6日

### 全国の博物館における海洋教育実施状況調査

#### 【回答に当たっての留意事項】

1. 該当する項目の番号を1つ選んでご回答いただく設問のほか、2つ（設問Ⅱ⑫）や3つ（設問Ⅲ⑦）の番号を選んでご回答いただく設問があります。なお、該当するすべての番号を選んでご回答いただく設問には、「**複数回答**」と表示しています。
2. 文字や数値でご回答いただく設問もあります。
3. 本調査は、平成26年6月30日（月）までにご回答ください。

以下の館園ID（数字5桁）とパスワード（英数字5桁）をインターネットアンケート調査ログイン（<http://www.f-museumnet.com/>）の際にご入力ください。

館園ID	パスワード

館園名等をご記入ください。

館園名：	_____		
都道府県名：	_____	電話：	(     )
回答者氏名：	_____		
所属部署：	_____	役職：	_____

※ご記入いただいた氏名や所属部署・役職等に関する個人情報は、個人情報保護の観点から厳正に扱います。本調査以外の目的で使用することはありません。

※本調査結果は、集計のうえ、船の科学館Web上で公開する予定です。集計した結果をもとに報告をまとめますので、ご回答いただいた館園名が特定できる形で公表することはありません。

I. 貴館の基本情報について教えてください。

<b>① 館種</b>			
1. 総合博物館	2. 歴史博物館	3. 美術館	4. 科学博物館
5. 海事博物館	6. 水族館	7. 動物園・植物園	
8. その他 [具体的に :			]
<b>② 設置者</b>			
1. 国	2. 独立行政法人	3. 都道府県	4. 市・区
5. 町・村	6. 公益財団法人・社団法人	7. 一般財団法人・社団法人	8. 学校法人・宗教法人
9. 会社組織	10. その他 [具体的に :		
			]
<b>③ 運営者</b>			
1. 国	2. 独立行政法人	3. 都道府県	4. 市・区
5. 町・村	6. 公益財団法人・社団法人	7. 一般財団法人・社団法人	8. 学校法人・宗教法人
9. 会社組織	10. その他 [具体的に :		
			]
<b>④ 事業への参加者を連れて、貴館から海まで行こうとすると、どの程度かかりますか？</b> 以下より <b>最も近い</b> 選択肢を選んでください。			
1. 徒歩 15 分程度で着くことができる			
2. 徒歩 30 分～1 時間程度で着くことができる			
3. 電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない			
<b>⑤ 学芸系職員の数（非正規の職員を含む） &lt;平成 26 年 6 月時点の状況をご記入ください&gt;</b> * 学芸系職員は、研究者、飼育・栽培担当職員、教育担当職員等を含めてください。			
_____人			
<b>⑥ 上記設問⑤のうち、</b> 海洋分野に通じる専門知識を持つ職員や、海洋分野に関連する資料を扱う職員の数			
_____人			



II. 海洋基本法（H19施行）及び海洋基本計画（H20・H25閣議決定）において、学校教育及び社会教育における、海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する学習（海洋教育）の推進が謳われています。そこで、貴館における、海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する学習の推進につながる取り組み（以下、「海洋教育」という）について教えてください。

<p>① 貴館では、これまで「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施したことはありますか？ *活動の一部が海洋教育につながる場合も「実施したことがある」でご回答ください。</p>
<p>1. 実施したことがある 2. 実施したことがない →設問II⑩へ</p>

※設問II①で「1. 実施したことがある」と答えた方に伺います。

<p>② それはどのような活動ですか？（複数回答）</p>
<p>1. 常設展 2. 企画展（特別展） 3. 教育普及事業     [具体的に： ]     【記入例】磯の観察会、渚の体験学習、ワークシート・手引きの作成・配布、館内ガイド、講演会、アウトリーチ等 4. 調査研究事業 5. その他 [具体的に： ]</p>
<p>③ それはどのような分野を扱った活動ですか？（複数回答）</p>
<p>1. 総合（複数の分野を扱った活動）      2. 歴史・民俗      3. 自然・環境 4. 理工      5. 美術      6. 産業 7. その他 [具体的に： ]</p>
<p>④ それはどのくらいの頻度で行っていますか？ *連続する1つの活動の実施（開催）期間は「1回」と捉えて、ご回答ください。</p>
<p>1. 1年に何回（2回～）も実施      2. 1年に1回実施      3. 何年かに1回実施 4. その他 [具体的に： ]</p>
<p>⑤ それはどのような目的で行っていますか？（複数回答）</p>
<p>1. 海に親しむことを目的にした学習 2. 海を知るための学習 3. 海を守る（環境、資源、文化、生態系等を守る）ことを伝える学習 4. 海を利用する（水産物、資源、レジャー、交通等）ことを伝える学習</p>
<p>⑥ 「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施する際に、（館外の機関や個人等の）協力者はいますか？</p>
<p>1. 協力者はいる 2. 協力者はいない →設問II⑨へ</p>
<p>⑦ 上記設問⑥で「1. 協力者はいる」と答えた方に伺います。 どのような協力者がいますか？（複数回答）</p>
<p>1. （自館以外の）博物館      2. （自館以外の）学芸員 3. 博物館関連団体や博物館に関するネットワーク      4. 大学や研究機関 5. （大学以外の）教育機関（小・中学校、高等学校等）      6. 漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体 7. 財団法人等の公益機関      8. 民間企業 9. 市民団体やNPO 10. 海洋に関する専門職業に従事している（従事していた）人 11. 市民サポーター 12. その他 [具体的に： ]</p>

⑧ 上記設問⑥で「1. 協力者はいる」と答えた方に伺います。  
 どのような協力を得て実施していますか？（複数回答）

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| 1. 教材の提供                   | 2. 講師の派遣         |
| 3. 施設見学と解説の対応              | 4. 授業やプログラムの共同開発 |
| 5. 体験学習用の施設の利用             | 6. 体験学習に必要な機材の提供 |
| 7. 「海洋教育」の要素を含んだ活動に関する情報発信 |                  |
| 8. 活動を実施する際の人的サポート         |                  |
| 9. その他〔具体的に： 〕             |                  |

⑨ 貴館における「海洋教育」の要素を含んだ活動は、学校教育と関連したものでしょうか？  
 以下より当てはまる選択肢を選んでください。（複数回答）

1. 教科書に記載されている内容を伝えている
- 〔 \* 「1.」を選択した方は、主なもので構いませんので以下についてご回答ください。 〕  
 〔対象学年・教科・単元： 〕  
 【記入例】「小学2年・生活科・生きものなかよし大作せん」「小学5年・社会科・わたしたちの生活と食糧生産」  
 「小学6年・理科・大地のつくりと変化」「中学2年・総合・職業体験」
2. 総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている
3. 体験学習ができる活動を行っている
4. 学校（小・中学校、高等学校等）に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている
5. 学校教育や学校のカリキュラムとは関連していない

⑩ 貴館が「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施した理由は何ですか？（複数回答）

1. 海洋に関する資料があるため
2. 近隣もしくは周囲に「海洋教育」を行うことができる環境があるため
3. 海洋に関する専門知識を持った人材がいるため
4. 自館の使命や理念・方針に合致しているため
5. その他〔具体的に： 〕

※設問Ⅱ①で「2. 実施したことがない」と答えた方に伺います。

⑪ 貴館が「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施したことがない理由は何ですか？（複数回答）

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 1. 自館の使命や理念・方針に合わない    | 2. 海が近くにない      |
| 3. 活動する場所がない           | 4. 活動するための人材がない |
| 5. 活動するための専門知識やノウハウがない | 6. 活動するための予算がない |
| 7. 海洋に関する資料がない         |                 |
| 8. その他〔具体的に： 〕         |                 |

⑫ 貴館が「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施するとしたら、どのような活動を実施しますか？  
 以下の選択肢から2つまで選んでください。

1. 常設展
2. 企画展（特別展）
3. 教育普及事業  
 〔具体的に： 〕  
 【記入例】磯の観察会、渚の体験学習、ワークシート・手引きの作成・配布、館内ガイド、講演会、アウトリーチ 等
4. 調査研究事業
5. その他〔具体的に： 〕

Ⅲ. 「海洋教育」や海洋教育活動推進に向けたご意見をお聞かせください。

<b>① あなたは「海洋教育」という言葉を知っていますか？</b>	
1. 知っている	
2. 知らない	
<b>② あなたは「海洋基本法」について知っていますか？</b>	
以下より <b>最も近い</b> 選択肢を選んでください。	
1. 海洋基本法において「学校教育及び社会教育における海洋に関する教育の推進」が掲げられていることを知っている	
2. 海洋基本法の存在は知っている	
3. 海洋基本法を知らない	
<b>③ 貴館におけるこれからの海洋教育活動に関するお考えをお聞かせください。</b>	
1. 今よりもさらに充実させたい	
2. 今のまま実施できれば良い	
3. (これまででは実施していなかったが) 実施したい	
4. 実施したいができない(と思う)	
5. 実施しない →設問Ⅲ⑦へ	
<b>④ 上記設問③で「1, 2, 3, 4」を選択した方に伺います。</b>	
海洋教育活動(の質と量)を充実させたり、新たに海洋教育活動を実施するために必要なものは何ですか？(複数回答)	
1. 外部からの協力・支援	
2. 予算	
3. 海洋に関する資料の充実(質・量)	
4. 海洋に関する調査研究活動の充実	
5. 海洋に関する最新の情報	
6. 学芸員や職員のスキルアップ(必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等)	
7. 博物館間や学芸員同士のネットワーク	
8. 関連機関や専門機関とのネットワーク	
9. 組織・人員体制の充実	
10. 場所や設備・機材の充実	
11. その他[具体的に: ]	
<b>⑤ 上記設問④で「1. 外部からの協力・支援」を選択した方に伺います。</b>	
どのような協力者が必要ですか？(複数回答)	
1. (自館以外の)博物館	
2. (自館以外の)学芸員	
3. 博物館関連団体や博物館に関するネットワーク	
4. 大学や研究機関	
5. (大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)	
6. 漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体	
7. 財団法人等の公益機関	
8. 民間企業	
9. 市民団体やNPO	
10. 海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人	
11. 市民サポーター	
12. その他[具体的に: ]	
<b>⑥ 上記設問④で「1. 外部からの協力・支援」を選択した方に伺います。</b>	
どのような協力・支援が必要ですか？(複数回答)	
1. 専門知識・情報の提供	
2. 海洋教育活動の事例紹介	
3. 関連資料や教材の提供	
4. 専門家の派遣	
5. 活動実施に係る資金面の助成	
6. 研究会や研修会の実施	
7. その他[具体的に: ]	

⑦ 博物館における「海洋教育」ではどのような内容を伝えたいと思いますか？

ご自身のお考えに近い選択肢を3つまで選んでください。

- |                                     |                       |
|-------------------------------------|-----------------------|
| 1. 海に関連した文化や芸術に関する内容                | 2. 海にまつわる歴史に関する内容     |
| 3. 海や地球の仕組みに関する内容                   | 4. 海に生きる生物に関する内容      |
| 5. 海の環境に関する内容                       | 6. 海と私たちの生活の関連性に関する内容 |
| 7. 海の災害や防災に関する内容                    | 8. 海での観光やレジャーに関する内容   |
| 9. 海から得ることができる資源やエネルギーに関する内容        |                       |
| 10. 海に関する産業など経済活動に関する内容             |                       |
| 11. 海に関する体験学習（臨海学校、磯のフィールド調査、漁業体験等） |                       |
| 12. その他〔具体的に：                       | 〕                     |
| 13. 特になし                            |                       |

本調査にご協力いただき、ありがとうございました。

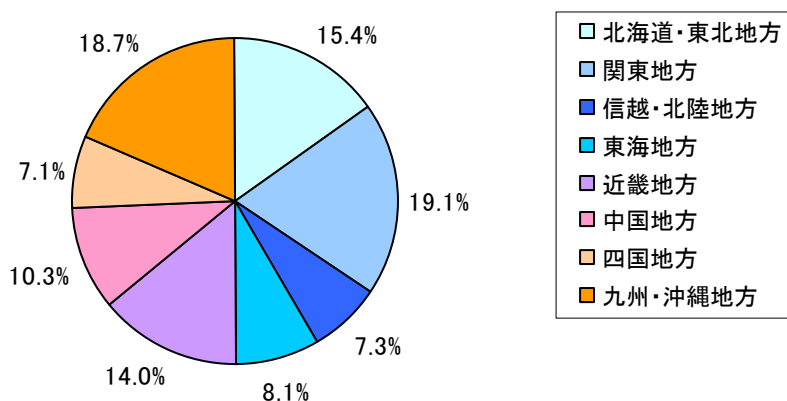
## 2. 調査結果について

### (1) 集計結果（シングル）

#### ①回答館の概要

所在地

< n 値=534 >



回答館を所在地域別に見ると、回答が多く寄せられたのは、関東地方、九州・沖縄地方、北海道・東北地方、近畿地方、中国地方、東海地方、信越・北陸地方、四国地方の順である。

#### <地方の設定・分類について>

##### 北海道・東北地方

(北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)

##### 関東地方

(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県)

##### 信越・北陸地方

(新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県)

##### 東海地方

(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)

##### 近畿地方

(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)

##### 中国地方

(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)

##### 四国地方

(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)

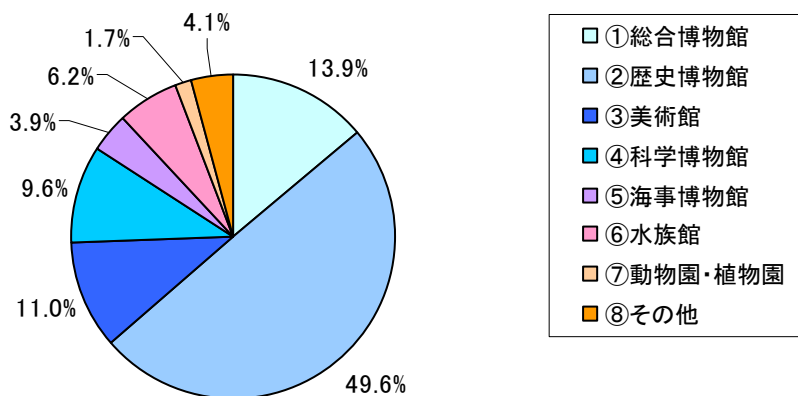
##### 九州・沖縄地方

(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

都道府県	調査対象数	回答数	都道府県別 回答率(%)	構成比(%) <n値=534>
北海道	78	43	55.1	8.1
青森県	15	9	60.0	1.7
岩手県	14	11	78.6	2.1
宮城県	16	9	56.3	1.7
秋田県	9	6	66.7	1.1
山形県	10	2	20.0	0.4
福島県	9	2	22.2	0.4
茨城県	23	13	56.5	2.4
栃木県	3	2	66.7	0.4
群馬県	4	3	75.0	0.6
埼玉県	14	8	57.1	1.5
千葉県	34	21	61.8	3.9
東京都	56	30	53.6	5.6
神奈川県	41	21	51.2	3.9
山梨県	5	4	80.0	0.7
新潟県	27	12	44.4	2.2
富山県	19	11	57.9	2.1
石川県	25	9	36.0	1.7
福井県	19	7	36.8	1.3
長野県	8	0	0.0	0.0
岐阜県	6	3	50.0	0.6
静岡県	27	14	51.9	2.6
愛知県	27	16	59.3	3.0
三重県	16	10	62.5	1.9
滋賀県	10	6	60.0	1.1
京都府	22	14	63.6	2.6
大阪府	29	17	58.6	3.2
兵庫県	39	25	64.1	4.7
奈良県	6	4	66.7	0.7
和歌山県	20	9	45.0	1.7
鳥取県	14	7	50.0	1.3
島根県	18	7	38.9	1.3
岡山県	16	6	37.5	1.1
広島県	35	17	48.6	3.2
山口県	29	18	62.1	3.4
徳島県	13	4	30.8	0.7
香川県	24	14	58.3	2.6
愛媛県	28	12	42.9	2.2
高知県	18	8	44.4	1.5
福岡県	39	25	64.1	4.7
佐賀県	14	11	78.6	2.1
長崎県	31	11	35.5	2.1
熊本県	11	7	63.6	1.3
大分県	12	8	66.7	1.5
宮崎県	9	3	33.3	0.6
鹿児島県	32	19	59.4	3.6
沖縄県	26	16	61.5	3.0
合計	1000	534	53.4	100.0

設問 I ① 館種

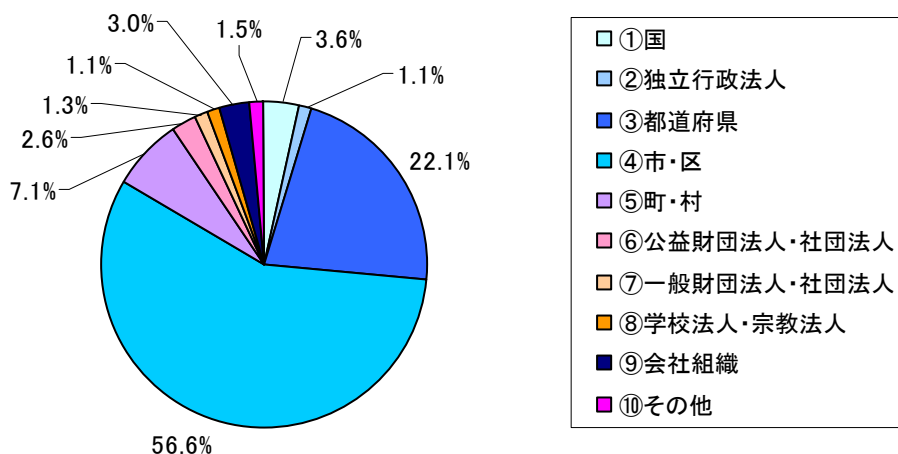
< n 値=534 >



回答館を館種別に見ると、回答が多く寄せられたのは、歴史博物館、総合博物館、美術館、科学博物館、水族館、その他、海事博物館、動物園・植物園の順である。特に、歴史博物館は回答館全体の約半数に該当している。

設問 I ② 設置者

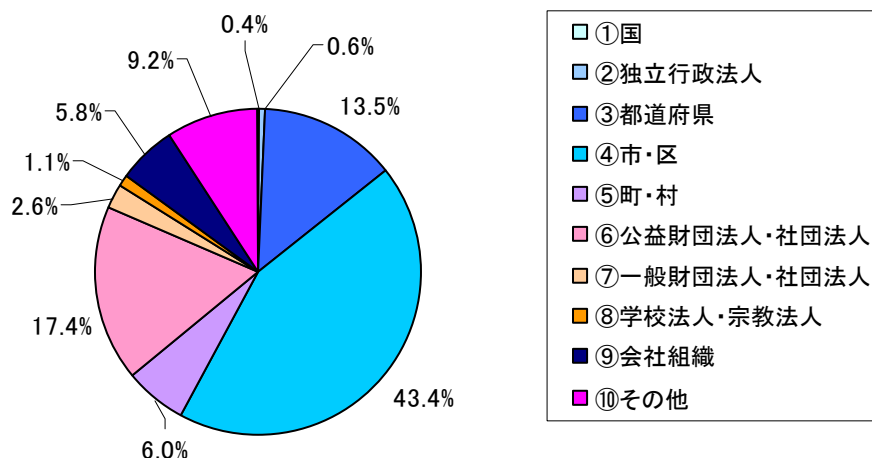
< n 値=534 >



回答館を設置者別に見ると、回答が多く寄せられたのは、市・区、都道府県、町・村、国、会社組織、公益財団法人・社団法人、その他、一般財団法人・社団法人、独立行政法人、学校法人・宗教法人（独立行政法人と同数）の順である。特に、市・区は回答館全体の半数以上を示しており、都道府県と合わせると全体の約8割に該当する。

設問 I ③ 運営者

< n 値 = 534 >

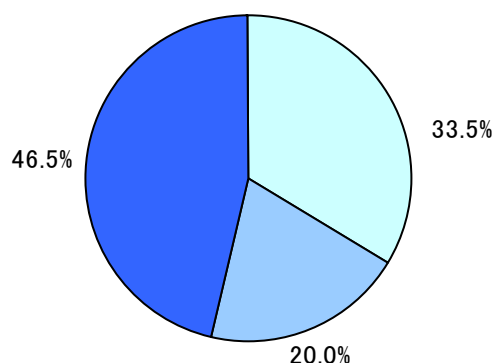


回答館を運営者別に見ると、回答が多く寄せられたのは、市・区、公益財団法人・社団法人、都道府県、その他、町・村、会社組織、一般財団法人・社団法人、学校法人・宗教法人、独立行政法人、国の順である。特に、市・区は回答館全体の4割以上を示しており、公益財団法人・社団法人と合わせると全体の6割以上に該当する。

設問 I ④ 事業への参加者を連れて、貴館から海まで行こうとすると、どの程度かかりますか？

< n 値 = 531 >

- ①徒歩15分程度で着くことができる
- ②徒歩30分～1時間程度で着くことができる
- ③電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない



この設問は、施設から海までの距離を、要する時間や手段で尋ねている。回答が最も多かったのは、「電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない」で約半数を数えた。一方、海まで「徒歩15分程度で着くことができる」と回答した施設も全体の3分の1を記録している。



設問 I ⑤ 学芸系職員の人数(非正規の職員を含む) <平成 26 年 6 月時点の状況をご記入ください>

< n 値=525 >

I ⑤学芸系職員の人数	度数	%
0人	57	10.9
1人	67	12.8
2人	53	10.1
3人	57	10.9
4人	58	11.0
5～9人	131	25.0
10人以上	102	19.4
合計	525	100.0

平均値	6.5
中央値	4.0
最大値	59.0
最小値	0.0

最も多い回答は「5～9人」で、全体の4分の1を示している。次いで多い「10人以上」の回答と合わせると、全体の44.4%に該当する。一方、「0人」の回答も全体の1割以上を示している。

設問 I ⑥ 設問 I ⑤のうち、海洋分野に通じる専門知識を持つ職員や、海洋分野に関連する資料を扱う職員の人数

< n 値=523 >

I ⑥海洋分野の専門知識を持つ職員数	度数	%
0人	402	76.9
1人	36	6.9
2人	34	6.5
3人	19	3.6
4人	9	1.7
5～9人	11	2.1
10人以上	12	2.3
合計	523	100.0

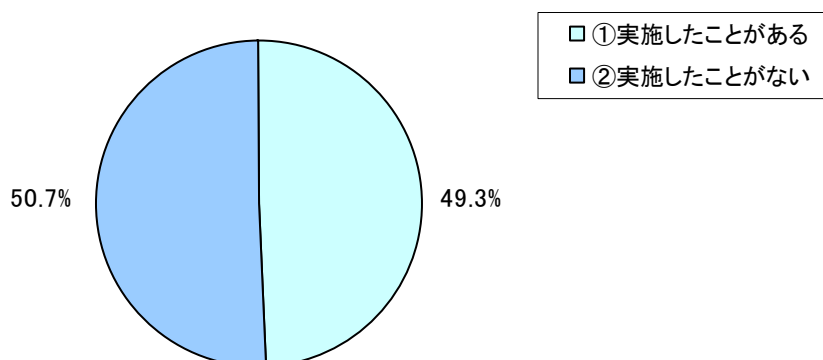
平均値	1.1
中央値	0.0
最大値	59.0
最小値	0.0

最も多い回答は「0人」で全体の4分の3以上の施設が回答している。平均値が1.1人であることや、職員数の分布(0人に次いで、1人、2人が多い)からも海洋分野に関する職員が全体的に少ないことがわかる。

## ②「海洋教育」の実施状況

設問Ⅱ① 貴館では、これまで「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施したことはありますか？

< n 値=534 >

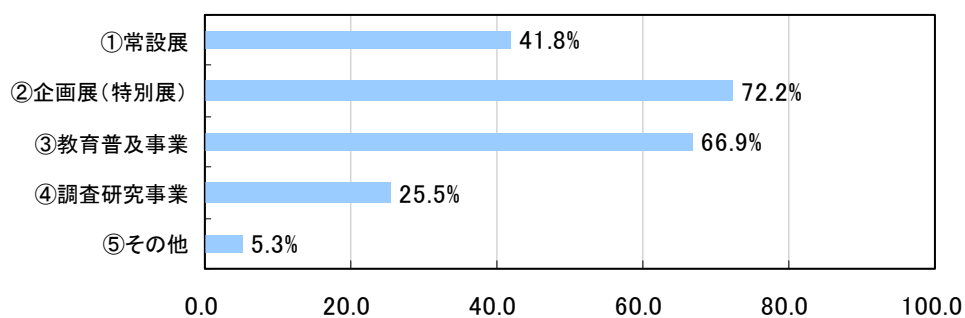


これまで「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施したことがあると回答した施設は、全体の約半数である。

※設問Ⅱ①で「1. 実施したことがある」と答えた方に伺います。

設問Ⅱ② それはどのような活動ですか？（複数回答）

< n 値=263 >



最も多い活動は「企画展（特別展）」で全体の7割以上を示している。次いで、「教育普及事業」が多く、もう少しで全体の7割に届きそうな値である。常に「海洋教育」に繋がる展示（常設展示）を有している施設も全体の4割以上を記録した。また、「海洋教育」の推進に繋がる調査研究事業に取り組んだことのある施設も全体の4分の1以上を数えた。

設問Ⅱ② 3. 教育普及事業

「海洋教育」の要素を含んだ教育普及事業を実施したことがあると回答した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している／一部の回答は要約して掲載している）。

人材育成事業でアイヌの伝統的な漁法などを行った（一般財団法人・歴史）
ロープワーク講習、灯台ペーパークラフト作り（町・海事）
水族館写生会（水族館の魚を観察し写生する）（市・美術）
海浜植物観察会（町・総合）
磯の生物観察会、ガイドツアー、水圧実験（会社・水族）
「砂をじっくり観察しよう」（MAREのプログラム：舞台の上の砂、砂が見た風景）（市・総合）
磯の生物観察会（市・総合）
ビーチコーミング体験（町・歴史）
磯の観察会、漂着物観察会（ビーチコーミング）、コンブに関する講演会（町・歴史）
浜辺の漂着物を調べる（市・総合）
ビーチコーミング（市・総合）
「チリメンモンスターを探そう」（チリメンジャコの中に混ざっている小さな生き物を観察することで、生き物、自然環境、食べ物、水産業などに興味を持ってもらう企画）（会社・水族）
「海と港」児童絵画展、北洋漁業講演会、特別写真展、海草おしば作り（市・海事）
講座、講演会など（都道府県・歴史）
体験学習（都道府県・科学）
ハイダルカ試乗体験（都道府県・歴史）
北海道大学海藻研究施設の協力を得て、毎年小学生を対象とした海藻標本作りを行っている（市・科学）
磯の観察会、小生物の観察（市・科学）
サマースクール（市・水族）
磯歩き（町・総合）
ビーチコーミング、海の生物の化石採取（市・科学）
セミナー、シンポジウム、出張講演、工作教室、実験教室、修学旅行、校外学習の受け入れ等（市・海事）
講演会、魚の解剖教室、海のサイエンスショー、日本の砂浜MAP展示 等（市・科学）
海図について紹介など（市・総合）
貝化石をテーマにした観察会や海底に堆積した地層見学を実施。魚の缶詰展や海の生きものたちの絵を水族館と連携した展示を実施した（都道府県・総合）
浜小屋での体験学習、リーフレット作成、講演会（市・歴史）
海を中心として、地球科学、自然、歴史、文化等、総合的な分野における体験学習クラブの運営（市・科学）
児童生徒を対象にした海の勉強会（市・海事）
講演会（都道府県・総合）
海辺の生物観察会、チリメンモンスターをさがせ！（市・総合）

船の上からのイカ釣り体験（市・歴史）
磯の観察会、浜辺のクリーン作戦（国・科学）
地元の保育園、小学校等へのお出前水族館。一般を対象とした、「さかなクン」を招いてのトークショー（市・水族）
海岸の堆積物の観察会（国・総合）
体験学習、館内ツアー、シンポジウム、船内マップの作成（都道府県・海事）
古代の塩づくり（市・歴史）
磯の観察会（都道府県・総合）
チリメンモンスターをさがせ（都道府県・総合）
むかし体験塾—夏休みワクワク化石発見隊?!、海岸での観察とお話し、アンモナイトのレプリカ作成（市・総合）
ジュニア学芸員の活動（ビーチコーミングや貝化石など）、磯の観察会（生物、化石）、講演会（生物、化石等）など（都道府県・科学）
親子向け自然体験講座、磯の観察会、ビーチコーミング（都道府県・水族）
磯の観察会（都道府県・水族）
サイエンス・サタデー（都道府県・科学）
友の会、サマースクール、飼育係体験、アウトリーチ（会社・水族）
貝殻細工などの展示、絵馬の解説（その他・美術）
縄文時代の干潟あとの見学会、現在の干潟の見学会（市・歴史）
歴史講座（市・歴史）
講座（市・歴史）
地引き網にかかる生物、磯辺の観察会など（都道府県・総合）
磯の観察会：地引き網（都道府県・総合）
出前授業、館内ガイド、観察キットの作成と貸し出し、フィールドトリップ、バックヤードツアー、タッチプール、観察会、講座、みんなで工作、ワークシート・手引きの作成・配布（都道府県・科学）
海棲動植物を研究する研究者による野外学習や講演など（独立行政法人・科学）
解説員による解説（会社・水族）
学習会（国・海事）
干潟の観察会、磯の観察会、館内における生物ガイド、サマースクール、夜の観察会、講演会、教員研修会、幼児向け教育プログラム、ガイドツアーなど（都道府県・水族）
地球環境の変化（海水面の変化）など（区・総合）
磯の観察会、海の生物に関するスライドショー（都道府県・その他）
干潟（東京湾三番瀬）の観察会（区・動植物）
ギャラリートーク（展示解説）（一般財団法人・歴史）
ビーチコーミング（村・総合）
船や港の見学会（公益財団法人・総合）
社会科見学船及び海事施設見学研修、港見学会及び親子社会科見学会 等（その他・海事）
浜辺の生き物観察会、講演会、生物調査の結果報告（区・歴史）
磯の観察会、ビーチコーミング、海藻おしばづくり（町・歴史）

磯の観察会・体験学習、海藻観察会、ウミホタル観察会、館内ガイド、海藻標本作り、マダイ放流大会（都道府県・科学）
磯の生物・地形観察会、漂着物を拾う会（市・総合）
磯の生きもの、海藻、海浜性昆虫、海岸植物などの観察会、手引きの配布など（市・総合）
学校社会科見学、学校出前授業、講座など（市・歴史）
港の観察会、シーカヤック教室、水産研究所見学会、港湾施設の見学会、海図教室、船の見学会（市・歴史）
磯の観察会、魚類標本・写真に関する講座、講演会、ギャラリートーク、総合学習への対応、インターンシップ対応（都道府県・科学）
ワークシートを活用した子ども向け事業（都道府県・歴史）
ワークシート、館内ガイド、講演会（会社・歴史）
磯の観察・釣り・塩づくり・オリジナル船づくり等ワークショップ、展示物の解説資料作成と配布、講演会（都道府県・水族）
磯の生き物観察会、プランクトン観察会、ワークシート、講演会等（町・科学）
漂着物・浜下駄の利用、磯の観察会など（市・総合）
アウトリーチ、海の観察会、ワークシートの作成、講演会、館内ガイド（市・水族）
貝殻ひろい（海岸で貝を拾い同定）、標本の名前を調べる会（8月末の日曜日：貝など海岸動物の同定）（市・科学）
和船の櫓漕ぎ体験、和船と操船具・漁撈用具の見学ツアー、漁業・和船をテーマとする講座（市・歴史）
体験（学習）の提供、指導者の育成（都道府県・海事）
北前船に関するシンポジウムや北前船の模型づくり教室（都道府県・歴史）
磯の生物観察会、講演、地引き網体験（会社・水族）
ワークショップにて、川や海を染色等によって表した和紙の上に、命としてのつながりをドットで表現した（都道府県・美術）
移動水族館など（会社・水族）
体験学習、出前授業など（学校法人・科学）
講演会、館内ガイド（市・歴史）
磯の観察会（市・水族）
親子海苔すき体験（市・歴史）
干潟の観察会、漂着物の観察会、ガイドブックの作成、出前授業（市・科学）
自然観察会（市・水族）
講演会（市・その他）
磯の観察会（会社・水族）
「少年海洋教室」（磯で採集した生物を手作りの水槽で飼育する）（会社・水族）
社会見学等の受入・解説、生物観察等のイベント、アマモ場再生事業など（公益財団法人・海事）
講演会（市・総合）
体験学習会（市・歴史）
琵琶湖の水の流れる先は大阪湾であるという学習（水源から下流まで：講義形式が中心）（都道府県・総合）
展示「磯の環境～海の中の生命」の解説、ウニ、ナマコ、ヒトデ等に触れる（市・科学）

二枚貝や三葉虫を題材とした海の生き物についての事業（国・総合）
漂着物の展示、海浜植物の紹介、希少海浜植物の試験栽培、育苗作業、写真展、学校等の総合的学習、フィールドワーク、講演会、館内ガイド、ガイドウォーク（公益財団法人・その他）
磯、砂浜、干潟など海岸全般における観察会（試食を含む）、漁港における漁獲物の観察会（試食を含む）、講演会、海関係のサークルによる定点調査、市民参加型の海洋生物の調査など（市・科学）
各種スクール（磯観察など）（その他・水族）
講演会（市・歴史）
浜辺の観察会、漂着物観察会、講演会など（市・科学）
磯の観察会、漁港観察会、講演会など。チリメンモンスター（チリメンジャコの中の混じり物をさがす）のイベント（市・科学）
イベント「貝の世界展」（市・総合）
子ども体験スクール・小中高生の海事体験や見学プログラム、他大学の学生や社会人のキャンパス訪問や体験プログラム（国・海事）
連携授業「はるかなる西洋」の実施（市・歴史）
磯の観察会、渚の体験学習、ワークシート・手引きの作成・配布、館内ガイド、講演会、アウトリーチ等（市・水族）
自然史講座（小学・中学生を対象とした講話と観察会）（市・総合）
「歴史と文化体験教室」（市内の漁港から、漁船に乗り、養殖業を見学）（市・歴史）
海辺での生きもの観察会や小学校での出前教室など（市・水族）
体験教室「海水から塩作り」（市・歴史）
地元中学校の総合学習（オカヤドカリ調査、海浜植物調査、磯焼け調査、海藻調査）（会社・水族）
史跡ガイドツアー、講演会（町・歴史）
鳴り砂に関する展示（ロビー展示）（市・総合）
漂着物講座（市・歴史）
流木等を使ったワークショップ。海をテーマとした作品作りとその展覧会など（市・美術）
生き物教室（国・総合）
カプトガニ保護少年団研修会、自然体験学習「海辺の学校」ほか（市・科学）
海洋生物の観察会（市・科学）
子ども向け化石づくりのワークショップ（市・歴史）
講演会、化石発掘体験（町・科学）
ノリ漉き体験・カキ船料理教室（市・歴史）
海の生き物教室（市・科学）
磯の観察会（市・動物）
海岸沿いのスケッチなどの絵画教室（市・美術）
体験航海（市・海事）
新入生を対象とした里海教育、フィールドナビ（野外観察会）として海洋調査船を活用した調査体験ツアー、講演会、手引きの作成、干潟の観察会（国・総合）
干潟の生物観察会、磯の生物観察会、カプトガニ産卵観察会、カプトガニ幼生観察会（都道府県・総合）

ツノシマデンマ（伝馬船）の艫漕ぎによる操舵法を学ぶ（市・歴史）
海の貝調べ（市・科学）
総合学習としての海洋生物の観察、講演会、市民参加型展示など（市・歴史）
講演会（町・水族）
「磯の生き物」や「漂着物をさがそう」などの普及行事（都道府県・総合）
海洋環境教室（遠足・校外学習利用時は入館無料）（公益財団法人・海事）
小学生とその家族を対象に磯や干潟の生き物観察会を行っている（都道府県・科学）
海藻おしば教室や漂着物を使ったアート作品づくり教室の実施（都道府県・歴史）
ミュージアム・レクチャー「イルカの中からだと海のゴミ」「瀬戸内に生息する生物たち」（国・総合）
干潟の観察会（市・歴史）
青少年科学活動クラブによる岩礫（がんれき）浜の生物の観察調査（市・総合）
「日本海軍の海図パネル展」及びワークショップ（市・歴史）
移動水族館、磯の観察、ビーチコーミング、館内ガイド（都道府県・水族）
セミナー（歴史、船舶、航海などについて専門職から講演）、航海実習（船内見学、海洋高実習と同じ実習：ロープ、漁具、漁、六分儀など）（都道府県・歴史）
ペンギン、アシカの給餌解説サービス。水族館との交流イベントとしてタッチングプールなど（都道府県・動物）
連続講座（市・その他）
海洋生物の観察会、講演会、展示解説、工作教室など（市・総合）
海上保安庁OBによる体験学習、ワークシート（市・その他）
子どもワークショップ「南蛮船をつくろう」など（学校法人・歴史）
海女の講話（体験談）（市・歴史）
企画展に伴うギャラリートーク、講演会、図録の発行（町・歴史）
カプトガニの観察会、干潟の生物観察会、野鳥観察会（市・歴史）
児童生徒に漁業を紹介する講座、HPで発信（市・総合）
一般市民に対して、常設展と造船工場の見学会を実施（会社・歴史）
海の生物観察（科学教室）、イベント「貝の世界展」（市・科学）
海洋学の講師を招いた講演会（市・歴史）
海洋コアを用いた観察実習（公益財団法人・科学）
磯の生物の観察会（市・総合）
貝殻や漂流物を使用した工作（市・美術）
「チリメン図鑑をつくろう」（室内）、「干潟の生きものを観察しよう」（野外）（都道府県・総合）
講演会（都道府県・歴史）
磯の観察会、館内ガイド、バックヤード探検、講演会、館内イベント、出前授業、飼育体験、体験講座など（市・水族）
観察会、講演会など（国・総合）
講演会（市・歴史）
実験ショー「海と環境を科学する」、ビーチコーミング「海のふしぎ探検隊」、科学工作「浮沈子をつくろう」、海水を科学する一豆腐づくり（市・動物）

磯の観察会（町・総合）
磯の観察会（村・歴史）
海浜観察会など（町・総合）
磯の観察会、GODAC との連携で海洋プランクトン観察実習（都道府県・総合）

「磯や干潟・海浜・海辺などの観察会（磯などの生きものの観察会を含む）」が最も多く見られた。次いで、「各種講座・講演会・セミナー」も多く見られる。ほかには、「ビーチコーミング（漂着物観察会）」「写生・絵画・工作・アートに関する事業」「漁法・漁業・水産業・釣り・漁獲に関する体験学習」「アウトリーチ（出前・出張授業や移動水族館など）」「船や航海、港に関する事業（講習、試乗体験、施設見学会、ワークショップなど）」「ワークシート・手引き・ガイドブックの作成・配布」の順で回答が多く見られた。また、「チリメンモンスター」に関する事業や海藻おしば・標本づくり、浜辺のクリーン作戦、マダイ放流大会、アマモ場再生事業、希少海浜植物の試験栽培・育苗作業、海洋調査船を活用した調査体験ツアーなど、特徴的な事業も見られる。

#### 設問Ⅱ② 5. その他

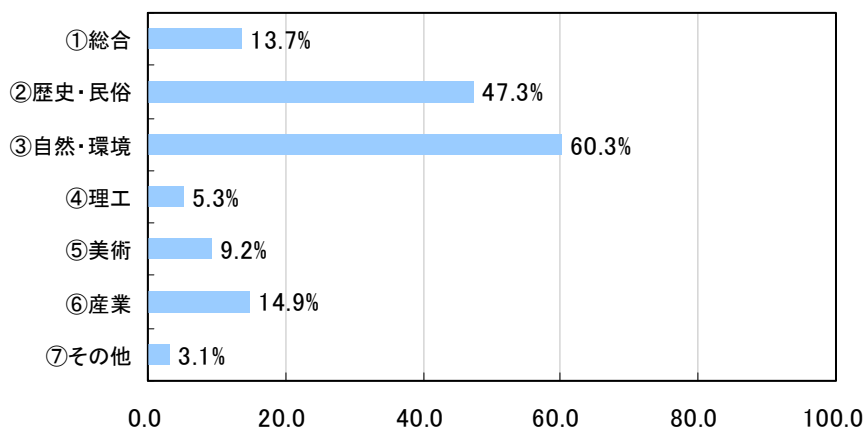
「海洋教育」の要素を含んだ活動内容に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設定者と館種を記している／一部の回答は要約して掲載している）。

出版、教材の制作（市・海事）
海の日イベント（生物のタッチングコーナーの設置等）など（都道府県・科学）
NPO 法人日本渚の美術協会の特設展（シーボーンアート展）（都道府県・動物）
教員向け研修、依頼講演、執筆活動（都道府県・科学）
調査報告書の刊行と頒布（市・歴史）
海洋動物の保護（オットセイ、ウミガメ）（会社・水族）
京都府立大学による ACTR（地域貢献型特別研究制度）採択による琴引浜における海浜植物、昆虫などの調査研究（公益財団法人・その他）
海洋少年団ロープワーク教室（会社・その他）
友の会例会で海辺の生き物について調査（都道府県・動物）
修学旅行の小学生への地曳網軒旋。ホテルロビーの壁面に周辺海域でダイビングをした際の水中写真を掲示して玄界灘の海中の様子を紹介（都道府県・歴史）
B & Gの海洋教室、自然の会活動に協力（市・総合）



設問Ⅱ③ それはどのような分野を扱った活動ですか？（複数回答）

< n 値=262 >



最も多く見られた分野は「自然・環境」で全体の6割以上を示している。次いで多いのは「歴史・民俗」で、全体の約半数を記録している。「産業」や複数の分野を扱った「総合」は全体の1割強であった。

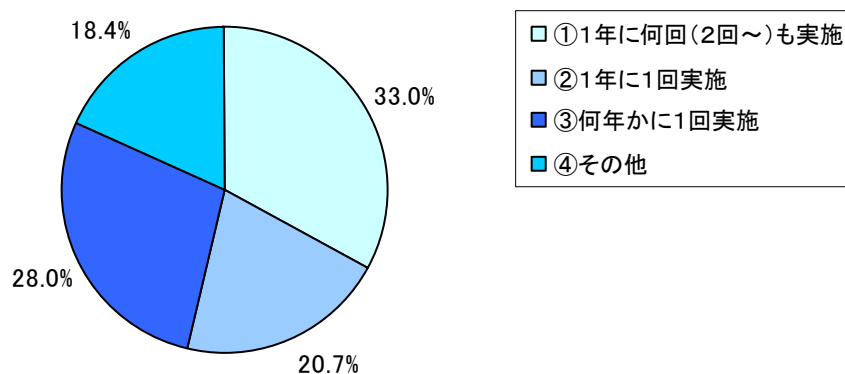
設問Ⅱ③ 7. その他 主な記述回答< n 値=8 >

上記活動分野に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している／一部の回答は要約して掲載している）。

生涯学習（町・海事）
海運、交通、船舶工学（市・海事）
港の歴史及び現状と課題を船と当館の展示等で学ぶ（その他・海事）
海洋（都道府県・水族）
航海技術等（市・歴史）
飼育方法を知ること水生生物の生態を知る（会社・水族）
海洋科学（市・その他）
考古：水中文化遺産（都道府県・総合）

設問Ⅱ④ それほどのくらいの頻度で行っていますか？

< n 値 = 261 >



最も多いのは「1年に何回（2回～）も実施」で、全体の3分の1の施設が回答している。「1年に1回実施」の回答と合わせると、全体の半数以上の施設が毎年、何らかの「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施していることがわかる。「その他」には、不定期で実施している、単発で実施したことがある、過去に1度だけ行ったことがあるなどの回答が見られた。

設問Ⅱ④ 4. その他

上記活動の頻度に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している／一部の回答は要約して掲載している）。

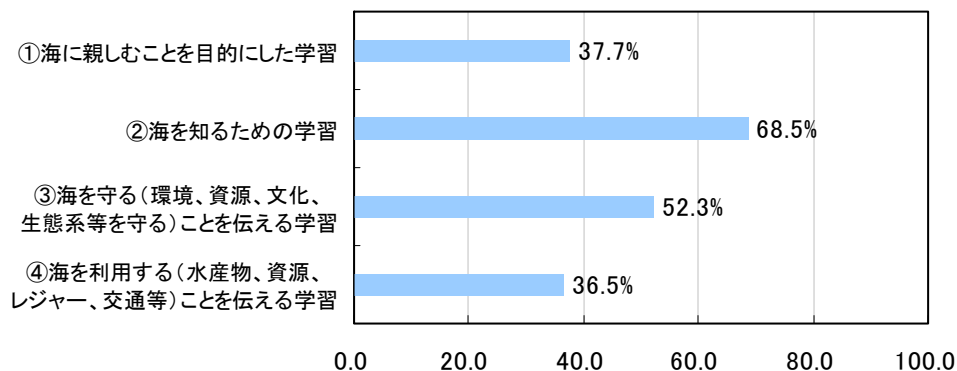
毎年夏休みに開催していたが、水族館が閉鎖されたためその後は行っていない（市・美術）
平成10年度に1回のみ（市・科学）
調査研究は継続的に実施（市・総合）
不定期（都道府県・歴史）
20年ほど前に1度開催（市・歴史）
これまで2回開催された特別展において実施（都道府県・美術）
常設展以外はすべて単発（都道府県・総合）
企画展や特別展のテーマになった時のみ実施（町・歴史）
1回のみ（市・総合）
実施は1回（市・総合）
今年度初めて1回実施（市・総合）
平成5年度、平成18年度、平成20年度の特別展として実施（区・歴史）
今年初めて実施。継続については未定（都道府県・動植物）
不定期に実施（公益財団法人・総合）
海と船の博物館ネットワーク活動の助成金を得た時に実施（都道府県・歴史）
年次の企画展（都道府県・歴史）

過去に3回のみ（市・歴史）
海をテーマにした特別展開催時（市・歴史）
平成8年7～8月に開催（都道府県・歴史）
平成13年に移動水族館を実施した（都道府県・科学）
平成24年～25年にかけて、集中的に行った（都道府県・美術）
平成20年5月に1回行った（市・歴史）
不定期（会社・水族）
「海ごみサミット」にあわせて、第52回企画展として実施（市・歴史）
菱垣廻船模型などを常設展示（市・歴史）
2011年に1回（市・科学）
昭和61年に開催したのみ（市・総合）
通年、展示を実施（都道府県・その他）
事業計画（企画内容）による（市・歴史）
常設展示そのものが海洋生物であったり、海の事象に関するものばかりである（市・海事）
4年前までは毎年夏に開催（現在は行っていない）（市・歴史）
ミュージアム・レクチャーは年に6回程度開催（テーマはその都度異なる）（国・総合）
1990年、1991年の2回（市・総合）
平成18年度に一度だけ（都道府県・美術）
継続的に実施することを予定せず、単発的な活動として実施（市・歴史）
不定期（企画展などに関連したり、県教委との連携などによる特別企画）（都道府県・歴史）
開館以来1度（市・その他）
平成26年度にパネル巡回展実施予定（都道府県・科学）
常設展示（市・科学）
企画展の内容によって変わる。年に数回行うこともあれば、年に1回も行わないこともある（市・歴史）
常時展示（町・歴史）
過去には1年に1回実施していたが、ここ数年は実施していない（市・総合）
過去に1度実施（市・美術）
海洋教育を目的としたものではないため、平成13年度に1回実施した限りである（都道府県・美術）
通年（一般財団法人・歴史）
常設展示には、漁業関係の資料や南方からの漂着船の他、海底から採集された考古資料（水中文化遺産）を展示している。水中文化遺産に関する企画展を、過去に一度実施した（市・歴史）
不定期（町・総合）

単発事業として実施、1回のみ実施、以前に実施したのみ、不定期で実施、通年で実施、常時実施という回答が多く見られた。

設問Ⅱ⑤ それはどのような目的で行っていますか？（複数回答）

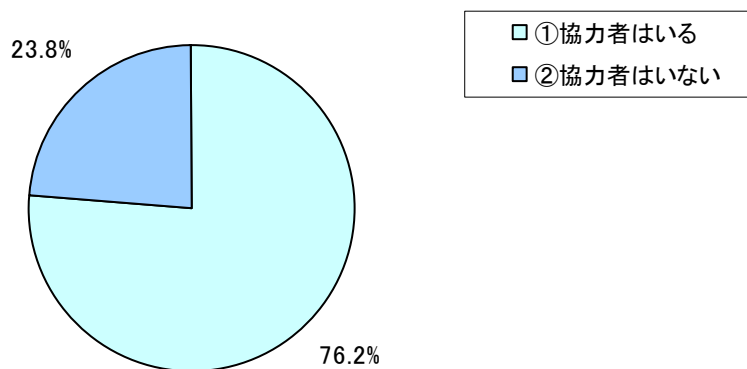
< n 値 = 260 >



最も多いのは、「海を知るための学習」で全体の約7割の施設が回答している。次いで、「海を守る（環境、資源、文化、生態系等を守る）ことを伝える学習」が多く、全体の半数以上の施設が回答している。

設問Ⅱ⑥ 「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施する際に、（館外の機関や個人等の）協力者はいますか？

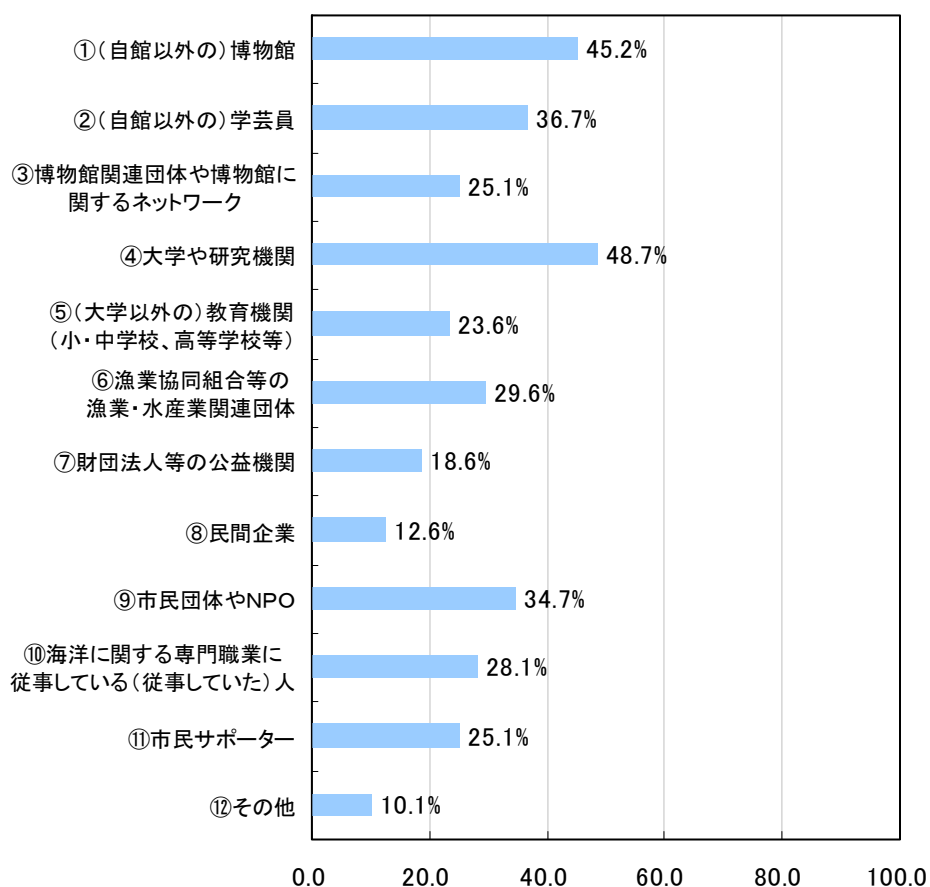
< n 値 = 261 >



全体の4分の3以上の施設が「協力者はいる」と回答している。

設問Ⅱ⑦ 設問Ⅱ⑥で「1. 協力者はある」と答えた方に伺います。どのような協力者がいますか？（複数回答）

< n 値 = 199 >



最も多いのは「大学や研究機関」で全体の約半数の施設が回答している。次いで、「(自館以外の)博物館」「(自館以外の)学芸員」「市民団体やNPO」「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」の順に多くの回答が見られた。専門知識を有している方や、同じ博物館で勤務している方が協力者となっている様子をうかがうことができる。

#### 設問Ⅱ⑦ 12. その他

上記協力者に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する(各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している/一部の回答は要約して掲載している)。

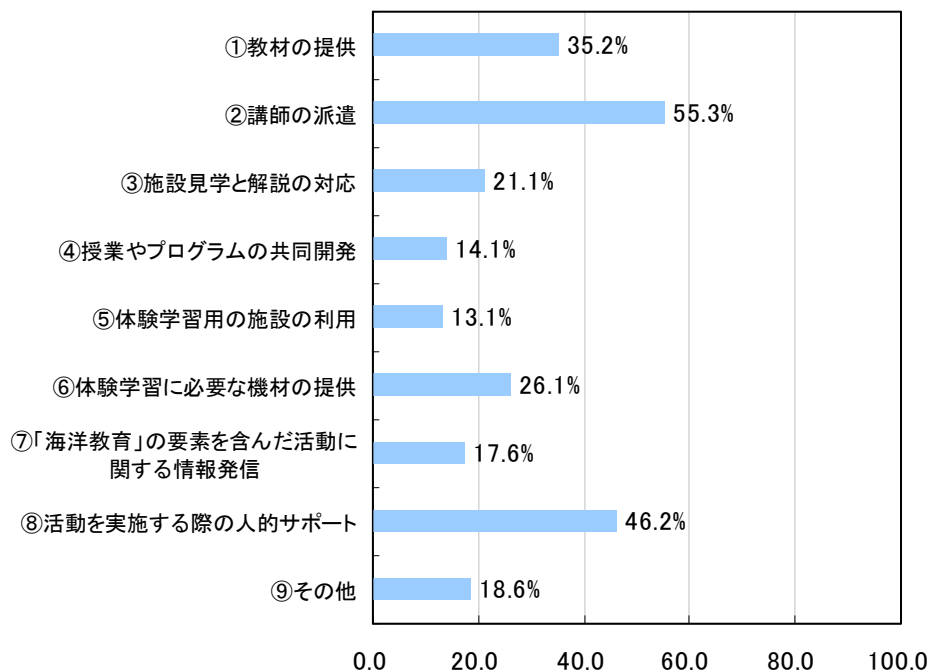
植物の研究者(町・総合)
学生スタッフ、学生ボランティア(国・総合)
作家(写真家)本人(都道府県・美術)

展示やイベントにより選択肢 1~11 の全てに当てはまることもあれば、一部があてはまることもある（独立行政法人・科学）
東京都港湾局（その他・海事）
ダイビングショップ、タレント（都道府県・科学）
個人の研究者（都道府県・歴史）
個人研究者（市・歴史）
国土交通省、環境省、海上保安庁、地方公共団体（市・その他）
文化財所有者（市・歴史）
海上保安庁（市・科学）
当組合の職員（当方の業務は、港湾管理であり、貨客船の誘致も行っているため）（都道府県・その他）
理科教員のOB（市・科学）
ビーチコーミングを趣味とする人（都道府県・総合）
同じ大学内の沿岸環境科学研究センター（国・総合）
海上保安庁（市・総合）
昨年まで海洋知識の深い職員が館に在籍していたが退職したため、今後は協力者としてお願いしていくことになる（町・歴史）
一般市民（市・歴史）
水族館ボランティア（市・水族）

海上保安庁、個人の研究者、ボランティア、個人や一般市民、タレントや作家などの回答が見られた。

設問Ⅱ⑧ 設問Ⅱ⑥で「1. 協力者はいる」と答えた方に伺います。どのような協力を得て実施していますか？（複数回答）

< n 値 = 199 >



最も多いのは「講師の派遣」であり、全体の半数以上の施設が回答している。これは、前の設問（協力者に関する設問）で「大学や研究機関」や「(自館以外の) 学芸員」の回答が多かったことと繋がっている。次いで多いのは「活動を実施する際の人的サポート」で、全体の約半数の施設が回答している。講師とともに、人的な協力・支援が必要とされているのではないかと考えることができる。続いて、「教材の提供」「体験学習に必要な機材の提供」「施設見学と解説の対応」の順に回答が多く見られた。「その他」の回答には、展示資料の貸出（展示資料や海洋生物の提供）や、共同研究や調査研究への協力、必要な情報の提供などが見られた。

#### 設問Ⅱ⑧ 9. その他

上記協力内容に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している／一部の回答は要約して掲載している）。

資料、研究成果の提供（都道府県・歴史）
企画協力、巡回（市・美術）
場所の提供（都道府県・総合）
漁具を保管している収蔵庫の施設維持管理（草刈・清掃・燻し等）（市・歴史）
調査研究への協力、展示協力（都道府県・総合）

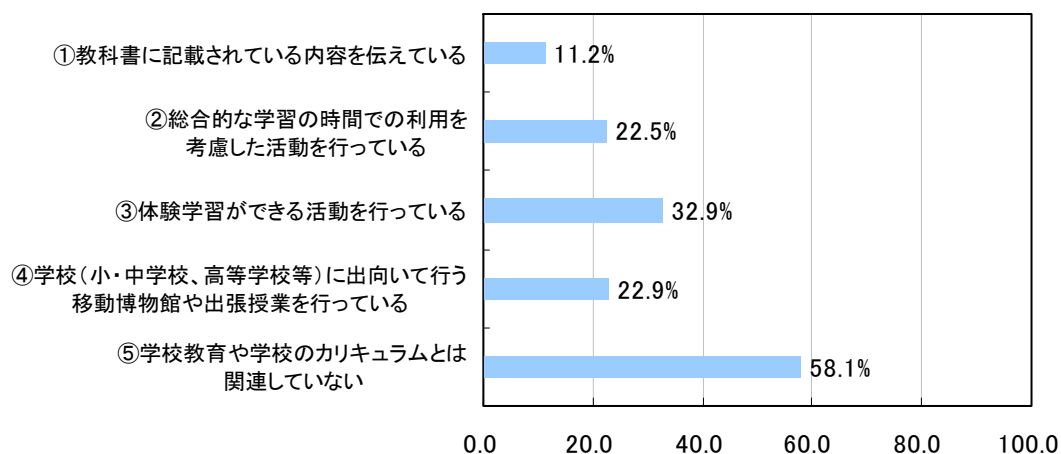
海岸の使用許可（市・総合）
日本財団が助成する「船の科学館・海と船の博物館ネットワーク」の支援（市・総合）
作家（写真家）本人によるギャラリートーク（都道府県・美術）
企画展開催に必要な情報・資料等の提供（都道府県・総合）
展示やイベントの内容により、1～8の選択肢のいずれかまたは全てが関わっている（独立行政法人・科学）
資料や展示のアドバイス（区・歴史）
展示に必要な機材の提供（会社・歴史）
情報提供（都道府県・その他）
科学的知見や情報の提供（区・動植物）
船の雇いあげ等、財政的支援（その他・海事）
標本の借用（都道府県・科学）
展示資料の提供（市・水族）
展示資料の提供、調査・研究費の助成、報告書刊行助成（市・歴史）
調査研究協力・助言等（市・総合）
資料の貸借（市・総合）
実際に協力を求めた実施実績はないが、仮に実施するとしたら、選択肢2、6の協力は得られると思われる（市・歴史）
漁民習俗に関する聞き取り調査（市・歴史）
情報提供（教えてもらう）（市・歴史）
磯の生物を採集してもらっている（市・科学）
展示資料の借用、行事の広報（都道府県・歴史）
漁業・水産業の資料や情報の提供、展示資料の提供（市・歴史）
展示物、映像、画像などの貸出し（一般社団法人・海事）
企画展の展示物の協力、資料や配布物の提供（国・海事）
定置網に入った海洋生物の提供（都道府県・水族）
展示品の相談依頼等の協力は得られると思う（市・美術）
展示品の貸出、展示装置製作の技術的協力（市・科学）
展示資料の貸与（市・歴史）
未定（町・歴史）
共同研究（都道府県・歴史）
B&Gの施設やカヌー（市・総合）
海洋分野に関する調査研究（市・歴史）
企画・特別展や体験講座等での協力（市・総合）

展示資料の借用・提供、展示への協力（アドバイスを含む）に関する回答が最も多く見られた。次いで、情報の提供や調査研究への協力（共同研究を含む）に関する回答が多く見られた。また、「作家（写真家）本人によるギャラリートーク」や「体験講座での協力」、「場所の提供」や「海岸の使用許可」、「漁民習俗に関する聞き取り調査」という回答も見られた。



設問Ⅱ⑨ 貴館における「海洋教育」の要素を含んだ活動は、学校教育と関連したものですか？（複数回答）

< n 値 = 258 >



最も多いのは「学校教育や学校のカリキュラムとは関連していない」で全体の約6割の施設が回答している。次いで多いのは「体験学習ができる活動を行っている」で、全体の約3分の1の施設が回答している。一方、「教科書に記載されている内容を伝えている」と回答した施設は全体の1割強に過ぎなかった。

設問Ⅱ⑨ 1. 教科書に記載されている内容を伝えている

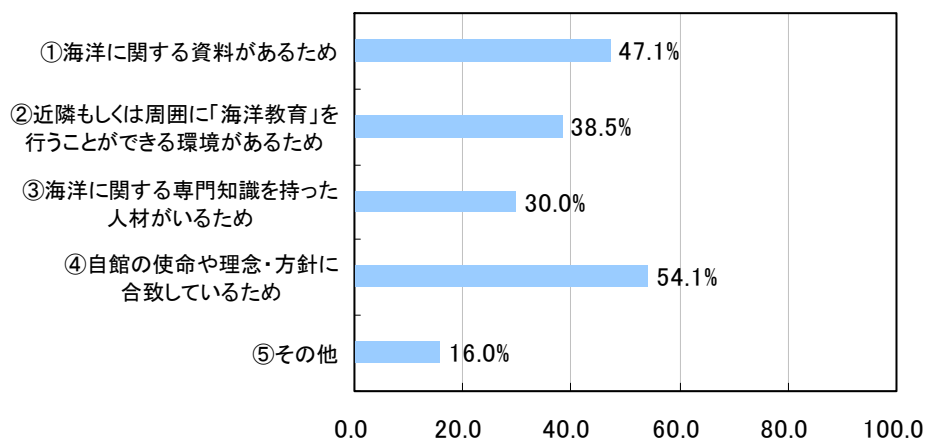
上記学校教育との関連の設問で「教科書に記載されている内容を伝えている」と回答した施設に、その「対象学年・教科・単元」についても記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している）。

小学3・4年「郷土学習」（市・歴史）
「小学6年・理科・大地のつくりと変化」（都道府県・総合）
図工・美術（都道府県・美術）
中学生「千葉県の特産品や美術」（その他・美術）
社会科（小学4年）（その他・海事）
小3・小4「昔の暮らし」「埋立前の本牧の海の暮らし」（市・歴史）
「小5・理科・動物の誕生」、「小6・理科・生物と環境」、「中学・理科第2分野・動物の生活と生物の変遷」（都道府県・科学）
中学生（会社・歴史）
「小学5年・理科・魚のたんじょう」、「小学2年・国語・かんざつ名人になろう」など（市・水族）
夏休みの自由研究（市・科学）
「小学生 共生について」、「中学2年 職場体験学習」、「中高教職員 社会経験学習」（会社・水族）
「小学2年・生活科・生きもの大好き」、「小学4年・国語・ヤドカリとイソギンチャク」（市・

水族)
「小学4年・社会科・地域の発展に尽くした人々」(副教材「稲葉三右衛門の港づくり」)(市・総合)
「小学6年・社会科・日本の歴史」(市・歴史)
小学校「理科・社会・生活」(市・科学)
「小学5年・社会科・わたしたちの生活と食糧生産」、「小学6年・理科・大地のつくりと変化」、「中学2年・総合・職業体験」(町・歴史)
「小学4年・社会科・地元の産業」(市・歴史)
「小学3年・社会科・むかしのくらしと今のくらし」(市・歴史)
小学6年・社会科(歴史学習)(市・歴史)
「小学3年・社会科・まち探検」、「小学6年・社会科・仕事調べ」(市・総合)
「小学2年・国語・かんさつ名人になろう」(市・水族)
「小学3年・社会科・わたしたちのうるま市の生活」(市・海事)

**設問Ⅱ⑩** 貴館が「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施した理由は何ですか？(複数回答)

<n値=257>



最も多いのは「自館の使命や理念・方針に合致しているため」で全体の半数以上の施設が回答している。次いで多いのは「海洋に関する資料があるため」で全体の約半数の施設が回答している。また、「近隣もしくは周囲に「海洋教育」を行うことができる環境があるため」も全体の3分の1以上の施設が回答している。「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施するのは、使命や理念・方針が合致していること、伝えるための資料を有していること、近隣や周囲に「海洋教育」を行うことができる環境があることが主な要因となっている。

**設問Ⅱ⑩ 5. その他**

「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施した理由に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する(各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している/一部の回答は要約して掲載している)。

内陸でもできる海のプログラムであったため、実施（市・総合）
巡回展のメニューの中にあっただけ活用（市・科学）
「北上川流域の自然と文化」をテーマにした博物館であり、近世の水運をはじめ、河川と海が密接不可分な関係にあるため（市・総合）
三陸復興国立公園について周知するため（国・科学）
白瀬南極探検隊の「開南丸」と現在の南極観測船「しらせ」の繋がり等（市・歴史）
特別展（写真展）の内容が海に関するものだったため（都道府県・美術）
海のない県の県民に海にふれあう機会を創出するため（都道府県・水族）
海に接していない県なので、海のことをより知ってもらうため（都道府県・総合）
水族館の役割のひとつであるため（会社・水族）
特別展のテーマと合致したため（区・歴史）
「海水から塩を作る」ことに直接関係しているため（会社・歴史）
環境保全や環境教育に取り組む一環として、様々な分野の環境教育と連携（都道府県・動物）
日本財団の助成事業として実施（一般財団法人・歴史）
地域の自然や動植物を知ってもらうため（市・総合）
国立公園、海域公園における環境と野生動植物の保全の普及啓発（都道府県・海事）
施設で扱っている人物と海・北前船は切っても切れないものなので、北前船の果たした役割等を学ぶ契機とする（都道府県・歴史）
海洋交通を利用した戦国時代の流通の歴史を通して、施設で扱っている遺跡の歴史や発掘調査出土品に対する理解を深めるため（都道府県・歴史）
海のない県なので、海洋生物と触れあう機会を作った（都道府県・科学）
県の清流の文化・自然を守ることと、海洋を守ると同じことと考えている（都道府県・美術）
海洋について、より多くの方に興味をもていただくため（会社・水族）
来館者からの要望（市・水族）
琵琶湖と海との類似性から水辺一般を理解する目的（都道府県・歴史）
「海ごみサミット」の開催にあわせて（市・歴史）
海洋貿易の歴史を有する土地に立地しているため（市・歴史）
歴史研究の素材として「海と人との関わり」を挙げることができるため（都道府県・歴史）
昔から漁業が盛んで、廻船業もかつては栄えたため（市・歴史）
職員のスキルアップ及び海洋教育の情報発信のため（市・水族）
展覧会の内容に関連して実施（市・歴史）
海への関心を高め、身近な漁具類や船に目を向けるその思いを展示に生かす（市・美術）
巻貝等の化石が多く発掘される場所があったため（町・科学）
理科教材として幅広く取り上げる中で実施（市・科学）
民俗行事に海、船にまつわるものがあるため（市・歴史）
企画展の内容を多くの市民に知っていただくため（市・歴史）
美術史上の「漁」「漁業」の造形の意義を紹介するため（都道府県・美術）
海に関する企画展開催（市・総合）
海との関わりによって成り立ってきた地である。子供たちに海に親しみ、環境を守り、海や漁業の事を理解させる事は必要不可欠（市・総合）
人物や地元産業を伝えるため（市・歴史）

常設展では様々なテーマを工夫して収蔵作品を紹介しており、その一つとして、海をテーマにした展示構成で、その魅力を伝える機会とした（都道府県・美術）

研究（大学）側が地元の海の研究内容を発表するための公開施設を探しており、当館で実施する事となった為（市・歴史）

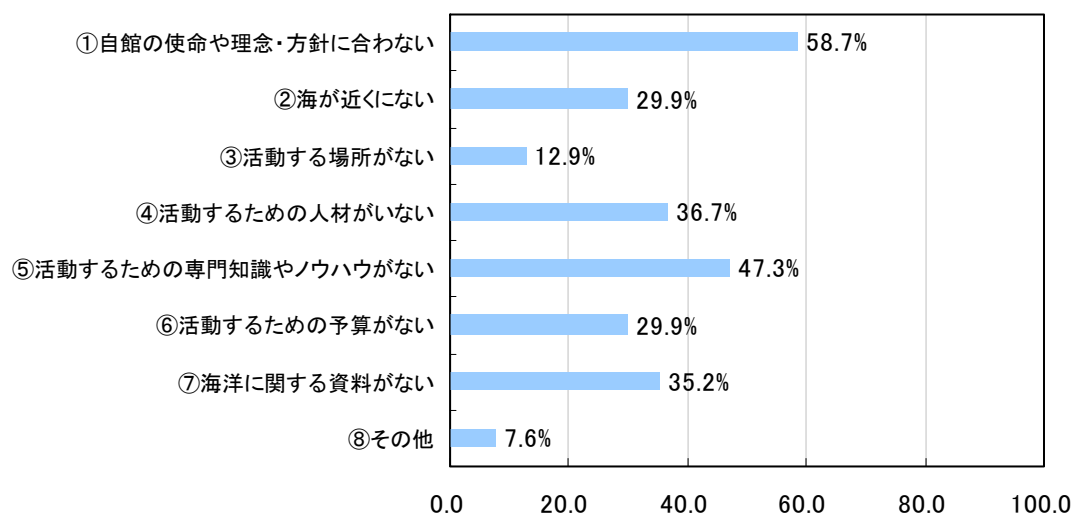
大陸と交易を行っていた歴史的な背景と、海と接した土地でもあるため、生活の一部でもあった昔の人々の暮らしについて理解を深めるため（村・歴史）

「施設の役割・内容に合致・関連しているため」という回答が多く見られた。また、「特別展・企画展のテーマと合致したため」という回答も幾つか見られた。海岸線を持たない「内陸県」の施設からは、海のことをより知ってもらうため、海にふれあう機会を創出するためという回答が寄せられた。「来館者からの要望」、「職員のスキルアップ及び海洋教育の情報発信のため」、「理科教材として幅広く取り上げる中で実施」、「美術史上の「漁」「漁業」の造形の意義を紹介するため」という回答も見られた。

※設問Ⅱ①で「2. 実施したことがない」と答えた方に伺います。

設問Ⅱ① 貴館が「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施したことがない理由は何ですか？（複数回答）

< n 値=264 >



最も多いのは「自館の使命や理念・方針に合わない」で全体の約6割の施設が回答している。これは、前の設問（実施した理由）の回答結果（「自館の使命や理念・方針に合致しているため」という回答が最も多かった）と関連している。次いで多いのは「活動するための専門知識やノウハウがない」で全体の約半数の施設が回答している。やはり、「海洋教育」の要素を含んだ活動を展開するには、専門知識やノウハウが必要であることがわかる。続いて「活動するための人材がない」「海洋に関する資料がない」の順で多くの回答が寄せられた。

#### 設問Ⅱ① 8. その他

「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施したことがない理由に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している／一部の回答は要約して掲載している）。

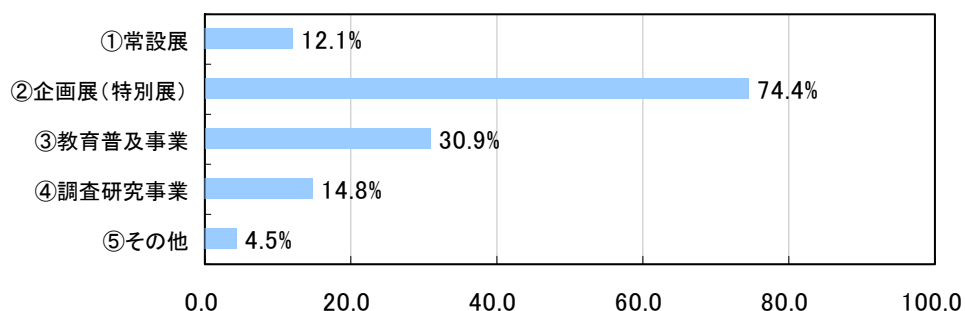
歴史資料館のため。町からの委託でマリナーを管理しているが、海洋教育については実施していない（町水産課、町教育委員会で実施している）（一般財団法人・海事）
川の生き物をテーマにした施設のため、川の生き物の環境教育を優先しているため（市・科学）
海洋教育に関する知識等を持ち合わせておらず、詳細不明のため（村・歴史）
特に関係性がないため（市・歴史）
県には海がないため（都道府県・水族）
別の部署で実施している（生涯学習課内の大学交流事業で実施）（市・総合）
天候に影響を受けるため（悪天候のための中止、延期など）（都道府県・美術）
縄文海進時の海生物遺体や漁具等、限定的な資料しか存在しないため（市・歴史）

区の郷土文化と「海洋教育」との接点が見出せないため（区・歴史）
昨年までは専門職員がいなかったため（市・総合）
県は別途「海洋ふれあいセンター」を置いている（都道府県・科学）
科学教育として海を題材にすることはあっても、海洋教育が目的ではないから（市・科学）
市立の海洋博物館との棲み分けのため（市・歴史）
他の施設が担当しているため（海洋科学館）（市・歴史）
地域の風景を題材にした作品を紹介する展覧会は実施しているが、特に海洋教育を意識してはこなかったため（都道府県・美術）
特に理由はない（公益財団法人・美術）
企画展、特別展として企画したことがない（市・歴史）
考古資料の展示に留まっているうえ、機構改革で管轄が市長部局や他課に置かれるなど、活用しにくい状況があったため（市・歴史）

**設問Ⅱ⑫** 貴館が「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施するとしたら、どのような活動を実施しますか？

選択肢から2つまで選んでください。

< n 値 = 223 >



最も多いのは「企画展（特別展）」で全体の4分の3の施設が回答している。次いで多いのは「教育普及事業」で全体の3割以上の施設が回答している。

**設問Ⅱ⑫ 3. 教育普及事業**

上記設問で教育普及事業を実施したいと回答した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している／一部の回答は要約して掲載している）。

講演会、ポスター展（市・科学）
他園館との連携で行う教育普及事業（市・動物）
講座など（町・歴史）
藩の海上交通、貿易、海防、蝦夷地警備に関わるもの（市・歴史）
海岸を使った美術のワークショップ（都道府県・美術）
水中の植物に係る教育普及活動（独立行政法人・植物）

美術作品との関連による教育普及事業（都道府県・美術）
自然資料、歴史資料、民俗資料等を通じ、荒川と東京湾とのつながりについて学ぶ展示や講座（市・総合）
海産物を素材としたワークショップなど（都道府県・美術）
海岸の植物観察会（市・歴史）
配布資料等へ海洋に関する情報を付与すること。自然観察会等（多摩川河口域等）（市・科学）
講演会・講座（内容は、江戸湾の湊、金沢八景など）（都道府県・歴史）
磯の観察会（市・水族）
参加型の体験学習（海浜性の植物の採集、調査、動物類の観察）（市・総合）
塩づくり体験学習（市・歴史）
塩作り体験（市・歴史）
講演会（都道府県・歴史）
講演会（市・科学）
企画展等に関連した講演会、観察会など（市・歴史）
海洋の情報も含まれた絵図を利用した、郷土学習支援（市・歴史）
講演会（市・歴史）
海の生物をモチーフにしたもの（都道府県・美術）
実施するとすれば、川とのつながりをテーマにした企画展に関連して、講演会やワークショップなど（市・科学）
サマースクール等（市・歴史）
他の博物館施設と連携した見学会、学習会（市・歴史）
海が描かれた文学作品についての講演会（市・その他）
海の自然観察会（市・歴史）
漁具や絵馬、本草関係などの展示関連（市・歴史）
海を創造のきっかけにしている作家や作品の紹介、アーティスト・イン・レジデンスやワークショップ等への参画など（都道府県・美術）
講義等（公益財団法人・美術）
講演会、海に関する民俗行事などの紹介（市・歴史）
海での観察会（都道府県・科学）
見学会（市・歴史）
渚の体験学習（市・歴史）
美術に関するワークショップなど（市・美術）
ワークショップ（市・美術）
講演会（市・総合）
塩田や港にちなんだ体験学習（市・歴史）
子ども講座（市・歴史）
海の生き物を表現する（市・美術）
磯や浜での俳句づくり（吟行等）（市・その他）
海岸での塩作り体験（市・歴史）
臨海市町と連携した考古資料の製作実験や使用実験。できれば臨海市町に赴くことで、資料館所在地の生業との比較を行いたい（市・歴史）

講座（公益財団法人・歴史）
講演会（市・歴史）
海を題材にした所蔵品の展示。水族館と協力した展覧会やイベント（市・美術）
観察会やフィールドワーク（市・歴史）
解説シートの作成・配布（市・歴史）
小学生を対象に、貝類と出土製品の学習、実物資料の見学（市・歴史）
海にまつわる民俗や歴史に関すること（都道府県・歴史）
海をテーマにしたワークショップ等（都道府県・美術）
湾内に生息する植物や貝についての観察会や講座など（市・美術）
市内にはカプトガニが生息しているので、カプトガニを題材にした歴史・環境教育（市・歴史）
図書の内容で取扱われた海洋関係のワークショップや観察会（市・その他）
大昔の海岸線や食生活等についての講演会（都道府県・歴史）
近隣の海岸の観察会、ワークシート、貝塚出土の貝類から考察する現在の海岸など（市・歴史）
海をテーマにした作品制作等（市・美術）

「講座・講演会」に関する回答が最も多く見られた。「ワークショップや作品制作など、美術に関する事業」や「海・磯・海岸の観察会」「塩作りなどの体験学習」に関する回答も多く見られる。

#### 設問Ⅱ⑫ 5. その他

上記「海洋教育」の要素を含んだ活動内容に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している／一部の回答は要約して掲載している）。

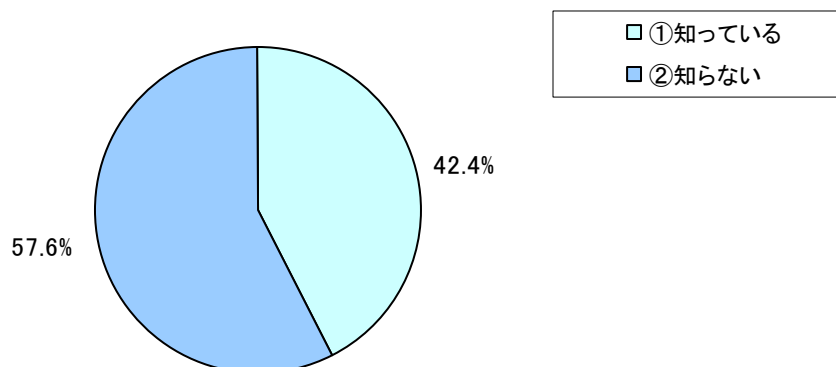
海苔養殖場の見学（市・歴史）
調査研究事業の成果をもとに、企画展を開催するか、講演会等の教育普及事業をすべきかを判断することになると思う（区・歴史）
川をテーマにした内容に海洋が含まれることは考えられるが、海洋教育の要素を主に含んだ活動は予定していない（市・総合）
万葉人と海との関わり（都道府県・歴史）
童謡・唱歌とおもちゃに因んだ内容で活動出来るかどうかをまず検討する必要がある（その他・その他）
相手の館にチラシやリーフレットを置く等、広報面での連携（都道府県・美術）
水中考古学関連（都道府県・歴史）
有明海との関連で何が出来るかを検討したい（市・歴史）



### ③ 「海洋教育」「海洋基本法」の認知度

設問Ⅲ① あなたは「海洋教育」という言葉を知っていますか？

< n 値=524 >

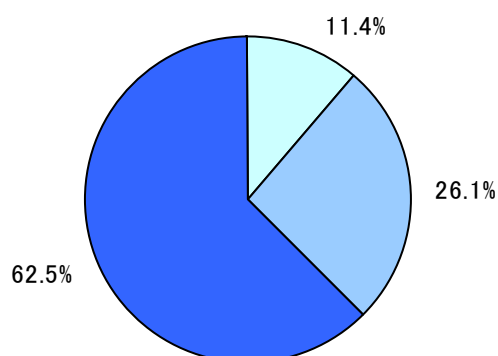


全体の約6割の施設が「海洋教育」という言葉を知らないと回答している。

設問Ⅲ② あなたは「海洋基本法」について知っていますか？

< n 値=525 >

- ①海洋基本法において「学校教育及び社会教育における海洋に関する教育の推進」が掲げられていることを知っている
- ②海洋基本法の存在は知っている
- ③海洋基本法を知らない

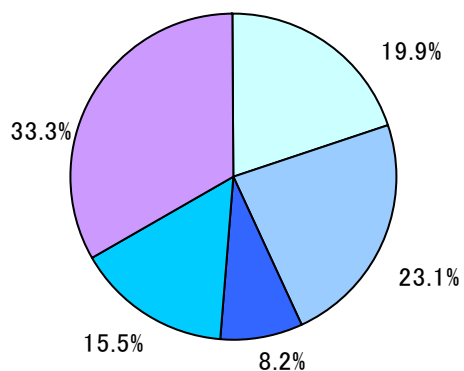
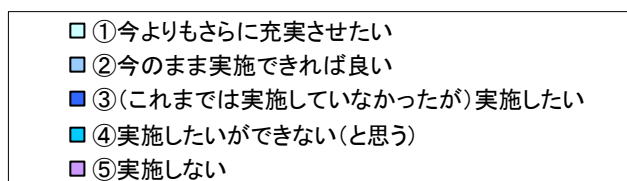


全体の6割以上の施設が「海洋基本法」を知らないと回答している。一方、海洋基本法において「学校教育及び社会教育における海洋に関する教育の推進」が掲げられていることを知っていると回答した施設は、全体の1割強に過ぎなかった。

#### ④これからの「海洋教育」の推進

設問Ⅲ③ 貴館におけるこれからの海洋教育活動に関するお考えをお聞かせください。

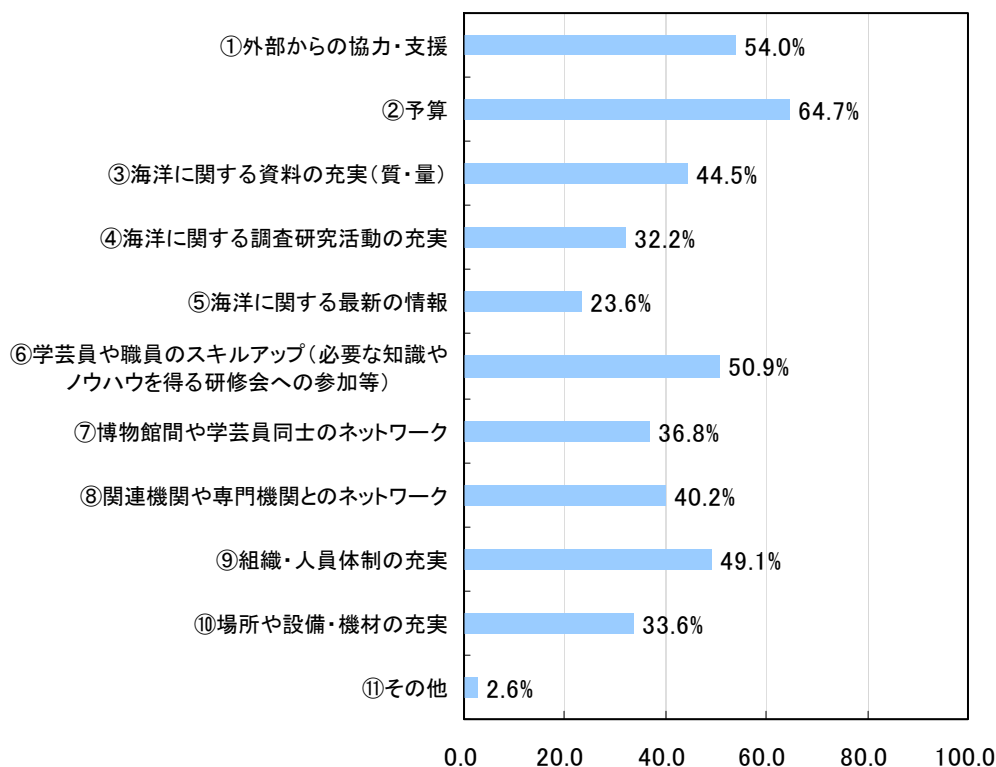
< n 値=523 >



(これからも)「実施しない」という回答が全体の3分の1を占めているが、「今よりもさらに充実させたい」という回答も全体の5分の1を示している。また、「(これまでは実施していなかったが)実施したい」という施設は全体の1割弱であった。

設問Ⅲ④ 設問Ⅲ③で「1, 2, 3, 4」を選択した方に伺います。海洋教育活動(の質と量)を充実させたり、新たに海洋教育活動を実施するために必要なものは何ですか？(複数回答)

< n 値=348 >



最も多いのは「予算」で全体の6割以上の施設が回答している。また、「外部からの協力・支援」「学芸員や職員のスキルアップ(必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等)」も全体の半数以上の施設が回答している。これらの回答状況から外部の協力・支援を必要としている現状をうかがうことができる。「組織・人員体制の充実」「海洋に関する資料の充実(質・量)」とともに「関連機関や専門機関とのネットワーク」は全体の4割以上(「組織・人員体制の充実」は全体の半数近く)の施設が回答した。全体の3割以上の施設が回答した「博物館間や学芸員同士のネットワーク」と合わせてみると、こうしたネットワークに対するニーズ(要望)があることも看取することができる。

#### 設問Ⅲ④ 11. その他

上記海洋教育活動の充実などに向けて必要な事項に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する(各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している/一部の回答は要約して掲載している)。

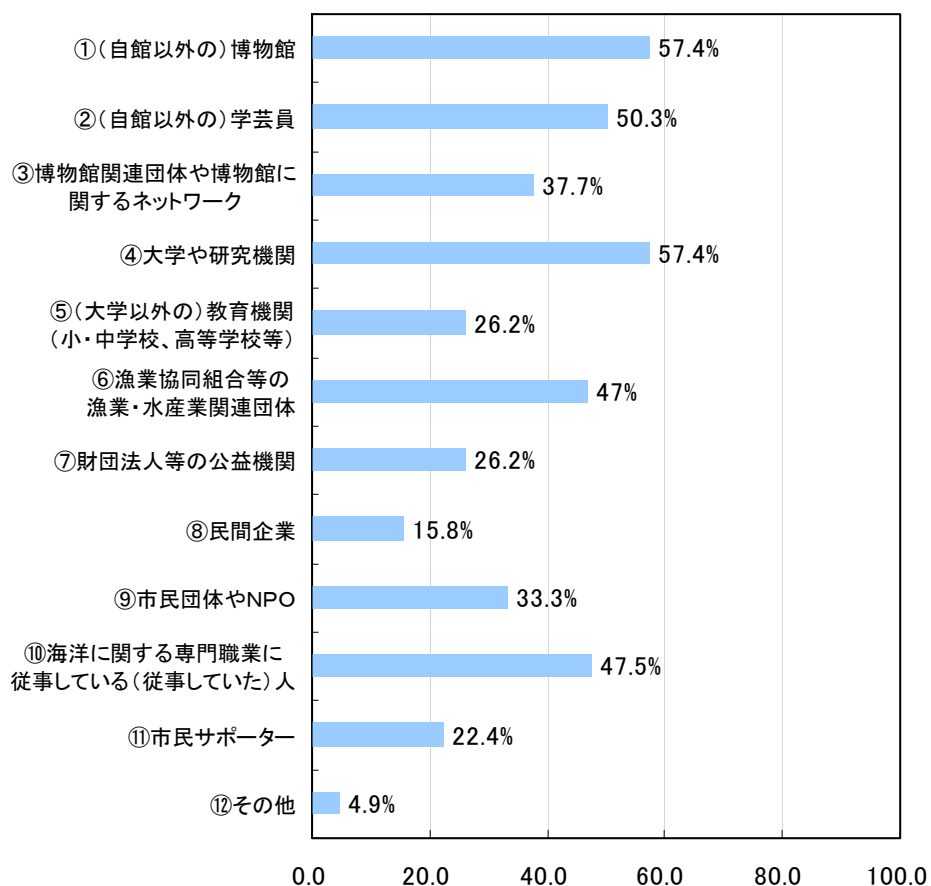
先ず、海洋教育を理解し、分野的に当館の事業であるか、コラボは可能か等を判断したい(市・美術)

海洋教育と施設の目的との間に関連性があるという状態、またそのような職員、行政、市民側の認識(市・歴史)

当園を運営している協会は、水族園の運営も担っており、相互の連携事業を強化していく方針である（都道府県・動物）
活動に賛同し、ともに活動する市民の育成（市・総合）
入館者数や収入だけを評価軸としない、博物館に対する正しい理解（都道府県・科学）
企画展などに対する助成は多いが、企画展をする前のあらゆる調査・研究活動に対する助成金は少なく、あっても制限がある場合が多いので、そのような調査費に対する助成があればよいと思う（町・歴史）
当館と海洋教育をどう結びつけるかの検討（市・美術）

**設問Ⅲ⑤** 設問Ⅲ④で「1. 外部からの協力・支援」を選択した方に伺います。どのような協力者が必要ですか？（複数回答）

< n 値 = 183 >



回答の多い「(自館以外の)博物館」「大学や研究機関」「(自館以外の)学芸員」は、先述した「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施したことがあると回答した施設に尋ねた、協力者に関する設問においても上位3位を構成しており、結果に関連性が見られた。また、回答施設数やポイント数においては、同設問の値をほとんどが上回っている。現場である施設からの高いニーズ(要望)をうかがうことができる。

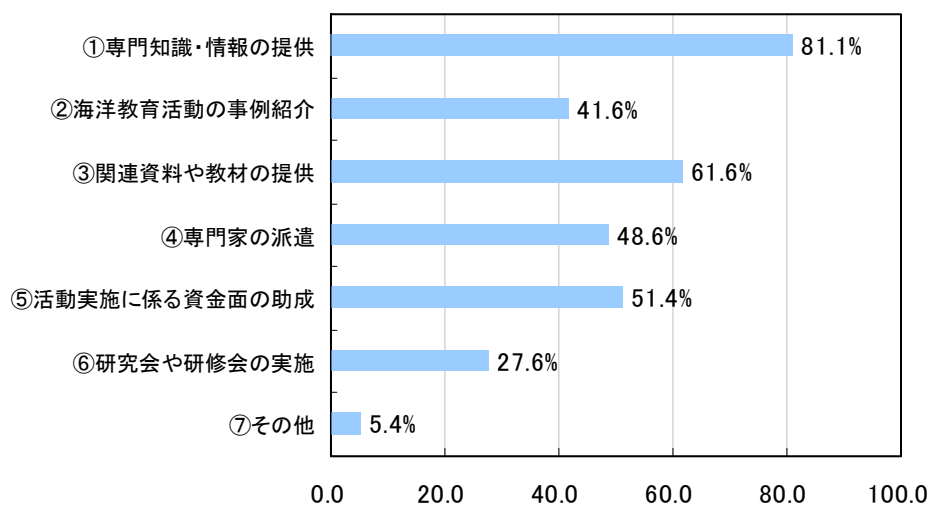
設問Ⅲ⑤ 12. その他

上記協力者に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している／一部の回答は要約して掲載している）。

海関連のワークショップが出来る方とか、何かイベントが開催出来る方のような人材（都道府県・美術）
海洋に関する研究者とのつながり（市・科学）
各学会（市・歴史）
影響力のある人物、マスコミ等（都道府県・科学）
展示資料のコレクター（市・歴史）
関係する知識・技術をお持ちの方（公益財団法人・美術）
講師（市・科学）
同定できる方（都道府県・総合）
教育分野の専門家（市・水族）

設問Ⅲ⑥ 設問Ⅲ④で「1. 外部からの協力・支援」を選択した方に伺います。どのような協力・支援が必要ですか？（複数回答）

< n 値 = 185 >



最も多いのは「専門知識・情報の提供」で全体の8割以上の施設が回答している。次いで多いのは「関連資料や教材の提供」で全体の6割以上の施設が回答しており、「活動実施に係る資金面の助成」は全体の半数以上の施設が必要と回答している。海洋教育活動（の質と量）をさらに充実させたり、新たに海洋教育活動に取り組むためには、外部との連携や、外部からの協力・支援が必要とされていることがわかる。

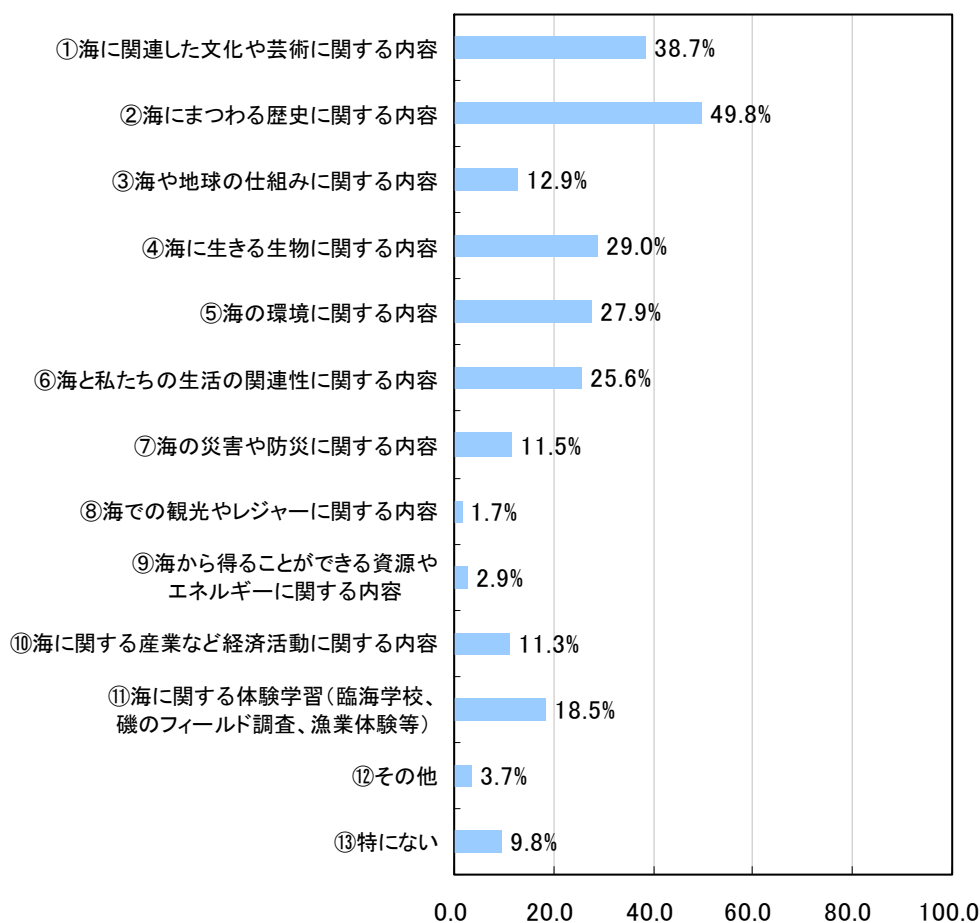
#### 設問Ⅲ⑥ 7. その他

上記協力・支援内容に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している／一部の回答は要約して掲載している）。

野外活動におけるリスクマネジメント（市・科学）
こども向けの提供（都道府県・美術）
日常的な業務のサポート（その他・美術）
活動の場の提供（市・総合）
人的サポート（会社・水族）
施設の公開、体験の指導（市・歴史）
海と地域住民のかかわり（市・歴史）
教育現場とのつながりが非常に強いので、教育の場での海洋への関心の高さが出品依頼する作家の高さにもつながってくる（市・美術）
参加者の安全管理や誘導、動機づけやエンターテインメント性の累加などに関する協力（市・歴史）
模型などの製作に関する財政的、技術的、学術的な支援（市・科学）

設問Ⅲ⑦ 博物館における「海洋教育」ではどのような内容を伝えたいと思いますか？ご自身のお考えに近い選択肢を3つまで選んでください。

< n 値=520 >



最も多いのは「海にまつわる歴史に関する内容」で全体の半数近くの施設が回答している。一方、「海に関連した文化や芸術に関する内容」は全体の約4割の施設が回答した。そして、「海に生きる生物に関する内容」「海に関する環境に関する内容」はともに全体の約3割の施設が回答している。これらの結果は、本調査に回答した施設の館種（歴史博物館、美術館など）が影響していると思われる。「海と私たちの生活の関連性に関する内容」は全体の4分の1以上の施設が回答している。「海に関する体験学習(臨海学校、磯のフィールド調査、漁業体験等)」を行いたいとする施設も、全体の2割程度見られた。

#### 設問Ⅲ⑦ 12. その他

上記「海洋教育」で伝えたい内容に関する設問で「その他」を選択した施設に、具体的な内容を記述してもらった。回答を以下に記載する（各回答の後ろには、その施設の設置者と館種を記している／一部の回答は要約して掲載している）。

地元の「海」が育んだ歴史・文化・産業・自然等について、様々な観点からアプローチし、住民が「海」をより身近に感じられるように、情報を伝えたい（町・歴史）
海運の重要性、船の安全の確保、交通体系全体の中での船の役割、船舶工学（船の設計・建造）、船員の仕事（市・海事）
海と河川とのかかわりに関する内容（市・総合）
近代美術館として「その場をよく見る」というような基本的な内容になると思う（都道府県・美術）
水産物に関する内容（国・総合）
展覧会の内容に応じて取り上げていく（都道府県・美術）
地域の歴史と海との関わり（区・歴史）
北前船（町・歴史）
海のない当県と海の間接の歴史について（戦国時代の水軍、海産物の県内での利活用など）（都道府県・歴史）
地元の漁業に関する歴史（市・歴史）
港に関すること（市・その他）
地元の漁業や廻船業の歴史の紹介（市・歴史）
海女漁に関する歴史、文化（市・総合）
文学に関すること（市・その他）
川の水族館のため、可能性があるとするれば、河口域の事だと思う（町・水族）
海底炭鉱（市・歴史）
石炭産業の発展の中で、海が果たしてきた役割とその歴史（市・科学）
生物の事を知る教室活動などは行っているが、要は海の環境を知る事だと認識している（市・総合）
貿易陶磁及びその船載した船舶について（市・歴史）



## (2) 集計結果 (クロス)

### ①所在地域との関連性

所在地域 × I ①館種

< n 値 = 534 >

	合計	I ①								
		①総合博物館	②歴史博物館	③美術館	④科学博物館	⑤海事博物館	⑥水族館	⑦動物園・植物園	⑧その他	
合計	534	74	265	59	51	21	33	9	22	
	100.0	13.9	49.6	11.0	9.6	3.9	6.2	1.7	4.1	
所在地域	北海道・東北地方	82	18	32	8	10	7	6	1	0
		100.0	22.0	39.0	9.8	12.2	8.5	7.3	1.2	-
	関東地方	102	18	46	10	10	4	9	3	2
		100.0	17.6	45.1	9.8	9.8	3.9	8.8	2.9	2.0
	信越・北陸地方	39	7	20	4	3	1	2	0	2
		100.0	17.9	51.3	10.3	7.7	2.6	5.1	-	5.1
	東海地方	43	3	18	7	3	3	5	2	2
		100.0	7.0	41.9	16.3	7.0	7.0	11.6	4.7	4.7
	近畿地方	75	5	43	7	7	2	6	0	5
		100.0	6.7	57.3	9.3	9.3	2.7	8.0	-	6.7
	中国地方	55	4	27	7	10	2	1	1	3
		100.0	7.3	49.1	12.7	18.2	3.6	1.8	1.8	5.5
	四国地方	38	5	18	4	1	1	2	1	6
		100.0	13.2	47.4	10.5	2.6	2.6	5.3	2.6	15.8
九州・沖縄地方	100	14	61	12	7	1	2	1	2	
	100.0	14.0	61.0	12.0	7.0	1.0	2.0	1.0	2.0	

- ・「北海道・東北地方」の「総合博物館」「海事博物館」の比率が他の地域に比べて高い。
- ・「東海地方」の「美術館」「水族館」「動物園・植物園」の比率が他の地域に比べて高い。
- ・「中国地方」の「科学博物館」の比率が他の地域に比べて高い。
- ・「九州・沖縄地方」の「歴史博物館」の比率が他の地域に比べて高い。

所在地域 × I ④施設から海までの距離

< n 値 = 531 >

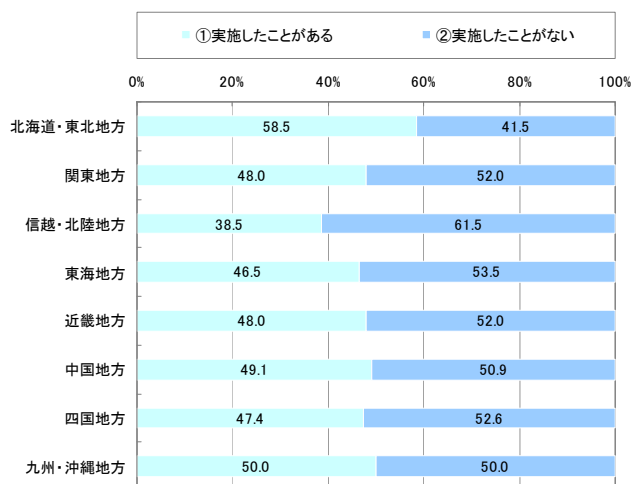
	合計	I ④			
		①徒歩15分程度で着くことができる	②徒歩30分～1時間程度で着くことができる	③電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	
合計	531	178	106	247	
	100.0	33.5	20.0	46.5	
所在地域	北海道・東北地方	80	38	9	33
		100.0	47.5	11.3	41.3
	関東地方	102	28	11	63
		100.0	27.5	10.8	61.8
	信越・北陸地方	39	13	9	17
		100.0	33.3	23.1	43.6
	東海地方	43	12	10	21
		100.0	27.9	23.3	48.8
	近畿地方	75	24	12	39
		100.0	32.0	16.0	52.0
	中国地方	55	19	13	23
		100.0	34.5	23.6	41.8
	四国地方	37	11	9	17
		100.0	29.7	24.3	45.9
九州・沖縄地方	100	33	33	34	
	100.0	33.0	33.0	34.0	

- ・「北海道・東北地方」の「(海まで) 徒歩 15 分程度で着くことができる」の比率が他の地域に比べて高い。
- ・「関東地方」の「(海には) 電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない」の比率が他の地域に比べて高い。
- ・「九州・沖縄地方」の「(海まで) 徒歩 30 分～1 時間程度で着くことができる」の比率が他の地域に比べて高い。

所在地域 × Ⅱ①「海洋教育」の実施状況

< n 値 = 534 >

	合計	Ⅱ①		
		①実施したことがある	②実施したことがない	
合計	534 100.0	263 49.3	271 50.7	
所在地域	北海道・東北地方	82 100.0	48 58.5	34 41.5
	関東地方	102 100.0	49 48.0	53 52.0
	信越・北陸地方	39 100.0	15 38.5	24 61.5
	東海地方	43 100.0	20 46.5	23 53.5
	近畿地方	75 100.0	36 48.0	39 52.0
	中国地方	55 100.0	27 49.1	28 50.9
	四国地方	38 100.0	18 47.4	20 52.6
	九州・沖縄地方	100 100.0	50 50.0	50 50.0

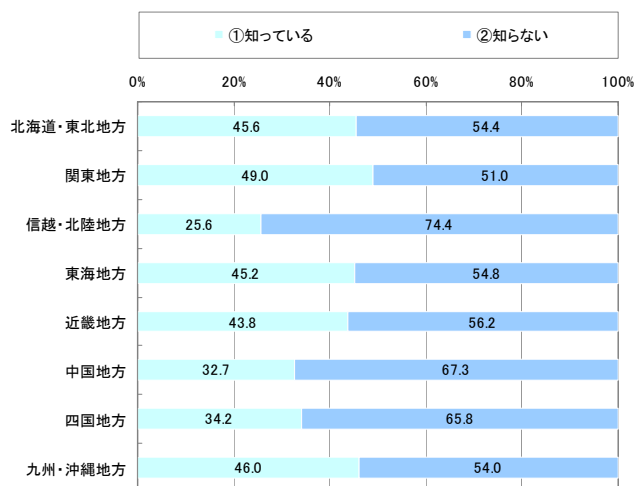


・「北海道・東北地方」「九州・沖縄地方」では、半数以上の施設が「(これまでに「海洋教育」の要素を含んだ活動を) 実施したことがある」と回答している。

所在地域×Ⅲ①「海洋教育」の認知度

< n 値=524 >

	合計	Ⅲ①		
		①知っている	②知らない	
合計	524	222	302	
	100.0	42.4	57.6	
所在地域	北海道・東北地方	79	36	43
		100.0	45.6	54.4
	関東地方	98	48	50
		100.0	49.0	51.0
	信越・北陸地方	39	10	29
		100.0	25.6	74.4
	東海地方	42	19	23
		100.0	45.2	54.8
	近畿地方	73	32	41
		100.0	43.8	56.2
	中国地方	55	18	37
		100.0	32.7	67.3
	四国地方	38	13	25
		100.0	34.2	65.8
九州・沖縄地方	100	46	54	
	100.0	46.0	54.0	



- ・「北海道・東北地方」「関東地方」「東海地方」「近畿地方」「九州・沖縄地方」の施設では、「海洋教育」という言葉に対する認知度が高い傾向にある（「「海洋教育」という言葉を）知っている」と回答した比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている）。

## ②館種との関連性

I ①館種 × I ⑥海洋分野に関する職員の配置状況

< n 値 = 523 >

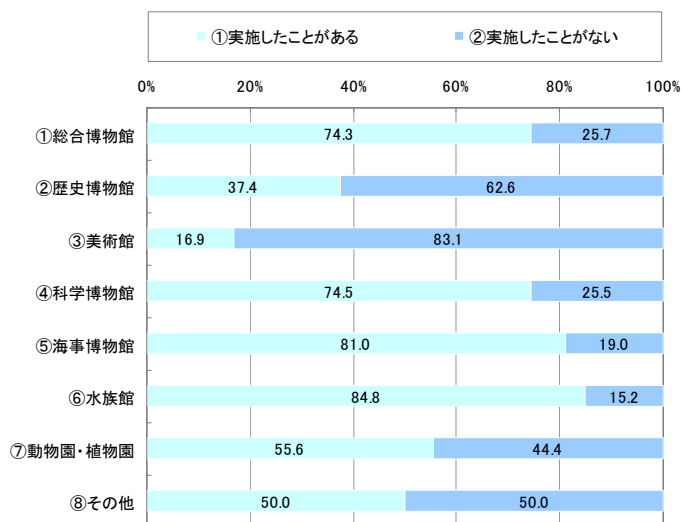
	合計	I ⑥							
		0人	1人	2人	3人	4人	5~9人	10人以上	
合計	523	402	36	34	19	9	11	12	
	100.0	76.9	6.9	6.5	3.6	1.7	2.1	2.3	
I ①	①総合博物館	74	43	10	14	4	0	2	1
		100.0	58.1	13.5	18.9	5.4	-	2.7	1.4
	②歴史博物館	262	232	13	7	6	3	1	0
		100.0	88.5	5.0	2.7	2.3	1.1	0.4	-
	③美術館	59	59	0	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	④科学博物館	51	30	5	3	6	3	2	2
		100.0	58.8	9.8	5.9	11.8	5.9	3.9	3.9
	⑤海事博物館	20	11	4	1	1	1	1	1
		100.0	55.0	20.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	⑥水族館	28	4	3	6	2	1	4	8
		100.0	14.3	10.7	21.4	7.1	3.6	14.3	28.6
	⑦動物園・植物園	8	5	1	1	0	1	0	0
		100.0	62.5	12.5	12.5	-	12.5	-	-
	⑧その他	21	18	0	2	0	0	1	0
		100.0	85.7	-	9.5	-	-	4.8	-

- ・「水族館」の「5～9人」「10人以上」の比率が他の館種に比べて高い。
- ・「歴史博物館」「美術館」の「0人」の比率が他の館種に比べて高い。
- ・「総合博物館」は「1人」「2人」の比率が高い。
- ・「科学博物館」は「3人」の比率が他の館種に比べて高い。
- ・「海事博物館」は「1人」の比率が他の館種に比べて高い。

I ①館種 × II ①「海洋教育」の実施の有無

< n 値 = 534 >

	合計	II ①		
		①実施したことがある	②実施したことがない	
合計	534	263	271	
	100.0	49.3	50.7	
I ①	①総合博物館	74	55	19
		100.0	74.3	25.7
	②歴史博物館	265	99	166
		100.0	37.4	62.6
	③美術館	59	10	49
		100.0	16.9	83.1
	④科学博物館	51	38	13
		100.0	74.5	25.5
	⑤海事博物館	21	17	4
		100.0	81.0	19.0
	⑥水族館	33	28	5
		100.0	84.8	15.2
	⑦動物園・植物園	9	5	4
		100.0	55.6	44.4
	⑧その他	22	11	11
		100.0	50.0	50.0

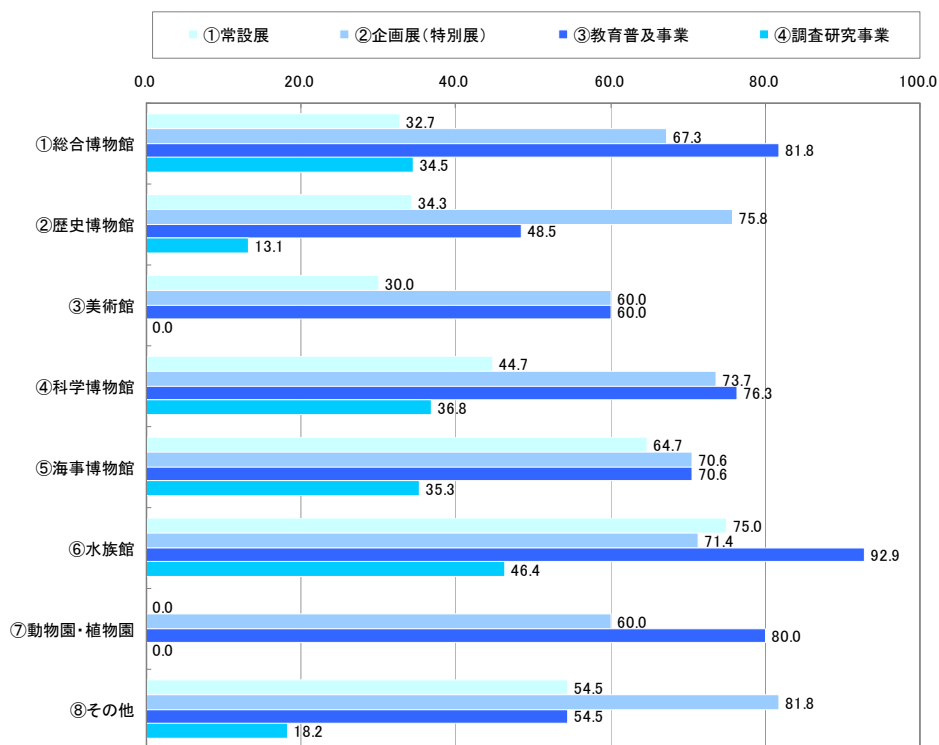


・「総合博物館」「科学博物館」「海事博物館」「水族館」において「(これまでに「海洋教育」の要素を含んだ活動を) 実施したことがある」の比率が高いことがわかる。

I ①館種 × II ②活動内容 (複数回答)

< n 値 = 263 >

	合計	II ②					
		①常設展	②企画展 (特別展)	③教育普及事業	④調査研究事業	⑤その他	
合計	263	110	190	176	67	14	
	100.0	41.8	72.2	66.9	25.5	5.3	
I ①	①総合博物館	55	18	37	45	19	3
		100.0	32.7	67.3	81.8	34.5	5.5
	②歴史博物館	99	34	75	48	13	2
		100.0	34.3	75.8	48.5	13.1	2.0
	③美術館	10	3	6	6	0	0
		100.0	30.0	60.0	60.0	-	-
	④科学博物館	38	17	28	29	14	2
		100.0	44.7	73.7	76.3	36.8	5.3
	⑤海事博物館	17	11	12	12	6	2
		100.0	64.7	70.6	70.6	35.3	11.8
⑥水族館	28	21	20	26	13	1	
	100.0	75.0	71.4	92.9	46.4	3.6	
⑦動物園・植物園	5	0	3	4	0	2	
	100.0	-	60.0	80.0	-	40.0	
⑧その他	11	6	9	6	2	2	
	100.0	54.5	81.8	54.5	18.2	18.2	

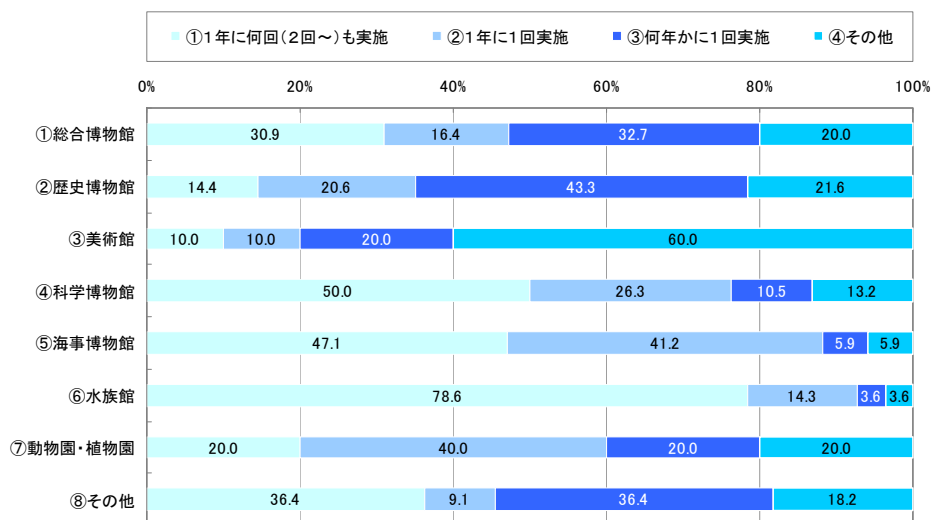


- ・「科学博物館」「海事博物館」「水族館」の「常設展」「企画展 (特別展)」「教育普及事業」「調査研究事業」の比率が高い。
- ・「総合博物館」では「教育普及事業」「調査研究事業」の比率が全体値 (全館種の合計値が示す比率) より高い。
- ・「歴史博物館」では「企画展 (特別展)」の比率が高い。

I ①館種 × II ④頻度

< n 値 = 261 >

	合計	II ④				
		①1年に何回 (2回～)も実施	②1年に1回 実施	③何年かに1回 実施	④その他	
合計	261	86	54	73	48	
	100.0	33.0	20.7	28.0	18.4	
I ①	①総合博物館	55	17	9	18	11
		100.0	30.9	16.4	32.7	20.0
	②歴史博物館	97	14	20	42	21
		100.0	14.4	20.6	43.3	21.6
	③美術館	10	1	1	2	6
		100.0	10.0	10.0	20.0	60.0
	④科学博物館	38	19	10	4	5
		100.0	50.0	26.3	10.5	13.2
	⑤海事博物館	17	8	7	1	1
		100.0	47.1	41.2	5.9	5.9
	⑥水族館	28	22	4	1	1
		100.0	78.6	14.3	3.6	3.6
	⑦動物園・植物園	5	1	2	1	1
		100.0	20.0	40.0	20.0	20.0
	⑧その他	11	4	1	4	2
		100.0	36.4	9.1	36.4	18.2

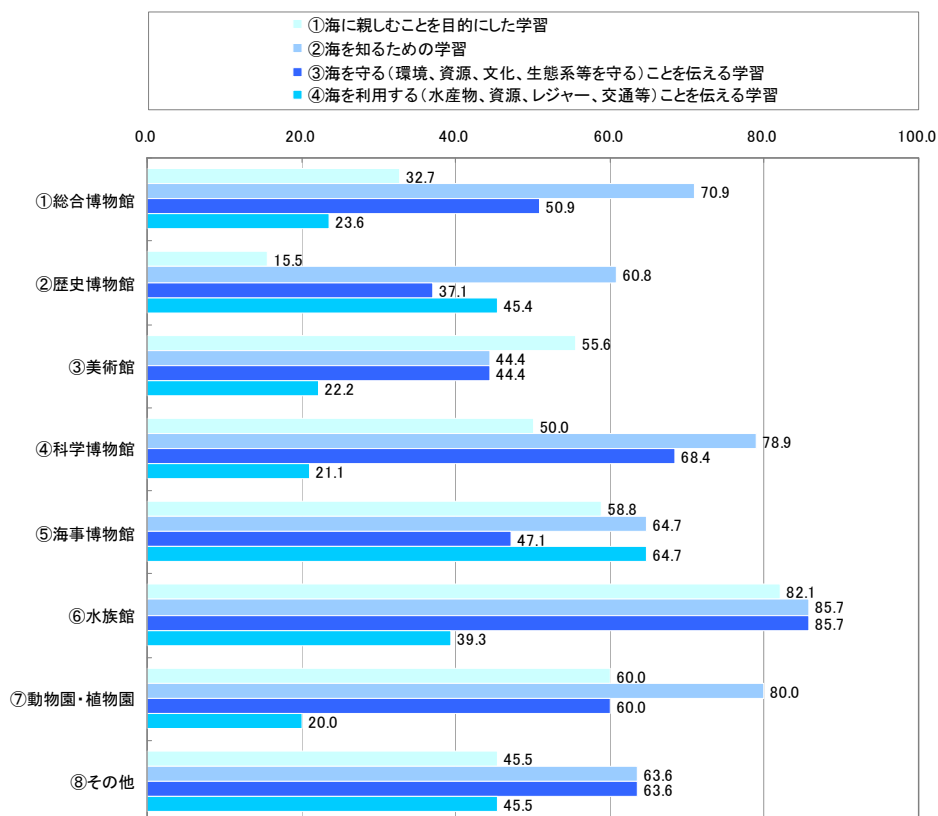


- ・「科学博物館」「海事博物館」「水族館」の「1年に何回(2回～)も実施」の比率が高い。
- ・「総合博物館」「歴史博物館」では「何年かに1回実施」の比率が高い。

I ①館種 × II ⑤目的 (複数回答)

< n 値 = 260 >

	合計	II ⑤				
		①海に親しむことを目的にした学習	②海を知るための学習	③海を守る(環境、資源、文化、生態系等を守る)ことを伝える学習	④海を利用する(水産物、資源、レジャー、交通等)ことを伝える学習	
合計	260	98	178	136	95	
	100.0	37.7	68.5	52.3	36.5	
I ①	①総合博物館	55	18	39	28	13
		100.0	32.7	70.9	50.9	23.6
	②歴史博物館	97	15	59	36	44
		100.0	15.5	60.8	37.1	45.4
	③美術館	9	5	4	4	2
		100.0	55.6	44.4	44.4	22.2
	④科学博物館	38	19	30	26	8
		100.0	50.0	78.9	68.4	21.1
	⑤海事博物館	17	10	11	8	11
		100.0	58.8	64.7	47.1	64.7
	⑥水族館	28	23	24	24	11
		100.0	82.1	85.7	85.7	39.3
	⑦動物園・植物園	5	3	4	3	1
		100.0	60.0	80.0	60.0	20.0
	⑧その他	11	5	7	7	5
		100.0	45.5	63.6	63.6	45.5



- ・「総合博物館」では「海を知るための学習」の比率が、「歴史博物館」では「海を利用する(水産物、資源、レジャー、交通等)ことを伝える学習」の比率が全体値(全館種の合計値が示す比率)より高い。
- ・「科学博物館」では、「海に親しむことを目的にした学習」「海を知るための学習」「海を守る(環境、資源、文化、生態系等)ことを伝える学習」の比率が全体値(全館種の合計値が示す比率)より高い。
- ・「水族館」では、8割以上の施設で「海に親しむことを目的にした学習」「海を知るための学習」「海を守る(環境、資源、文化、生態系等)ことを伝える学習」が行われている。



I ①館種 × II ⑥協力者の有無

< n 値=261 >

	合計	II ⑥		
		①協力者はいる	②協力者はいない	
合計	261	199	62	
	100.0	76.2	23.8	
I ①	①総合博物館	55	44	11
		100.0	80.0	20.0
	②歴史博物館	97	66	31
		100.0	68.0	32.0
	③美術館	10	6	4
		100.0	60.0	40.0
	④科学博物館	38	33	5
		100.0	86.8	13.2
	⑤海事博物館	17	15	2
		100.0	88.2	11.8
⑥水族館	28	23	5	
	100.0	82.1	17.9	
⑦動物園・植物園	5	4	1	
	100.0	80.0	20.0	
⑧その他	11	8	3	
	100.0	72.7	27.3	

・「総合博物館」「科学博物館」「海事博物館」「水族館」「動物園・植物園」では、全体の8割以上の施設が「協力者はいる」と回答している。

I ①館種 × II ⑦協力者の概要<種別> (複数回答)

< n 値=199 >

	合計	II ⑦												
		①(自館以外の)博物館	②(自館以外の)学芸員	③博物館関連団体や博物館に関するネットワーク	④大学や研究機関	⑤(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)	⑥漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体	⑦財団法人等の公益機関	⑧民間企業	⑨市民団体やNPO	⑩海洋に関する専門職業に就いている(従事していた)人	⑪市民サポーター	⑫その他	
合計	199	90	73	50	97	47	59	37	25	69	56	50	20	
	100.0	45.2	36.7	25.1	48.7	23.6	29.6	18.6	12.6	34.7	28.1	25.1	10.1	
I ①	①総合博物館	44	19	16	14	21	7	8	7	1	18	9	11	5
		100.0	43.2	36.4	31.8	47.7	15.9	18.2	15.9	2.3	40.9	20.5	25.0	11.4
	②歴史博物館	66	24	25	15	28	12	18	7	4	18	17	14	5
		100.0	36.4	37.9	22.7	42.4	18.2	27.3	10.6	6.1	27.3	25.8	21.2	7.6
	③美術館	6	1	2	1	1	0	1	2	1	2	1	2	1
		100.0	16.7	33.3	16.7	16.7	-	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7
	④科学博物館	33	18	14	12	19	13	11	8	7	11	11	12	4
		100.0	54.5	42.4	36.4	57.6	39.4	33.3	24.2	21.2	33.3	33.3	36.4	12.1
	⑤海事博物館	15	10	5	5	7	6	5	4	4	8	7	6	1
		100.0	66.7	33.3	33.3	46.7	40.0	33.3	26.7	26.7	53.3	46.7	40.0	6.7
⑥水族館	23	13	8	2	14	7	14	6	6	6	5	4	2	
	100.0	56.5	34.8	8.7	60.9	30.4	60.9	26.1	26.1	26.1	21.7	17.4	8.7	
⑦動物園・植物園	4	2	1	1	3	0	0	0	0	2	1	0	0	
	100.0	50.0	25.0	25.0	75.0	-	-	-	-	50.0	25.0	-	-	
⑧その他	8	3	2	0	4	2	2	3	2	4	5	1	2	
	100.0	37.5	25.0	-	50.0	25.0	25.0	37.5	25.0	50.0	62.5	12.5	25.0	

- ・「総合博物館」では「博物館関連団体や博物館に関するネットワーク」「市民団体やNPO」、「歴史博物館」では「(自館以外の)学芸員」が、「美術館」では「財団法人等の公益機関」「民間企業」「市民サポーター」の比率が全体値(全館種の合計値が示す比率)より高い。
- ・「科学博物館」「海事博物館」では、選択肢に表した協力者全てから、高い比率で協力(支援)を受けている様子がうかがえる。
- ・「水族館」では、「(自館以外の)博物館」「大学や研究機関」「(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)」「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」「財団法人等の公益機関」「民間企業」の比率が全体値(全館種の合計値が示す比率)より高い。

I ①館種 × II ⑧協力内容（複数回答）

< n 値 = 199 >

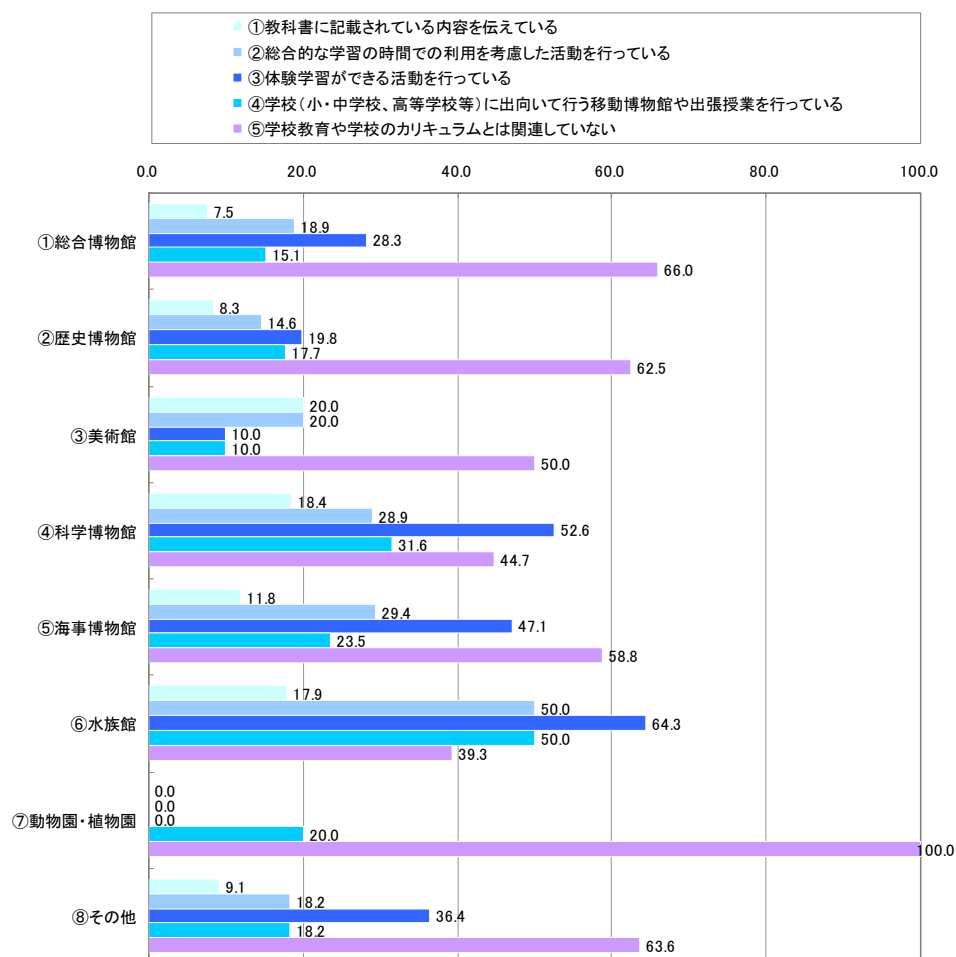
	合計	II ⑧									
		①教材の提供	②講師の派遣	③施設見学と解説の対応	④授業やプログラムの共同開発	⑤体験学習用の施設の利用	⑥体験学習に必要な機材の提供	⑦「海洋教育」の要素を含んだ活動に関する情報発信	⑧活動を実施する際の人的サポート	⑨その他	
合計	199	70	110	42	28	26	52	35	92	37	
	100.0	35.2	55.3	21.1	14.1	13.1	26.1	17.6	46.2	18.6	
I ①	①総合博物館	44	13	24	10	6	2	10	3	23	9
		100.0	29.5	54.5	22.7	13.6	4.5	22.7	6.8	52.3	20.5
	②歴史博物館	66	22	30	13	8	5	10	12	27	14
		100.0	33.3	45.5	19.7	12.1	7.6	15.2	18.2	40.9	21.2
	③美術館	6	0	0	0	0	0	1	2	3	3
		100.0	-	-	-	-	-	16.7	33.3	50.0	50.0
	④科学博物館	33	16	21	11	7	9	14	8	17	4
		100.0	48.5	63.6	33.3	21.2	27.3	42.4	24.2	51.5	12.1
	⑤海事博物館	15	6	8	4	3	5	5	3	5	3
		100.0	40.0	53.3	26.7	20.0	33.3	33.3	20.0	33.3	20.0
	⑥水族館	23	8	17	3	4	4	9	3	13	2
		100.0	34.8	73.9	13.0	17.4	17.4	39.1	13.0	56.5	8.7
	⑦動物園・植物園	4	1	3	1	0	0	1	0	3	1
		100.0	25.0	75.0	25.0	-	-	25.0	-	75.0	25.0
	⑧その他	8	4	7	0	0	1	2	4	1	1
		100.0	50.0	87.5	-	-	12.5	25.0	50.0	12.5	12.5

- ・「総合博物館」では「施設見学と解説の対応」「活動を実施する際の人的サポート」、「歴史博物館」では「海洋教育」の要素を含んだ活動に関する情報発信、「美術館」では「海洋教育」の要素を含んだ活動に関する情報発信「活動を実施する際の人的サポート」の比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）より高い。
- ・「科学博物館」は、選択肢に表した全ての協力（内容）の比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。「海事博物館」とともに、様々な協力（内容）を受けて海洋教育活動を推進している様子が見えてくる。
- ・「水族館」では、「講師の派遣」「授業やプログラムの共同開発」「体験学習用の施設の利用」「体験学習に必要な機材の提供」「活動を実施する際の人的サポート」の比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）より高い。
- ・「動物園・植物園」では、「講師の派遣」「活動を実施する際の人的サポート」の比率が他の館種の比率を上回っている。

I ①館種 × II ⑨学校教育との関連（複数回答）

< n 値 = 258 >

	合計	II ⑨					
		①教科書に記載されている内容を伝えている	②総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている	③体験学習ができる活動を行っている	④学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている	⑤学校教育や学校のカリキュラムとは関連していない	
合計	258	29	58	85	59	150	
	100.0	11.2	22.5	32.9	22.9	58.1	
I ①	①総合博物館	53	4	10	15	8	35
		100.0	7.5	18.9	28.3	15.1	66.0
	②歴史博物館	96	8	14	19	17	60
		100.0	8.3	14.6	19.8	17.7	62.5
	③美術館	10	2	2	1	1	5
		100.0	20.0	20.0	10.0	10.0	50.0
	④科学博物館	38	7	11	20	12	17
		100.0	18.4	28.9	52.6	31.6	44.7
	⑤海事博物館	17	2	5	8	4	10
		100.0	11.8	29.4	47.1	23.5	58.8
	⑥水族館	28	5	14	18	14	11
		100.0	17.9	50.0	64.3	50.0	39.3
	⑦動物園・植物園	5	0	0	0	1	5
		100.0	-	-	-	20.0	100.0
	⑧その他	11	1	2	4	2	7
		100.0	9.1	18.2	36.4	18.2	63.6

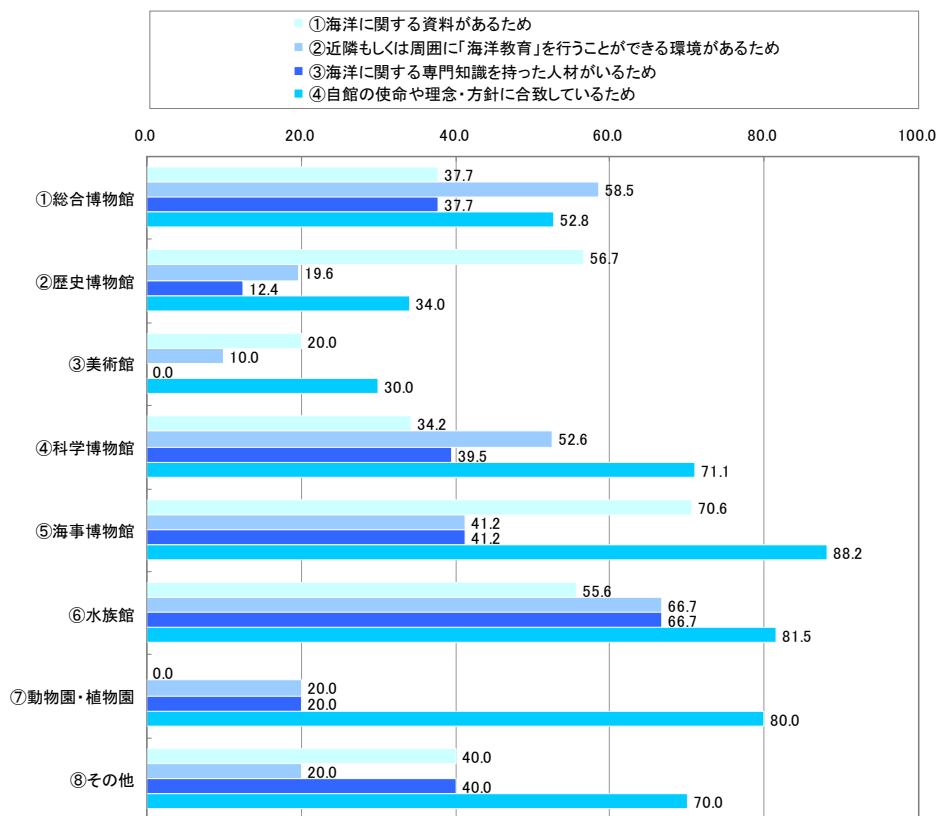


・「科学博物館」「海事博物館」「水族館」では、他の館種に比べて、学校教育や学校のカリキュラムに関連した海洋教育活動を実施している様子が見られる（選択肢①～④の取り組みにおいて、高い比率を示している）。

I ①館種 × II ⑩実施した理由（複数回答）

< n 値 = 257 >

	合計	II ⑩					
		①海洋に関する資料があるため	②近隣もしくは周囲に「海洋教育」を行うことができる環境があるため	③海洋に関する専門知識を持った人材がいるため	④自館の使命や理念・方針に合致しているため	⑤その他	
合計	257	121	99	77	139	41	
	100.0	47.1	38.5	30.0	54.1	16.0	
I ①	①総合博物館	53	20	31	20	28	6
		100.0	37.7	58.5	37.7	52.8	11.3
	②歴史博物館	97	55	19	12	33	17
		100.0	56.7	19.6	12.4	34.0	17.5
	③美術館	10	2	1	0	3	5
		100.0	20.0	10.0	-	30.0	50.0
	④科学博物館	38	13	20	15	27	6
		100.0	34.2	52.6	39.5	71.1	15.8
	⑤海事博物館	17	12	7	7	15	1
		100.0	70.6	41.2	41.2	88.2	5.9
	⑥水族館	27	15	18	18	22	5
		100.0	55.6	66.7	66.7	81.5	18.5
	⑦動物園・植物園	5	0	1	1	4	1
		100.0	-	20.0	20.0	80.0	20.0
	⑧その他	10	4	2	4	7	0
		100.0	40.0	20.0	40.0	70.0	-

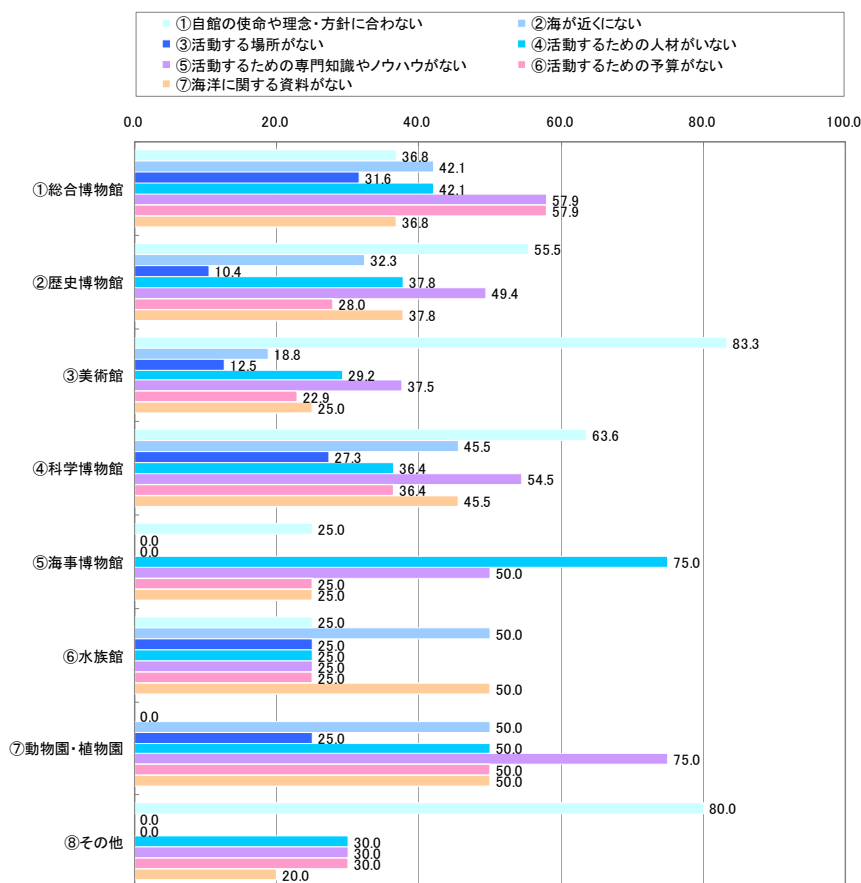


- ・「総合博物館」「科学博物館」では、「近隣もしくは周囲に「海洋教育」を行うことができる環境があるため」「海洋に関する専門知識を持った人材がいるため」の比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）より高い。
- ・「歴史博物館」では「海洋に関する資料があるため」の比率が高い。
- ・「科学博物館」では「自館の使命や理念・方針に合致しているため」の比率も高い。
- ・「海事博物館」「水族館」では、選択肢①～④の比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。

I ①館種 × II ①実施したことがない館の理由（複数回答）

< n 値=264 >

	合計	II ①								
		①自館の使命や理念・方針に合わない	②海が近くにない	③活動する場所がない	④活動するための人材が少ない	⑤活動するための専門知識やノウハウがない	⑥活動するための予算がない	⑦海洋に関する資料がない	⑧その他	
合計	264	155	79	34	97	125	79	93	20	
	100.0	58.7	29.9	12.9	36.7	47.3	29.9	35.2	7.6	
I ①	①総合博物館	19	7	8	6	8	11	11	7	2
		100.0	36.8	42.1	31.6	42.1	57.9	57.9	36.8	10.5
	②歴史博物館	164	91	53	17	62	81	46	62	10
		100.0	55.5	32.3	10.4	37.8	49.4	28.0	37.8	6.1
	③美術館	48	40	9	6	14	18	11	12	3
		100.0	83.3	18.8	12.5	29.2	37.5	22.9	25.0	6.3
	④科学博物館	11	7	5	3	4	6	4	5	3
		100.0	63.6	45.5	27.3	36.4	54.5	36.4	45.5	27.3
	⑤海事博物館	4	1	0	0	3	2	1	1	1
		100.0	25.0	-	-	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0
	⑥水族館	4	1	2	1	1	1	1	2	1
		100.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0
	⑦動物園・植物園	4	0	2	1	2	3	2	2	0
		100.0	-	50.0	25.0	50.0	75.0	50.0	50.0	-
	⑧その他	10	8	0	0	3	3	3	2	0
		100.0	80.0	-	-	30.0	30.0	30.0	20.0	-

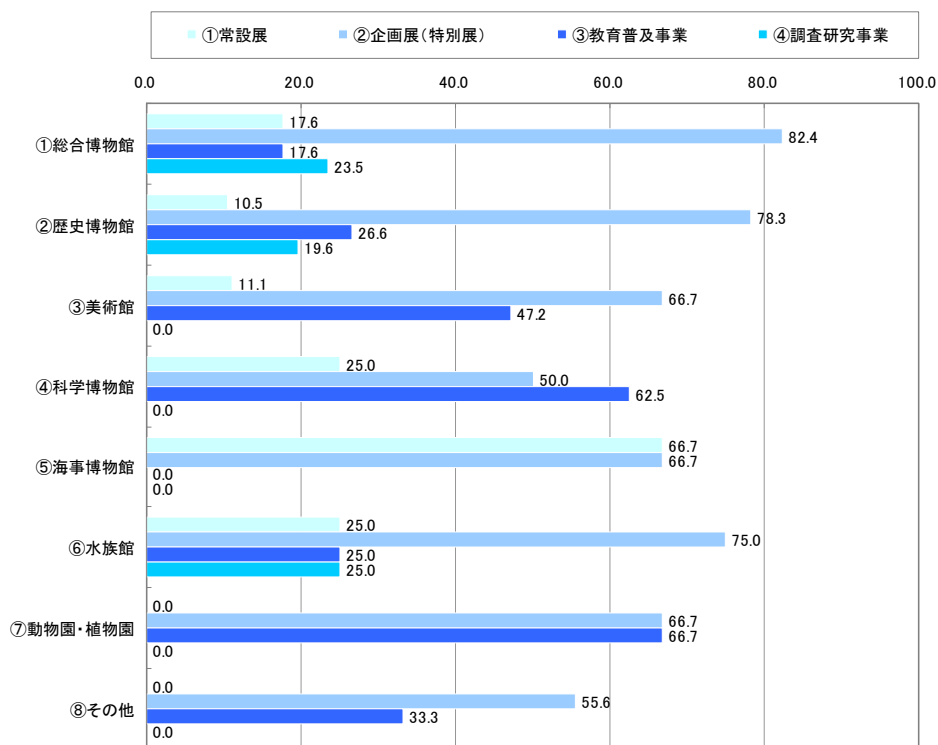


- ・海洋教育活動に積極的な館種と捉えている「海事博物館」（実施したことがない施設）では、「活動するための人材が少ない」「活動するための専門知識やノウハウがない」の比率が高い。
- ・本設問に対して最も多くの回答を得ている「歴史博物館」では、「海が近くにない」「活動するための人材が少ない」「活動するための専門知識やノウハウがない」「海洋に関する資料がない」の比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。
- ・「総合博物館」では、選択肢②～⑦の比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。

I ①館種×II ⑫実施することを想定した場合の活動内容（複数回答）

< n 値=223 >

	合計	II ⑫					
		①常設展	②企画展 (特別展)	③教育普及事業	④調査研究事業	⑤その他	
合計	223	27	166	69	33	10	
	100.0	12.1	74.4	30.9	14.8	4.5	
I ①	①総合博物館	17	3	14	3	4	1
		100.0	17.6	82.4	17.6	23.5	5.9
	②歴史博物館	143	15	112	38	28	5
		100.0	10.5	78.3	26.6	19.6	3.5
	③美術館	36	4	24	17	0	2
		100.0	11.1	66.7	47.2	-	5.6
	④科学博物館	8	2	4	5	0	0
		100.0	25.0	50.0	62.5	-	-
	⑤海事博物館	3	2	2	0	0	0
		100.0	66.7	66.7	-	-	-
⑥水族館	4	1	3	1	1	1	
	100.0	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	
⑦動物園・植物園	3	0	2	2	0	0	
	100.0	-	66.7	66.7	-	-	
⑧その他	9	0	5	3	0	1	
	100.0	-	55.6	33.3	-	11.1	

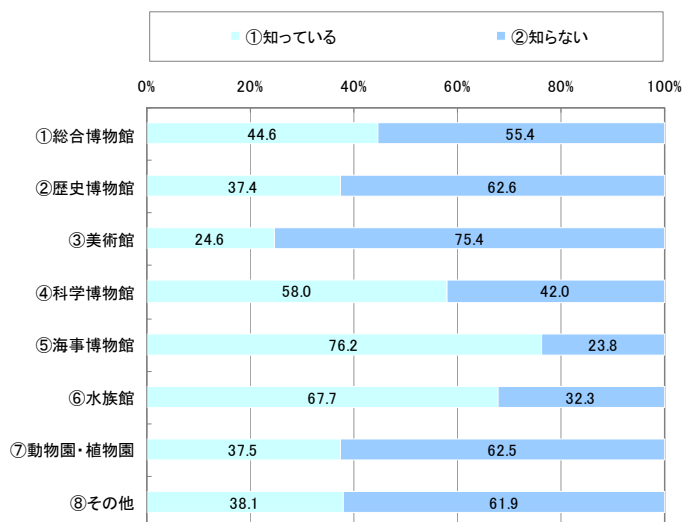


- ・海洋教育活動の実施率が高いとは言えない「美術館」において、「教育普及事業」（への要望）の比率が、全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っていることが注目できる。
- ・「総合博物館」では、「常設展」「企画展（特別展）」「調査研究事業」（への要望）の比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。
- ・「歴史博物館」では、「企画展（特別展）」「調査研究事業」（への要望）の比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。

I ①館種 × Ⅲ①「海洋教育」の認知度

< n 値=524 >

	合計	Ⅲ①		
		①知っている	②知らない	
合計	524	222	302	
	100.0	42.4	57.6	
I ①	①総合博物館	74	33	41
		100.0	44.6	55.4
	②歴史博物館	262	98	164
		100.0	37.4	62.6
	③美術館	57	14	43
		100.0	24.6	75.4
	④科学博物館	50	29	21
		100.0	58.0	42.0
	⑤海事博物館	21	16	5
		100.0	76.2	23.8
	⑥水族館	31	21	10
		100.0	67.7	32.3
	⑦動物園・植物園	8	3	5
		100.0	37.5	62.5
	⑧その他	21	8	13
		100.0	38.1	61.9

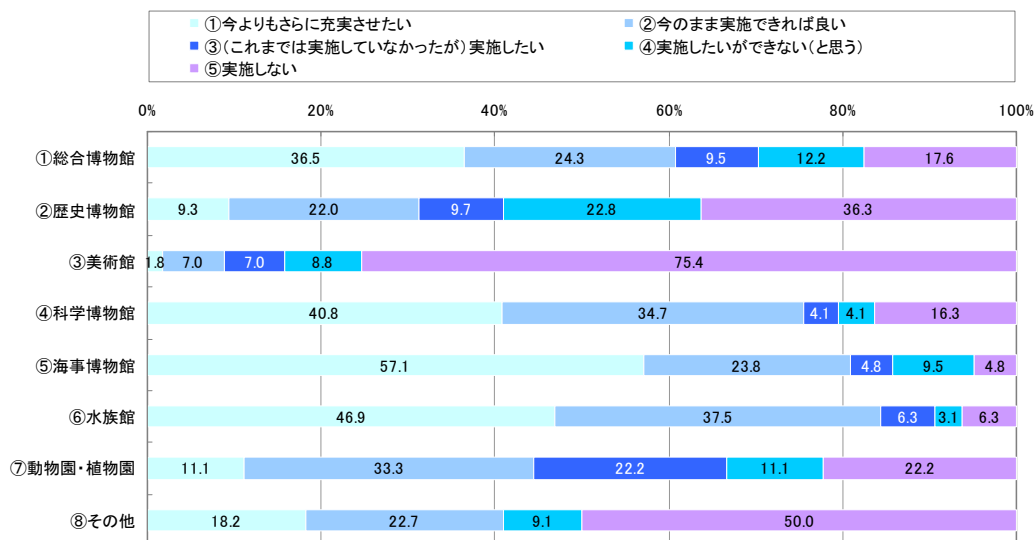


- ・「科学博物館」「海事博物館」「水族館」では、「海洋教育」という言葉に対する認知度が高い傾向にある。
- ・「総合博物館」についても、「（「海洋教育」という言葉を）知っている」と回答した比率は全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。

I ①館種×Ⅲ③「海洋教育」に関する各館の意向

< n 値=523 >

	合計	Ⅲ③					
		①今よりもさらに充実させたい	②今のまま実施できれば良い	③(これまでは実施していなかったが)実施したい	④実施したいができない(と思う)	⑤実施しない	
合計	523	104	121	43	81	174	
	100.0	19.9	23.1	8.2	15.5	33.3	
I ①	①総合博物館	74	27	18	7	9	13
		100.0	36.5	24.3	9.5	12.2	17.6
	②歴史博物館	259	24	57	25	59	94
		100.0	9.3	22.0	9.7	22.8	36.3
	③美術館	57	1	4	4	5	43
		100.0	1.8	7.0	7.0	8.8	75.4
	④科学博物館	49	20	17	2	2	8
		100.0	40.8	34.7	4.1	4.1	16.3
	⑤海事博物館	21	12	5	1	2	1
		100.0	57.1	23.8	4.8	9.5	4.8
	⑥水族館	32	15	12	2	1	2
		100.0	46.9	37.5	6.3	3.1	6.3
	⑦動物園・植物園	9	1	3	2	1	2
		100.0	11.1	33.3	22.2	11.1	22.2
	⑧その他	22	4	5	0	2	11
		100.0	18.2	22.7	-	9.1	50.0



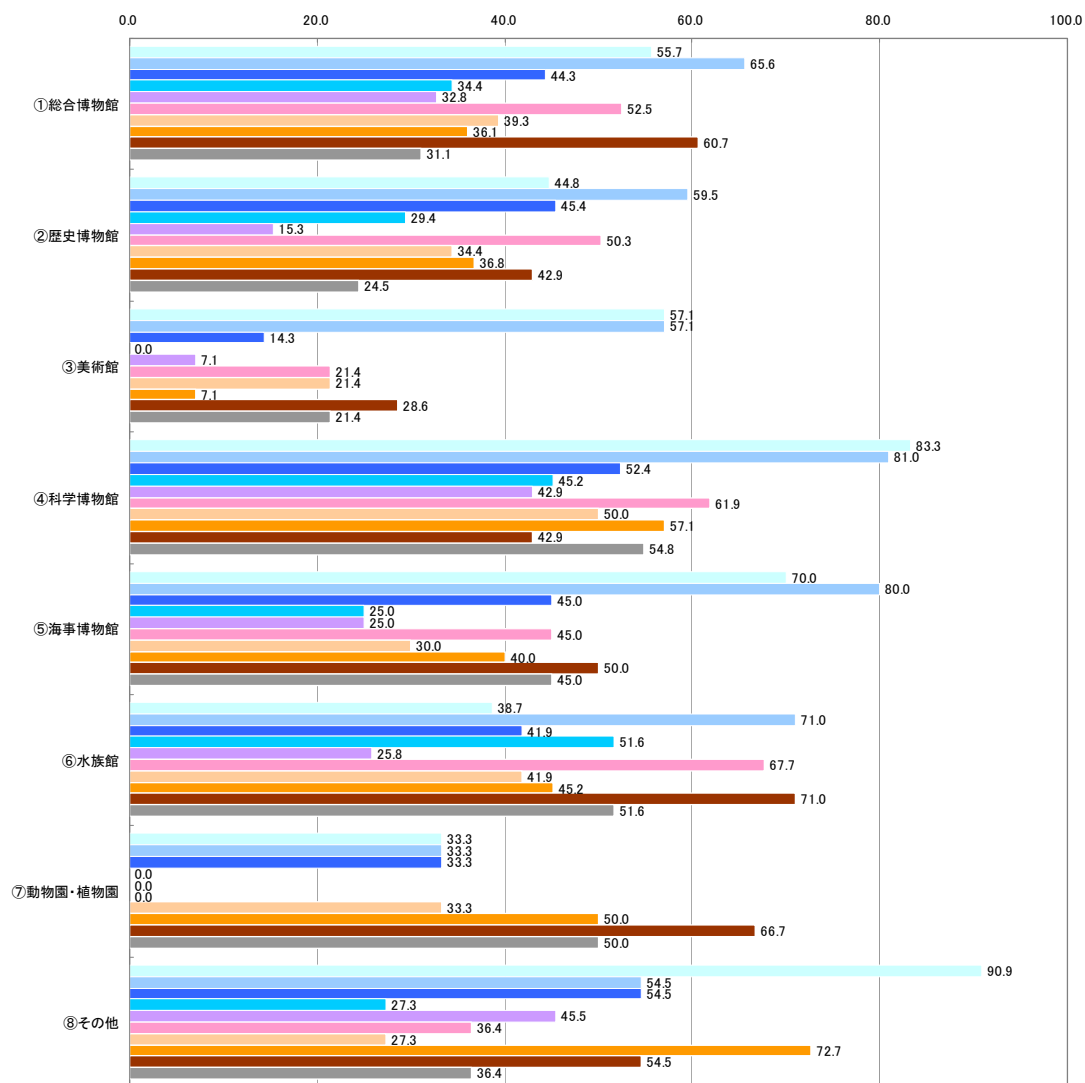
- ・「総合博物館」「科学博物館」「海事博物館」「水族館」では、「(海洋教育活動を)今よりもさらに充実させたい」と回答した比率が全体値(全館種の合計値が示す比率)を大きく上回っている。
- ・「歴史博物館」では、「(これまでは実施していなかったが)実施したい」と回答した比率が全体値(全館種の合計値が示す比率)を上回っている。



I ①館種 × Ⅲ④海洋教育活動推進に必要な事柄（複数回答）

< n 値 = 348 >

	合計	Ⅲ④											
		①外部からの協力・支援	②予算	③海洋に関する資料の充実（質・量）	④海洋に関する調査研究活動の充実	⑤海洋に関する最新の情報	⑥学芸員や職員のスキルアップ（必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等）	⑦博物館間や学芸員同士のネットワーク	⑧関連機関や専門機関とのネットワーク	⑨組織・人員体制の充実	⑩場所や設備・機材の充実	⑪その他	
合計	348	188	225	155	112	82	177	128	140	171	117	9	
	100.0	54.0	64.7	44.5	32.2	23.6	50.9	36.8	40.2	49.1	33.6	2.6	
I ①	①総合博物館	61	34	40	27	21	20	32	24	22	37	19	1
		100.0	55.7	65.6	44.3	34.4	32.8	52.5	39.3	36.1	60.7	31.1	1.6
	②歴史博物館	163	73	97	74	48	25	82	56	60	70	40	3
		100.0	44.8	59.5	45.4	29.4	15.3	50.3	34.4	36.8	42.9	24.5	1.8
	③美術館	14	8	8	2	0	1	3	3	1	4	3	2
		100.0	57.1	57.1	14.3	-	7.1	21.4	21.4	7.1	28.6	21.4	14.3
	④科学博物館	42	35	34	22	19	18	26	21	24	18	23	2
		100.0	83.3	81.0	52.4	45.2	42.9	61.9	50.0	57.1	42.9	54.8	4.8
	⑤海事博物館	20	14	16	9	5	5	9	6	8	10	9	0
		100.0	70.0	80.0	45.0	25.0	25.0	45.0	30.0	40.0	50.0	45.0	-
⑥水族館	31	12	22	13	16	8	21	13	14	22	16	0	
	100.0	38.7	71.0	41.9	51.6	25.8	67.7	41.9	45.2	71.0	51.6	-	
⑦動物園・植物園	6	2	2	2	0	0	0	2	3	4	3	1	
	100.0	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	50.0	66.7	50.0	16.7	
⑧その他	11	10	6	6	3	5	4	3	8	6	4	0	
	100.0	90.9	54.5	54.5	27.3	45.5	36.4	27.3	72.7	54.5	36.4	-	



- ・「総合博物館」では、半数以上の施設が「外部からの協力・支援」「予算」「学芸員や職員のスキルアップ（必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等）」「組織・人員体制の充実」が必要と回答している。
- ・「歴史博物館」では、「海洋に関する資料の充実（質・量）」が必要と回答した比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。
- ・「美術館」では、「外部からの協力・支援」が必要と回答した比率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。
- ・「科学博物館」では、「組織・人員体制の充実」を除く全ての事項において、他の館種に比べて、高い比率を示している（高い要望が示されている）。
- ・「海事博物館」では、半数以上の施設が「外部からの協力・支援」「予算」「組織・人員体制の充実」が必要と回答している。
- ・「水族館」では、半数以上の施設が「予算」「海洋に関する調査研究活動の充実」「学芸員や職員のスキルアップ（必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等）」「組織・人員体制の充実」「場所や設備・機材の充実」が必要と回答している。
- ・「動物園・植物園」では、半数以上の施設が「関連機関や専門機関とのネットワーク」「組織・人員体制の充実」「場所や設備・機材の充実」が必要と回答している。

I ①館種 × III ⑤協力者の必要性 <種別> (複数回答)

< n 値 = 183 >

	合計	III ⑤												
		①(自館以外の)博物館	②(自館以外の)学芸員	③博物館関連団体や博物館に関するネットワーク	④大学や研究機関	⑤(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)	⑥漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体	⑦財団法人等の公益機関	⑧民間企業	⑨市民団体やNPO	⑩海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人	⑪市民サポーター	⑫その他	
合計	183 100.0	105 57.4	92 50.3	69 37.7	105 57.4	48 26.2	86 47.0	48 26.2	29 15.8	61 33.3	87 47.5	41 22.4	9 4.9	
I ①	①総合博物館	34 100.0	18 52.9	13 38.2	12 35.3	21 61.8	8 23.5	18 52.9	10 29.4	4 11.8	13 38.2	15 44.1	9 26.5	1 2.9
	②歴史博物館	71 100.0	46 64.8	44 62.0	27 38.0	40 56.3	14 19.7	32 45.1	17 23.9	9 12.7	22 31.0	38 53.5	10 14.1	2 2.8
	③美術館	7 100.0	5 71.4	2 28.6	0 -	3 42.9	1 14.3	2 28.6	2 28.6	1 14.3	3 42.9	3 42.9	2 28.6	2 28.6
	④科学博物館	33 100.0	17 51.5	17 51.5	14 42.4	25 75.8	14 42.4	16 48.5	9 27.3	9 27.3	10 30.3	16 48.5	11 33.3	3 9.1
	⑤海事博物館	14 100.0	6 42.9	8 57.1	7 50.0	6 42.9	6 42.9	6 42.9	6 42.9	4 28.6	6 42.9	8 57.1	4 28.6	0 -
	⑥水族館	12 100.0	5 41.7	3 25.0	4 33.3	7 58.3	3 25.0	8 66.7	2 16.7	1 8.3	2 16.7	5 41.7	2 16.7	1 8.3
	⑦動物園・植物園	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 -	0 -	0 -	0 -	2 100.0	0 -	0 -	0 -
	⑧その他	10 100.0	6 60.0	4 40.0	4 40.0	2 20.0	2 20.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	3 30.0	0 -

- ・「総合博物館」では、半数以上の施設が「(自館以外の)博物館」「大学や研究機関」「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」の協力が必要と回答している。
- ・「歴史博物館」では、半数以上の施設が「(自館以外の)博物館」「(自館以外の)学芸員」「大学や研究機関」「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」の協力が必要と回答している。
- ・「美術館」では、「(自館以外の)博物館」「財団法人等の公益機関」「市民団体やNPO」「市民サポーター」の協力が必要と回答した比率が全体値(全館種の合計値が示す比率)を上回っている。
- ・「科学博物館」では、「(自館以外の)博物館」「市民団体やNPO」以外の協力者に対する回答率が全体値(全館種の合計値が示す比率)を上回っている。「(自館以外の)博物館」からの協力も全体の半数以上の施設が、「市民団体やNPO」からの協力も全体の3割以上の施設が必要と回答している。
- ・「海事博物館」では、半数以上の施設が「(自館以外の)学芸員」「博物館関連団体や博物館に関するネットワーク」「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」の協力が必要と回答している。
- ・「水族館」では、半数以上の施設が「大学や研究機関」「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」の協力が必要と回答している。

I ①館種 × III ⑥求められる協力・支援内容（複数回答）

< n 値 = 185 >

	合計	III ⑥							
		①専門知識・情報の提供	②海洋教育活動の事例紹介	③関連資料や教材の提供	④専門家の派遣	⑤活動実施に係る資金面の助成	⑥研究会や研修会の実施	⑦その他	
合計	185	150	77	114	90	95	51	10	
	100.0	81.1	41.6	61.6	48.6	51.4	27.6	5.4	
I ①	①総合博物館	33	30	15	20	19	20	11	1
		100.0	90.9	45.5	60.6	57.6	60.6	33.3	3.0
	②歴史博物館	73	59	28	41	34	38	21	3
		100.0	80.8	38.4	56.2	46.6	52.1	28.8	4.1
	③美術館	8	5	5	2	1	4	0	3
		100.0	62.5	62.5	25.0	12.5	50.0	-	37.5
	④科学博物館	33	29	13	27	20	15	12	2
		100.0	87.9	39.4	81.8	60.6	45.5	36.4	6.1
	⑤海事博物館	14	11	7	9	6	9	1	0
		100.0	78.6	50.0	64.3	42.9	64.3	7.1	-
	⑥水族館	12	8	3	5	6	4	4	1
		100.0	66.7	25.0	41.7	50.0	33.3	33.3	8.3
	⑦動物園・植物園	2	2	1	1	1	0	0	0
		100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
	⑧その他	10	6	5	9	3	5	2	0
		100.0	60.0	50.0	90.0	30.0	50.0	20.0	-

- ・「総合博物館」では、「関連資料や教材の提供」以外の協力・支援内容に対する回答率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている（高い要望が示されている）。  
「関連資料や教材の提供」についても全体の6割以上の施設が必要と回答している。
- ・「歴史博物館」では、半数以上の施設が「専門知識・情報の提供」「関連資料や教材の提供」「活動実施に係る資金面の助成」が必要と回答している。
- ・「美術館」では、半数以上の施設が「専門知識・情報の提供」「海洋教育活動の事例紹介」「活動実施に係る資金面の助成」が必要と回答している。
- ・「科学博物館」では、半数以上の施設が「専門知識・情報の提供」「関連資料や教材の提供」「専門家の派遣」が必要と回答している。
- ・「海事博物館」では、半数以上の施設が「専門知識・情報の提供」「海洋教育活動の事例紹介」「関連資料や教材の提供」「活動実施に係る資金面の助成」が必要と回答している。
- ・「水族館」では、半数以上の施設が「専門知識・情報の提供」「専門家の派遣」が必要と回答している。
- ・「専門知識・情報の提供」は、全ての館種において、全体の60%以上の施設が必要と回答している。
- ・「研究会や研修会の実施」は、「総合博物館」「科学博物館」「水族館」において、全体の3分の1以上の施設が必要と回答している。

I ①館種×Ⅲ⑦博物館における「海洋教育」の内容（複数回答）

< n 値=520 >

	合計	Ⅲ⑦													
		①海に関連した文化や芸術に関する内容	②海にまつわる歴史に関する内容	③海や地球の仕組みに関する内容	④海に生きる生物に関する内容	⑤海の世界に関する内容	⑥海と私たちの生活の関連性に関する内容	⑦海の災害や防災に関する内容	⑧海での観光やレジャーに関する内容	⑨海から得ることができる資源やエネルギーに関する内容	⑩海に関する産業など経済活動に関する内容	⑪海に関する体験学習（臨海学校、磯のフィールド調査、漁業体験等）	⑫その他	⑬特になし	
合計	520 100.0	201 38.7	259 49.8	67 12.9	151 29.0	145 27.9	133 25.6	60 11.5	9 1.7	15 2.9	59 11.3	96 18.5	19 3.7	51 9.8	
I ①	①総合博物館	73 100.0	19 26.0	34 46.6	16 21.9	37 50.7	26 35.6	18 24.7	8 11.0	0 -	1 1.4	8 11.0	19 26.0	4 5.5	5 6.8
	②歴史博物館	259 100.0	124 47.9	197 76.1	15 5.8	31 12.0	39 15.1	67 25.9	37 14.3	4 1.5	6 2.3	39 15.1	30 11.6	8 3.1	24 9.3
	③美術館	56 100.0	37 66.1	12 21.4	3 5.4	5 8.9	4 7.1	8 14.3	3 5.4	0 -	1 1.8	1 1.8	4 7.1	2 3.6	15 26.8
	④科学博物館	48 100.0	0 -	2 4.2	27 56.3	33 68.8	34 70.8	11 22.9	6 12.5	1 2.1	5 10.4	2 4.2	15 31.3	1 2.1	2 4.2
	⑤海事博物館	21 100.0	6 28.6	11 52.4	1 4.8	6 28.6	5 23.8	13 61.9	3 14.3	2 9.5	0 -	8 38.1	3 14.3	1 4.8	0 -
	⑥水族館	32 100.0	3 9.4	0 -	4 12.5	29 90.6	25 78.1	8 25.0	0 -	0 -	0 -	0 -	17 53.1	1 3.1	1 3.1
	⑦動物園・植物園	9 100.0	2 22.2	0 -	0 -	6 66.7	5 55.6	2 22.2	0 -	1 11.1	0 -	0 -	2 22.2	0 -	2 22.2
	⑧その他	22 100.0	10 45.5	3 13.6	1 4.5	4 18.2	7 31.8	6 27.3	3 13.6	1 4.5	2 9.1	1 4.5	6 27.3	2 9.1	2 9.1

- ・「総合博物館」では、半数以上の施設が「海に生きる生物に関する内容」を伝えたいと回答している。他に「海や地球の仕組みに関する内容」「海の世界に関する内容」「海と私たちの生活の関連性に関する内容」「海の災害や防災に関する内容」「海に関する産業など経済活動に関する内容」の回答率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。
- ・「歴史博物館」では、全体の4分の3以上の施設が「海にまつわる歴史に関する内容」を伝えたいと回答している。他に「海に関連した文化や芸術に関する内容」「海と私たちの生活の関連性に関する内容」「海の災害や防災に関する内容」「海に関する産業など経済活動に関する内容」の回答率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。
- ・「美術館」では、全体の65%以上の施設が「海に関連した文化や芸術に関する内容」を伝えたいと回答している。
- ・「科学博物館」では、全体の半数以上の施設が「海や地球の仕組みに関する内容」「海に生きる生物に関する内容」「海の世界に関する内容」を伝えたいと回答している。他に「海の災害や防災に関する内容」「海での観光やレジャーに関する内容」「海から得ることができる資源やエネルギーに関する内容」「海に関する体験学習（臨海学校、磯のフィールド調査、漁業体験等）」の回答率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。
- ・「海事博物館」では、全体の半数以上の施設が「海にまつわる歴史に関する内容」「海と私たちの生活の関連性に関する内容」を伝えたいと回答している。他に「海の災害や防災に関する内容」「海での観光やレジャーに関する内容」「海に関する産業など経済活動に関する内容」の回答率が全体値（全館種の合計値が示す比率）を上回っている。
- ・「水族館」では、全体の9割以上の施設が「海に生きる生物に関する内容」を伝えたいと回答している。また、全体の半数以上の施設が「海の世界に関する内容」「海に関する体験学習（臨海学校、磯のフィールド調査、漁業体験等）」を回答している。
- ・「動物園・植物園」では、全体の半数以上の施設が「海に生きる生物に関する内容」「海の世界に関する内容」を伝えたいと回答している。

### ③回答館のロケーションとの関連性

I ④ロケーション（施設から海までの距離） × I ⑥海洋分野に関する職員の配置状況

< n 値=521 >

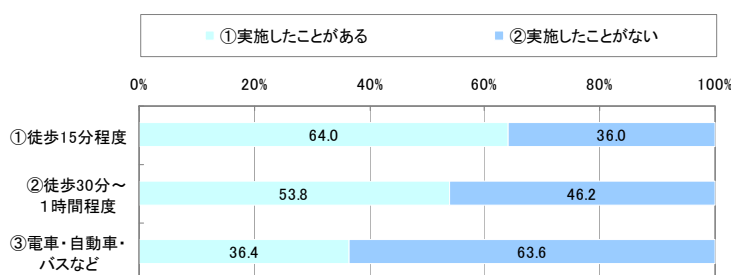
	合計	I ⑥							
		0人	1人	2人	3人	4人	5～9人	10人以上	
合計	521	401	35	34	19	9	11	12	
	100.0	77.0	6.7	6.5	3.6	1.7	2.1	2.3	
I ④	①徒歩15分程度で着くことができる	173	118	15	15	4	4	8	9
		100.0	68.2	8.7	8.7	2.3	2.3	4.6	5.2
	②徒歩30分～1時間程度で着くことができる	104	83	8	7	5	0	1	0
	100.0	79.8	7.7	6.7	4.8	-	1.0	-	
	③電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	244	200	12	12	10	5	2	3
	100.0	82.0	4.9	4.9	4.1	2.0	0.8	1.2	

・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設では「5～9人」「10人以上」の比率が高い。

I ④ロケーション（施設から海までの距離） × II ①「海洋教育」の実施の有無

< n 値=531 >

	合計	II ①	
		①実施したことがある	②実施したことがない
合計	531	261	270
	100.0	49.2	50.8
I ④	①徒歩15分程度で着くことができる	178	64
		100.0	36.0
	②徒歩30分～1時間程度で着くことができる	106	49
	100.0	46.2	
	③電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	247	157
	100.0	63.6	

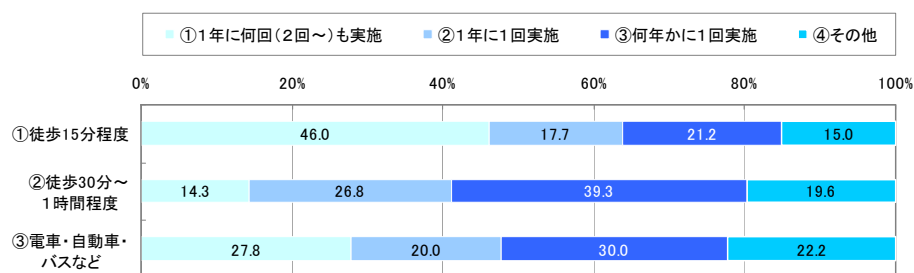


・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」「②徒歩 30 分～1 時間程度で着くことができる」）施設の方が、「海洋教育」の要素を含んだ活動を実施したことがあると回答した率が高い。

I ④ロケーション（施設から海までの距離）×II ④頻度

< n 値=259 >

		合計	II ④			
			①1年に何回 (2回~)も実施	②1年に1回 実施	③何年かに1回 実施	④その他
合計		259	85	53	73	48
		100.0	32.8	20.5	28.2	18.5
I ④	①徒歩15分程度で 着くことができる	113	52	20	24	17
		100.0	46.0	17.7	21.2	15.0
	②徒歩30分~1時間程度で 着くことができる	56	8	15	22	11
		100.0	14.3	26.8	39.3	19.6
	③電車・自動車・バスなど、 徒歩以外の手段でないと 行くことができない	90	25	18	27	20
		100.0	27.8	20.0	30.0	22.2

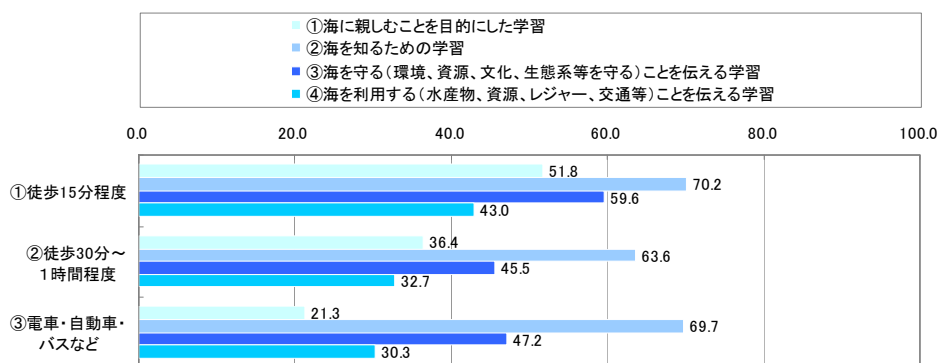


- ・海までの距離が近い（「①徒歩15分程度で着くことができる」）施設では、「海洋教育」の要素を含んだ活動を「1年に何回（2回~）も実施」している率が高い。

I ④ロケーション（施設から海までの距離）×II ⑤目的（複数回答）

< n 値 = 258 >

	合計	II ⑤				
		①海に親しむことを目的にした学習	②海を知るための学習	③海を守る(環境、資源、文化、生態系等を守る)ことを伝える学習	④海を利用する(水産物、資源、レジャー、交通等)ことを伝える学習	
合計	258	98	177	135	94	
	100.0	38.0	68.6	52.3	36.4	
I ④	① 徒歩15分程度で着くことができる	114	59	80	68	49
		100.0	51.8	70.2	59.6	43.0
	② 徒歩30分～1時間程度で着くことができる	55	20	35	25	18
		100.0	36.4	63.6	45.5	32.7
	③ 電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	89	19	62	42	27
		100.0	21.3	69.7	47.2	30.3



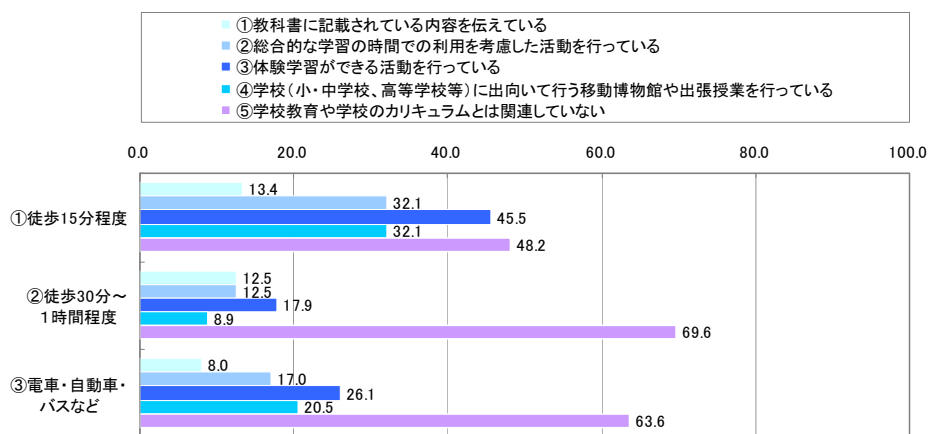
・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設では、それぞれの選択肢の目的に即した取り組みを行っている率が高い（海まで遠い距離にある施設に比べて、実施率が高い）。



I ④ロケーション（施設から海までの距離）× II ⑨学校教育との関連（複数回答）

< n 値=256 >

	合計	II ⑨					
		①教科書に記載されている内容を伝えている	②総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている	③体験学習ができる活動を行っている	④学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている	⑤学校教育や学校のカリキュラムとは関連していない	
合計	256	29	58	84	59	149	
	100.0	11.3	22.7	32.8	23.0	58.2	
I ④	①徒歩15分程度で着くことができる	112	15	36	51	36	54
		100.0	13.4	32.1	45.5	32.1	48.2
	②徒歩30分～1時間程度で着くことができる	56	7	7	10	5	39
		100.0	12.5	12.5	17.9	8.9	69.6
	③電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	88	7	15	23	18	56
		100.0	8.0	17.0	26.1	20.5	63.6

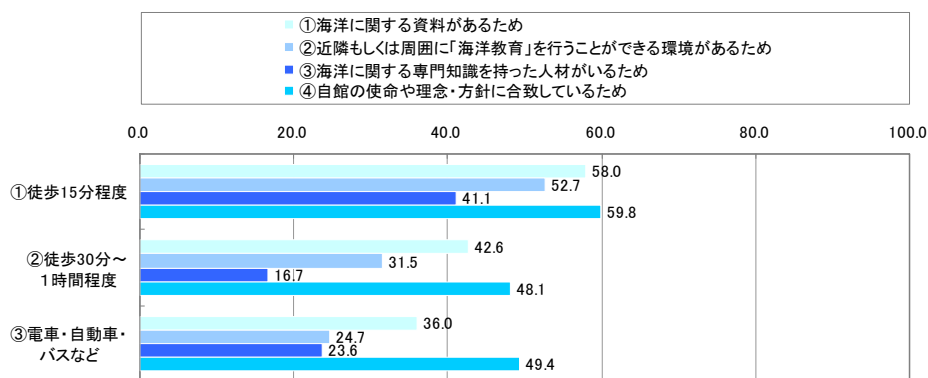


・海までの距離が近い（「①徒歩15分程度で着くことができる」）施設では、学校教育や学校のカリキュラムに関連した海洋教育活動を行っている率が高い（海まで遠い距離にある施設に比べて、実施率が高い）。特に、「体験学習ができる活動を行っている」率は高い。

I ④ロケーション（施設から海までの距離）× II ⑩実施した理由（複数回答）

< n 値 = 255 >

	合計	II ⑩					
		①海洋に関する資料があるため	②近隣もしくは周囲に「海洋教育」を行うことができる環境があるため	③海洋に関する専門知識を持った人材がいるため	④自館の使命や理念・方針に合致しているため	⑤その他	
合計	255	120	98	76	137	41	
	100.0	47.1	38.4	29.8	53.7	16.1	
I ④	①徒歩15分程度で着くことができる	112	65	59	46	67	11
		100.0	58.0	52.7	41.1	59.8	9.8
	②徒歩30分～1時間程度で着くことができる	54	23	17	9	26	9
	100.0	42.6	31.5	16.7	48.1	16.7	
	③電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	89	32	22	21	44	21
	100.0	36.0	24.7	23.6	49.4	23.6	

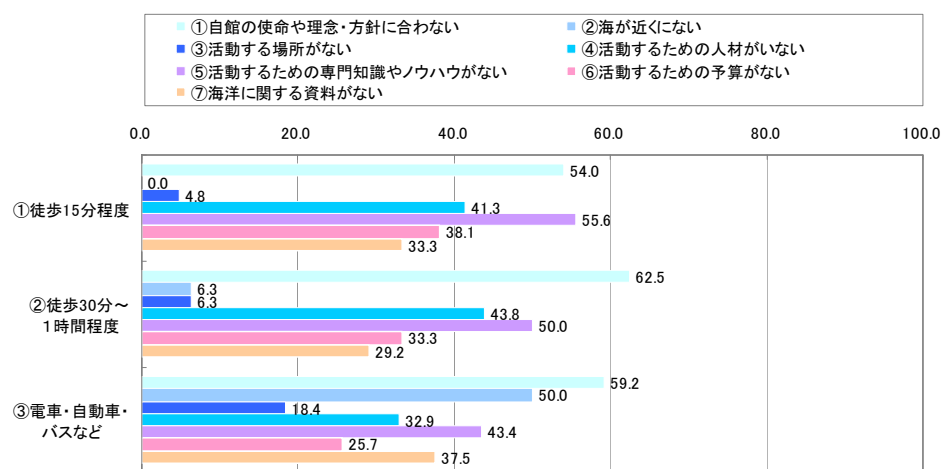


- ・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設の方が、海洋に関する資料を有していたり、海洋に関する専門知識を持った人材がいることがわかる。
- ・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設の約 6 割が「自館の使命や理念・方針に合致しているため」と回答している。

I ④ロケーション（施設から海までの距離）× II ①実施したことがない館の理由（複数回答）

< n 値=263 >

	合計	II ①								
		①自館の使命や理念・方針に合わない	②海が近くにない	③活動する場所がない	④活動するための人材がない	⑤活動するための専門知識やノウハウがない	⑥活動するための予算がない	⑦海洋に関する資料がない	⑧その他	
合計	263	154	79	34	97	125	79	92	20	
	100.0	58.6	30.0	12.9	36.9	47.5	30.0	35.0	7.6	
I ④	①徒歩15分程度で着くことができる	63	34	0	3	26	35	24	21	4
		100.0	54.0	-	4.8	41.3	55.6	38.1	33.3	6.3
	②徒歩30分～1時間程度で着くことができる	48	30	3	3	21	24	16	14	4
		100.0	62.5	6.3	6.3	43.8	50.0	33.3	29.2	8.3
	③電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	152	90	76	28	50	66	39	57	12
		100.0	59.2	50.0	18.4	32.9	43.4	25.7	37.5	7.9

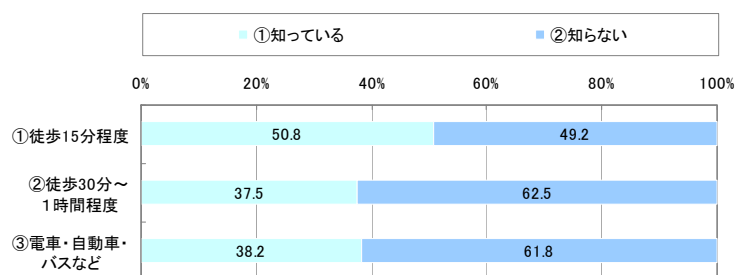


・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設は、海洋教育活動に積極的に取り組んでいるが、それでも「活動するための人材がない」「活動するための専門知識やノウハウがない」「活動するための予算がない」と答えた率が高い。

I ④ロケーション（施設から海までの距離）×Ⅲ①「海洋教育」の認知度

< n 値=522 >

	合計	Ⅲ①		
		①知っている	②知らない	
合計	522	221	301	
	100.0	42.3	57.7	
I ④	①徒歩15分程度で 着くことができる	177	90	87
		100.0	50.8	49.2
	②徒歩30分～1時間程度で 着くことができる	104	39	65
		100.0	37.5	62.5
	③電車・自動車・バスなど、 徒歩以外の手段でないと 行くことができない	241	92	149
		100.0	38.2	61.8

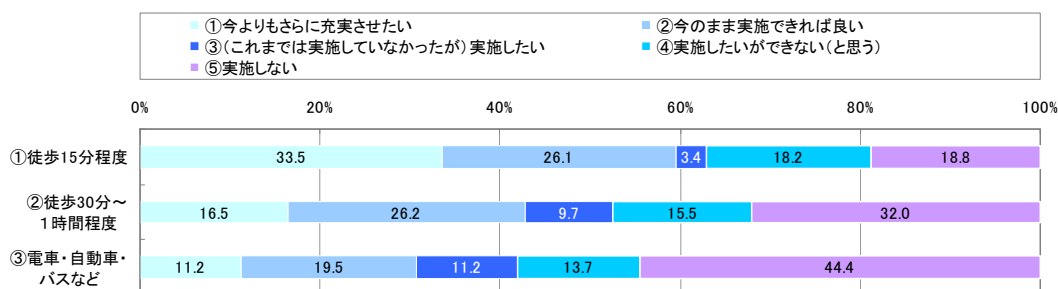


・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設の方が、「海洋教育」という言葉に対する認知度が高い。

I ④ロケーション（施設から海までの距離）×Ⅲ③「海洋教育」に関する各館の意向

< n 値=520 >

	合計	Ⅲ③					
		①今よりもさらに充実させたい	②今のまま実施できれば良い	③(これまでは実施していなかったが)実施したい	④実施したいができない(と思う)	⑤実施しない	
合計	520	103	120	43	81	173	
	100.0	19.8	23.1	8.3	15.6	33.3	
I ④	①徒歩15分程度で着くことができる	176	59	46	6	32	33
		100.0	33.5	26.1	3.4	18.2	18.8
	②徒歩30分～1時間程度で着くことができる	103	17	27	10	16	33
		100.0	16.5	26.2	9.7	15.5	32.0
	③電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	241	27	47	27	33	107
		100.0	11.2	19.5	11.2	13.7	44.4

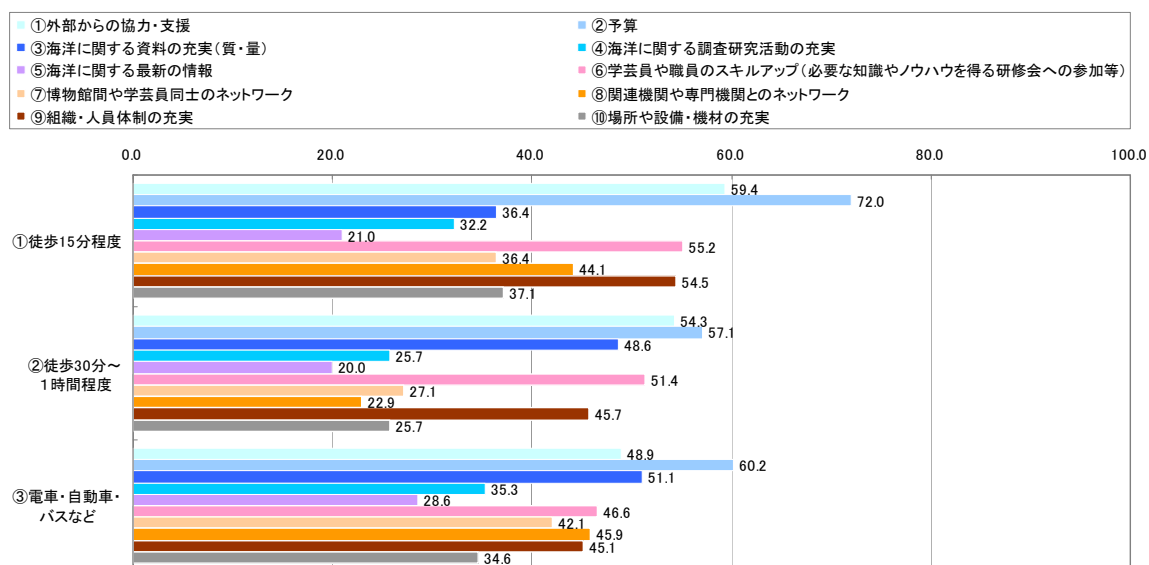


- ・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設では、3分の1の施設が「(海洋教育活動を)今よりもさらに充実させたい」と回答している（他より比率が高い）。
- ・海まで比較的遠い（③「電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない」）施設では、1割以上の施設が「(海洋教育活動を)今よりもさらに充実させたい」「(これまでは実施していなかったが)実施したい」と回答している。
- ・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設であっても、約2割の施設が「(海洋教育活動を)実施したいができない(と思う)」と回答している。

I ④ロケーション（施設から海までの距離）×Ⅲ④海洋教育活動推進に必要な事柄（複数回答）

< n 値=346 >

	合計	Ⅲ④											
		①外部からの協力・支援	②予算	③海洋に関する資料の充実(質・量)	④海洋に関する調査研究活動の充実	⑤海洋に関する最新の情報	⑥学芸員や職員のスキルアップ(必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等)	⑦博物館間や学芸員同士のネットワーク	⑧関連機関や専門機関とのネットワーク	⑨組織・人員体制の充実	⑩場所や設備・機材の充実	⑪その他	
合計	346	188	223	154	111	82	177	127	140	170	117	9	
	100.0	54.3	64.5	44.5	32.1	23.7	51.2	36.7	40.5	49.1	33.8	2.6	
I ④	①徒歩15分程度で着くことができる	143	85	103	52	46	30	79	52	63	78	53	3
		100.0	59.4	72.0	36.4	32.2	21.0	55.2	36.4	44.1	54.5	37.1	2.1
	②徒歩30分～1時間程度で着くことができる	70	38	40	34	18	14	36	19	16	32	18	1
		100.0	54.3	57.1	48.6	25.7	20.0	51.4	27.1	22.9	45.7	25.7	1.4
③電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	133	65	80	68	47	38	62	56	61	60	46	5	
	100.0	48.9	60.2	51.1	35.3	28.6	46.6	42.1	45.9	45.1	34.6	3.8	



- ・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設の回答のうち、他より比率が高いのは、「外部からの協力・支援」「予算」「学芸員や職員のスキルアップ（必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等）」「組織・人員体制の充実」「場所や設備・機材の充実」である。
- ・一方、海まで比較的遠い（③「電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない」）施設の回答のうち、他より比率が高いのは、「海洋に関する資料の充実(質・量)」「海洋に関する調査研究活動の充実」「海洋に関する最新の情報」「博物館間や学芸員同士のネットワーク」「関連機関や専門機関とのネットワーク」である。

I ④ロケーション（施設から海までの距離）×Ⅲ⑤協力者の必要性＜種別＞（複数回答）

< n 値=183 >

	合計	Ⅲ⑤												
		①(自館以外の)博物館	②(自館以外の)学芸員	③博物館関連団体や博物館に関するネットワーク	④大学や研究機関	⑤(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)	⑥漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体	⑦財団法人等の公益機関	⑧民間企業	⑨市民団体やNPO	⑩海洋に関する専門職業に就いている(従事していた)人	⑪市民サポーター	⑫その他	
合計	183	105	92	69	105	48	86	48	29	61	87	41	9	
	100.0	57.4	50.3	37.7	57.4	26.2	47.0	26.2	15.8	33.3	47.5	22.4	4.9	
I ④	①徒歩15分程度で着くことができる	83	42	39	33	46	28	43	21	15	22	43	20	2
		100.0	50.6	47.0	39.8	55.4	33.7	51.8	25.3	18.1	26.5	51.8	24.1	2.4
	②徒歩30分～1時間程度で着くことができる	37	22	19	12	22	6	15	9	4	15	16	7	1
		100.0	59.5	51.4	32.4	59.5	16.2	40.5	24.3	10.8	40.5	43.2	18.9	2.7
	③電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	63	41	34	24	37	14	28	18	10	24	28	14	6
		100.0	65.1	54.0	38.1	58.7	22.2	44.4	28.6	15.9	38.1	44.4	22.2	9.5

・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設の回答のうち、他より比率が高いのは、「博物館関連団体や博物館に関するネットワーク」「(大学以外の)教育機関（小・中学校、高等学校等）」「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」「民間企業」「海洋に関する専門職業に従事している（従事していた）人」「市民サポーター」である。

I ④ロケーション（施設から海までの距離）×Ⅲ⑥求められる協力・支援内容（複数回答）

< n 値=185 >

	合計	Ⅲ⑥							
		①専門知識・情報の提供	②海洋教育活動の事例紹介	③関連資料や教材の提供	④専門家の派遣	⑤活動実施に係る資金面の助成	⑥研究会や研修会の実施	⑦その他	
合計	185	150	77	114	90	95	51	10	
	100.0	81.1	41.6	61.6	48.6	51.4	27.6	5.4	
I ④	①徒歩15分程度で着くことができる	83	67	41	47	32	44	21	2
		100.0	80.7	49.4	56.6	38.6	53.0	25.3	2.4
	②徒歩30分～1時間程度で着くことができる	38	32	13	21	18	19	7	3
		100.0	84.2	34.2	55.3	47.4	50.0	18.4	7.9
	③電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	64	51	23	46	40	32	23	5
		100.0	79.7	35.9	71.9	62.5	50.0	35.9	7.8

・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設の回答のうち、他より比率が高いのは、「海洋教育活動の事例紹介」「活動実施に係る資金面の助成」である。

・一方、海まで比較的遠い（③「電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない」）施設の回答のうち、他より比率が高いのは、「関連資料や教材の提供」「専門家の派遣」「研究会や研修会の実施」である。

I④ロケーション（施設から海までの距離）×Ⅲ⑦博物館における「海洋教育」の内容（複数回答）

< n 値=517 >

	合計	Ⅲ⑦													
		①海に関連した文化や芸術に関する内容	②海にまつわる歴史に関する内容	③海や地球の仕組みに関する内容	④海に生きる生物に関する内容	⑤海の環境に関する内容	⑥海と私たちの生活の関連性に関する内容	⑦海の災害や防災に関する内容	⑧海での観光やレジャーに関する内容	⑨海から得ることができる資源やエネルギーに関する内容	⑩海に関する産業など経済活動に関する内容	⑪海に関する体験学習（臨海学校、磯のフィールド調査、漁業体験等）	⑫その他	⑬特になし	
合計	517	201	258	67	150	144	133	59	9	15	58	96	18	50	
	100.0	38.9	49.9	13.0	29.0	27.9	25.7	11.4	1.7	2.9	11.2	18.6	3.5	9.7	
I④	① 徒歩15分程度で着くことができる	175	62	82	19	56	65	58	20	4	6	25	52	3	10
		100.0	35.4	46.9	10.9	32.0	37.1	33.1	11.4	2.3	3.4	14.3	29.7	1.7	5.7
	② 徒歩30分～1時間程度で着くことができる	104	43	58	7	29	22	18	14	2	2	16	18	7	9
		100.0	41.3	55.8	6.7	27.9	21.2	17.3	13.5	1.9	1.9	15.4	17.3	6.7	8.7
③ 電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない	238	96	118	41	65	57	57	25	3	7	17	26	8	31	
	100.0	40.3	49.6	17.2	27.3	23.9	23.9	10.5	1.3	2.9	7.1	10.9	3.4	13.0	

- ・海までの距離が近い（「①徒歩 15 分程度で着くことができる」）施設の回答のうち、他より比率が高いのは、「海に生きる生物に関する内容」「海の環境に関する内容」「海と私たちの生活の関連性に関する内容」「海での観光やレジャーに関する内容」「海から得ることができる資源やエネルギーに関する内容」「海に関する体験学習（臨海学校、磯のフィールド調査、漁業体験等）」である。
- ・一方、海まで比較的遠い（③「電車・自動車・バスなど、徒歩以外の手段でないと行くことができない」）施設の回答のうち、他より比率が高いのは、「海や地球の仕組みに関する内容」である。



#### ④「海洋教育」の活動内容との関連性

Ⅱ②活動内容（複数回答）×Ⅱ⑦協力者の概要＜種別＞（複数回答）

<n値=199>

	合計	Ⅱ⑦											
		①(自館以外の)博物館	②(自館以外の)学芸員	③博物館関連団体や博物館に関するネットワーク	④大学や研究機関	⑤(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)	⑥漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体	⑦財団法人等の公益機関	⑧民間企業	⑨市民団体やNPO	⑩海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人	⑪市民サポーター	⑫その他
合計	199	90	73	50	97	47	59	37	25	69	56	50	20
	100.0	45.2	36.7	25.1	48.7	23.6	29.6	18.6	12.6	34.7	28.1	25.1	10.1
①常設展	87	48	39	27	53	29	39	24	17	38	35	24	8
	100.0	55.2	44.8	31.0	60.9	33.3	44.8	27.6	19.5	43.7	40.2	27.6	9.2
②企画展(特別展)	153	80	63	47	86	39	51	36	22	55	43	40	14
	100.0	52.3	41.2	30.7	56.2	25.5	33.3	23.5	14.4	35.9	28.1	26.1	9.2
③教育普及事業	144	67	53	39	80	42	48	29	21	55	52	42	12
	100.0	46.5	36.8	27.1	55.6	29.2	33.3	20.1	14.6	38.2	36.1	29.2	8.3
④調査研究事業	65	40	33	25	47	28	31	19	13	33	26	23	6
	100.0	61.5	50.8	38.5	72.3	43.1	47.7	29.2	20.0	50.8	40.0	35.4	9.2
⑤その他	12	10	6	8	8	8	9	8	4	9	7	6	1
	100.0	83.3	50.0	66.7	66.7	66.7	75.0	66.7	33.3	75.0	58.3	50.0	8.3

- ・常設展を介して海洋教育活動を実施している施設では、半数以上の施設が「(自館以外の)博物館」「大学や研究機関」と回答している。また、4割以上の施設が「(自館以外の)学芸員」「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」「市民団体やNPO」「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」と回答している。
- ・企画展(特別展)を介して海洋教育活動を実施している施設では、半数以上の施設が「(自館以外の)博物館」「大学や研究機関」と回答している。また、4割以上の施設が「(自館以外の)学芸員」と回答している。
- ・教育普及事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、半数以上の施設が「大学や研究機関」と回答している。また、4割以上の施設が「(自館以外の)博物館」と回答している。
- ・調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」以外の選択肢(協力者)全てにおいて、(活動内容①～④の施設の中で)最も高い比率を示している。
- ・なお、「博物館関連団体や博物館に関するネットワーク」は、常設展、企画展(特別展)、調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設で、「(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)」「市民団体やNPO」は、常設展、教育普及事業、調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設で、「財団法人等の公益機関」「民間企業」は、常設展、調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設で高い回答率を示している。

Ⅱ②活動内容（複数回答）×Ⅱ⑧協力内容（複数回答）

< n 値 = 199 >

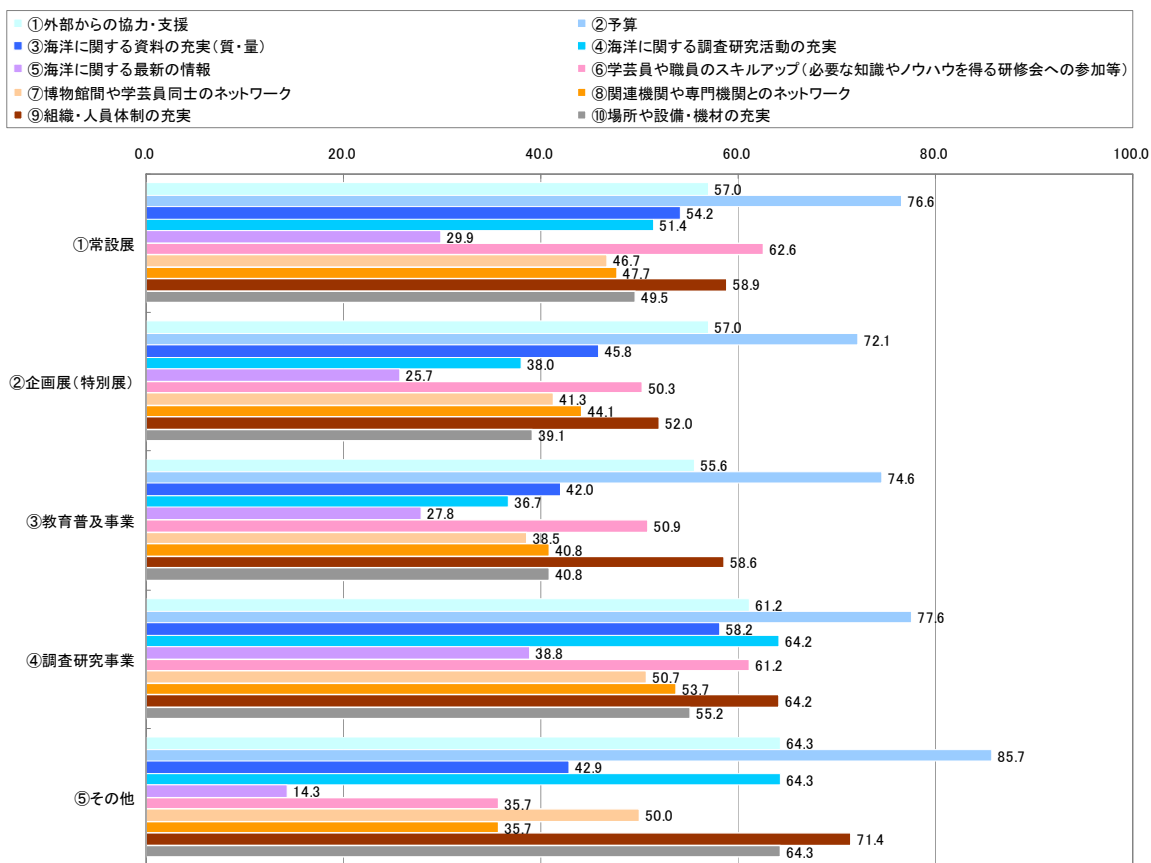
	合計	Ⅱ⑧									
		①教材の提供	②講師の派遣	③施設見学と解説の対応	④授業やプログラムの共同開発	⑤体験学習用の施設の利用	⑥体験学習に必要な機材の提供	⑦「海洋教育」の要素を含んだ活動に関する情報発信	⑧活動を実施する際の人的サポート	⑨その他	
合計	199	70	110	42	28	26	52	35	92	37	
	100.0	35.2	55.3	21.1	14.1	13.1	26.1	17.6	46.2	18.6	
Ⅱ②	①常設展	87	34	52	19	14	19	31	19	46	16
		100.0	39.1	59.8	21.8	16.1	21.8	35.6	21.8	52.9	18.4
	②企画展（特別展）	153	59	87	35	22	22	43	27	74	35
		100.0	38.6	56.9	22.9	14.4	14.4	28.1	17.6	48.4	22.9
	③教育普及事業	144	47	96	31	26	26	46	30	79	20
		100.0	32.6	66.7	21.5	18.1	18.1	31.9	20.8	54.9	13.9
	④調査研究事業	65	24	44	20	14	16	24	11	40	10
		100.0	36.9	67.7	30.8	21.5	24.6	36.9	16.9	61.5	15.4
	⑤その他	12	2	7	6	3	4	1	3	8	4
		100.0	16.7	58.3	50.0	25.0	33.3	8.3	25.0	66.7	33.3

- ・常設展を介して海洋教育活動を実施している施設では、半数以上の施設が「講師の派遣」「活動を実施する際の人的サポート」と回答している。また、4割近くの施設が「教材の提供」と回答している。
- ・企画展（特別展）を介して海洋教育活動を実施している施設では、半数以上の施設が「講師の派遣」と回答している。また、半数近くの施設が「活動を実施する際の人的サポート」と回答している。
- ・教育普及事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、6割以上の施設が「講師の派遣」と回答している。また、半数以上の施設が「活動を実施する際の人的サポート」と回答している。
- ・調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、「教材の提供」「海洋教育」の要素を含んだ活動に関する情報発信以外の選択肢（協力内容）全てにおいて、（活動内容①～④の施設の中で）最も高い比率を示している。
- ・なお、「施設見学と解説の対応」は（活動内容①～④の施設）全てにおいて全体の2割以上の施設が、「体験学習に必要な機材の提供」は（活動内容①～④の施設）全てにおいて全体の4分の1以上の施設が回答している。また、「授業やプログラムの共同開発」は、教育普及事業、調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設で、「体験学習用の施設の利用」は、常設展、調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設で、「海洋教育」の要素を含んだ活動に関する情報発信は、常設展、教育普及事業を介して海洋教育活動を実施している施設で高い回答率を示している。

Ⅱ②活動内容（複数回答）×Ⅲ④海洋教育活動推進に必要な事柄（複数回答）

< n 値 = 247 >

	合計	Ⅲ④											
		①外部からの協力・支援	②予算	③海洋に関する資料の充実（質・量）	④海洋に関する調査研究活動の充実	⑤海洋に関する最新の情報	⑥学芸員や職員のスキルアップ（必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等）	⑦博物館間や学芸員同士のネットワーク	⑧関連機関や専門機関とのネットワーク	⑨組織・人員体制の充実	⑩場所や設備・機材の充実	⑪その他	
合計	247	135	174	107	85	62	121	92	98	129	90	5	
	100.0	54.7	70.4	43.3	34.4	25.1	49.0	37.2	39.7	52.2	36.4	2.0	
Ⅱ②	①常設展	107	61	82	58	55	32	67	50	51	63	53	2
		100.0	57.0	76.6	54.2	51.4	29.9	62.6	46.7	47.7	58.9	49.5	1.9
	②企画展（特別展）	179	102	129	82	68	46	90	74	79	93	70	3
		100.0	57.0	72.1	45.8	38.0	25.7	50.3	41.3	44.1	52.0	39.1	1.7
	③教育普及事業	169	94	126	71	62	47	86	65	69	99	69	3
		100.0	55.6	74.6	42.0	36.7	27.8	50.9	38.5	40.8	58.6	40.8	1.8
	④調査研究事業	67	41	52	39	43	26	41	34	36	43	37	1
		100.0	61.2	77.6	58.2	64.2	38.8	61.2	50.7	53.7	64.2	55.2	1.5
	⑤その他	14	9	12	6	9	2	5	7	5	10	9	2
		100.0	64.3	85.7	42.9	64.3	14.3	35.7	50.0	35.7	71.4	64.3	14.3



- ・常設展を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の4分の3以上の施設が「予算」と回答している。また、6割以上の施設が「学芸員や職員のスキルアップ（必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等）」と回答している。「海洋に関する最新の情報」以外の選択肢（必要事項）は全て、半数以上もしくは半数近くの施設が回答している。
- ・企画展（特別展）を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の7割以上の施設が「予算」と回答している。また、半数以上もしくは半数近くの施設が「外部からの協力・支援」「海洋に関する資料の充実（質・量）」「学芸員や職員のスキルアップ（必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等）」「組織・人員体制の充実」と回答している。

- ・教育普及事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の約4分の3の施設が「予算」と回答している。また、半数以上の施設が「外部からの協力・支援」「学芸員や職員のスキルアップ（必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等）」「組織・人員体制の充実」と回答している。
- ・調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、「学芸員や職員のスキルアップ（必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等）」以外の選択肢（必要事項）全てにおいて、（活動内容①～④の施設の中で）最も高い比率を示している。
- ・なお、「関連機関や専門機関とのネットワーク」「場所や設備・機材の充実」は（活動内容①～④の施設）全てにおいて全体の4割以上もしくは4割近くの施設が回答している。「海洋に関する調査研究活動の充実」「博物館間や学芸員同士のネットワーク」は（活動内容①～④の施設）全てにおいて全体の3分の1以上の施設が回答している。「海洋に関する最新の情報」も（活動内容①～④の施設）全てにおいて全体の4分の1以上の施設が回答している。

Ⅱ②活動内容（複数回答）×Ⅲ⑤協力者の必要性<種別>（複数回答）

<n値=132>

	合計	Ⅲ⑤												
		①(自館以外の)博物館	②(自館以外の)学芸員	③博物館関連団体や博物館に関するネットワーク	④大学や研究機関	⑤(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)	⑥漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体	⑦財団法人等の公益機関	⑧民間企業	⑨市民団体やNPO	⑩海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人	⑪市民サポーター	⑫その他	
合計	132	72	60	57	78	42	68	40	25	48	65	36	5	
	100.0	54.5	45.5	43.2	59.1	31.8	51.5	30.3	18.9	36.4	49.2	27.3	3.8	
Ⅱ②	①常設展	60	32	28	28	41	23	38	24	17	25	33	21	2
		100.0	53.3	46.7	46.7	68.3	38.3	63.3	40.0	28.3	41.7	55.0	35.0	3.3
	②企画展(特別展)	100	55	45	46	62	29	52	36	20	36	51	30	3
		100.0	55.0	45.0	46.0	62.0	29.0	52.0	36.0	20.0	36.0	51.0	30.0	3.0
	③教育普及事業	91	45	38	39	55	36	49	30	19	35	48	29	5
		100.0	49.5	41.8	42.9	60.4	39.6	53.8	33.0	20.9	38.5	52.7	31.9	5.5
	④調査研究事業	40	20	17	18	29	20	29	14	12	16	22	17	2
		100.0	50.0	42.5	45.0	72.5	50.0	72.5	35.0	30.0	40.0	55.0	42.5	5.0
	⑤その他	9	5	3	4	6	5	8	3	3	5	7	5	1
		100.0	55.6	33.3	44.4	66.7	55.6	88.9	33.3	33.3	55.6	77.8	55.6	11.1

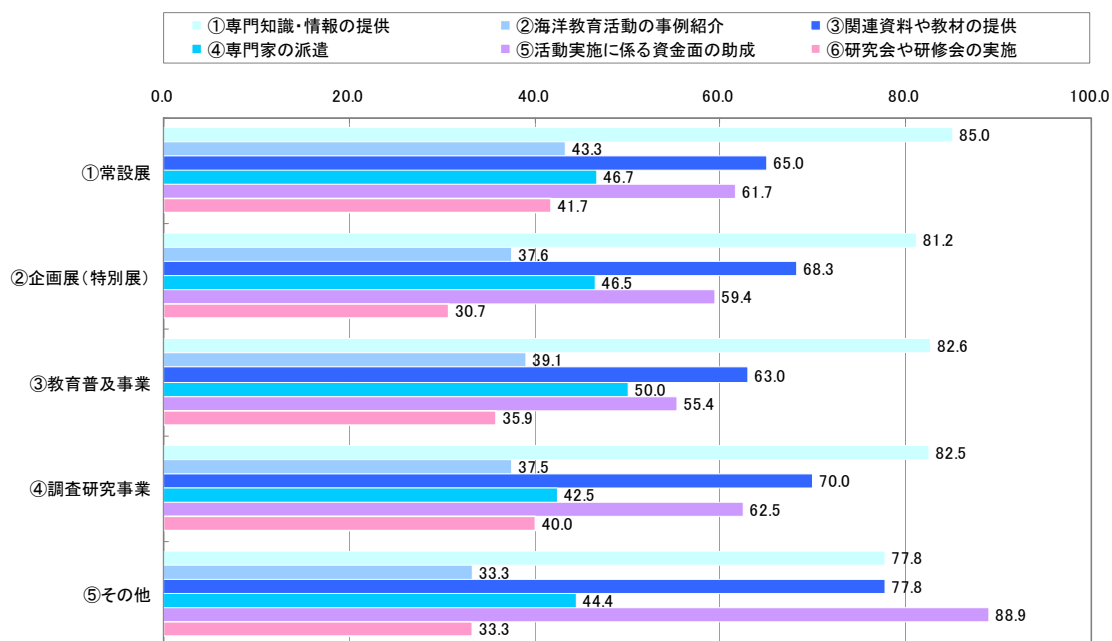
- ・常設展を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の6割以上の施設が「大学や研究機関」「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」と回答している。また、半数以上もしくは半数近くの施設が「(自館以外の)博物館」「(自館以外の)学芸員」「博物館関連団体や博物館に関するネットワーク」「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」と回答している。
- ・企画展(特別展)を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の6割以上の施設が「大学や研究機関」と回答している。また、半数以上もしくは半数近くの施設が「(自館以外の)博物館」「博物館関連団体や博物館に関するネットワーク」「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」と回答している。
- ・教育普及事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の6割以上の施設が「大学や研究機関」と回答している。また、半数以上もしくは半数近くの施設が「(自館以外の)博物館」「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」と回答している。

- ・調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の7割以上の施設が「大学や研究機関」「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」と回答している。また、半数以上の施設が「(自館以外の)博物館」「(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)」「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」と回答している。
- ・なお、「財団法人等の公益機関」「市民団体やNPO」は(活動内容①～④の施設)全てにおいて全体の3分の1以上の施設が回答している。「市民サポーター」は(活動内容①～④の施設)全てにおいて全体の3割以上の施設が回答している。「民間企業」も(活動内容①～④の施設)全てにおいて全体の5分の1以上の施設が回答している。

Ⅱ②活動内容(複数回答) × Ⅲ⑥求められる協力・支援内容(複数回答)

<n値=133>

	合計	Ⅲ⑥							
		①専門知識・情報の提供	②海洋教育活動の事例紹介	③関連資料や教材の提供	④専門家の派遣	⑤活動実施に係る資金面の助成	⑥研究会や研修会の実施	⑦その他	
合計	133	107	52	88	63	72	40	8	
	100.0	80.5	39.1	66.2	47.4	54.1	30.1	6.0	
Ⅱ②	①常設展	60	51	26	39	28	37	25	4
		100.0	85.0	43.3	65.0	46.7	61.7	41.7	6.7
	②企画展(特別展)	101	82	38	69	47	60	31	5
		100.0	81.2	37.6	68.3	46.5	59.4	30.7	5.0
	③教育普及事業	92	76	36	58	46	51	33	6
		100.0	82.6	39.1	63.0	50.0	55.4	35.9	6.5
	④調査研究事業	40	33	15	28	17	25	16	2
		100.0	82.5	37.5	70.0	42.5	62.5	40.0	5.0
	⑤その他	9	7	3	7	4	8	3	0
		100.0	77.8	33.3	77.8	44.4	88.9	33.3	-



- ・常設展を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の8割以上の施設が「専門知識・情報の提供」と回答している。また、6割以上の施設が「関連資料や教材の提供」「活動実施に係る資金面の助成」と回答している。

- ・企画展（特別展）を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の8割以上の施設が「専門知識・情報の提供」と回答している。また、6割以上もしくは6割近くの施設が「関連資料や教材の提供」「活動実施に係る資金面の助成」と回答している。
- ・教育普及事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の8割以上の施設が「専門知識・情報の提供」と回答している。また、6割以上の施設が「関連資料や教材の提供」、半数以上の施設が「専門家の派遣」「活動実施に係る資金面の助成」と回答している。
- ・調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の8割以上の施設が「専門知識・情報の提供」と回答している。また、7割以上の施設が「関連資料や教材の提供」、6割以上の施設が「活動実施に係る資金面の助成」と回答している。
- ・なお、「海洋教育活動の事例紹介」は（活動内容①～④の施設）全てにおいて全体の3分の1以上の施設が回答している。「研究会や研修会の実施」は（活動内容①～④の施設）全てにおいて全体の3割以上の施設が回答している。

Ⅱ②活動内容（複数回答）×Ⅲ⑦博物館における「海洋教育」の内容（複数回答）

<n値=257>

	合計	Ⅲ⑦													
		①海に関連した文化や芸術に関する内容	②海にまつわる歴史に関する内容	③海や地球の仕組みに関する内容	④海に生きる生物に関する内容	⑤海の環境に関する内容	⑥海と私たちの生活の関連性に関する内容	⑦海の災害や防災に関する内容	⑧海での観光やレジャーに関する内容	⑨海から得ることができる資源やエネルギーに関する内容	⑩海に関する産業など経済活動に関する内容	⑪海に関する体験学習（臨海学校、磯のフィールド調査、漁業体験等）	⑫その他	⑬特になし	
合計	257	80	118	42	115	102	80	31	4	9	35	66	12	5	
	100.0	31.1	45.9	16.3	44.7	39.7	31.1	12.1	1.6	3.5	13.6	25.7	4.7	1.9	
Ⅱ②	①常設展	106	34	47	14	55	47	35	10	2	3	19	27	5	0
		100.0	32.1	44.3	13.2	51.9	44.3	33.0	9.4	1.9	2.8	17.9	25.5	4.7	-
	②企画展（特別展）	186	59	89	32	83	72	62	24	2	8	24	43	10	4
		100.0	31.7	47.8	17.2	44.6	38.7	33.3	12.9	1.1	4.3	12.9	23.1	5.4	2.2
	③教育普及事業	172	40	64	29	95	75	56	19	2	6	24	60	6	3
		100.0	23.3	37.2	16.9	55.2	43.6	32.6	11.0	1.2	3.5	14.0	34.9	3.5	1.7
	④調査研究事業	65	15	24	15	40	34	23	5	0	1	9	23	3	0
		100.0	23.1	36.9	23.1	61.5	52.3	35.4	7.7	-	1.5	13.8	35.4	4.6	-
	⑤その他	14	1	3	3	7	8	5	1	0	1	5	7	2	0
		100.0	7.1	21.4	21.4	50.0	57.1	35.7	7.1	-	7.1	35.7	50.0	14.3	-

- ・常設展を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の半数以上の施設が「海に生きる生物に関する内容」と回答している。また、4割以上の施設が「海にまつわる歴史に関する内容」「海の環境に関する内容」、3割以上の施設が「海に関連した文化や芸術に関する内容」「海と私たちの生活の関連性に関する内容」と回答している。
- ・企画展（特別展）を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の4割以上の施設が「海にまつわる歴史に関する内容」「海に生きる生物に関する内容」と回答している。また、3割以上の施設が「海に関連した文化や芸術に関する内容」「海の環境に関する内容」「海と私たちの生活の関連性に関する内容」と回答している。
- ・教育普及事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の半数以上の施設が「海に生きる生物に関する内容」と回答している。また、4割以上の施設が「海の環境に関する内容」、3割以上の施設が「海にまつわる歴史に関する内容」「海と私たちの生活の関連性に関する内容」「海に関する体験学習（臨海学校、磯のフィールド調査、漁業体験等）」と回答している。

- ・ 調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設では、全体の6割以上の施設が「海に生きる生物に関する内容」と回答している。また、半数以上の施設が「海の環境に関する内容」、3割以上の施設が「海にまつわる歴史に関する内容」「海と私たちの生活の関連性に関する内容」「海に関する体験学習（臨海学校、磯のフィールド調査、漁業体験等）」と回答している。
- ・ なお、「海や地球の仕組みに関する内容」は、企画展（特別展）、教育普及事業、調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設で、「海の災害や防災に関する内容」「海から得ることができる資源やエネルギーに関する内容」は、企画展（特別展）を介して海洋教育活動を実施している施設で、「海での観光やレジャーに関する内容」は、常設展を介して海洋教育活動を実施している施設で、「海に関する産業など経済活動に関する内容」は、常設展、教育普及事業、調査研究事業を介して海洋教育活動を実施している施設で高い回答率を示している。

⑤ 「協力者」「協力内容」との関連性

Ⅱ⑦協力者<種別> (複数回答) × Ⅱ⑧協力内容 (複数回答)

< n 値=199 >

	合計	Ⅱ⑧								
		①教材の提供	②講師の派遣	③施設見学と解説の対応	④授業やプログラムの共同開発	⑤体験学習用の施設の利用	⑥体験学習に必要な機材の提供	⑦「海洋教育」の要素を含んだ活動に関する情報発信	⑧活動を実施する際の人的サポート	⑨その他
合計	199	70	110	42	28	26	52	35	92	37
	100.0	35.2	55.3	21.1	14.1	13.1	26.1	17.6	46.2	18.6
①(自館以外の)博物館	90	44	59	25	19	17	29	18	48	18
	100.0	48.9	65.6	27.8	21.1	18.9	32.2	20.0	53.3	20.0
②(自館以外の)学芸員	73	39	53	23	15	14	22	19	41	14
	100.0	53.4	72.6	31.5	20.5	19.2	30.1	26.0	56.2	19.2
③博物館関連団体や博物館に関するネットワーク	50	26	35	20	15	14	23	16	31	11
	100.0	52.0	70.0	40.0	30.0	28.0	46.0	32.0	62.0	22.0
④大学や研究機関	97	41	74	25	23	21	32	23	57	16
	100.0	42.3	76.3	25.8	23.7	21.6	33.0	23.7	58.8	16.5
⑤(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)	47	20	34	18	16	17	25	13	31	4
	100.0	42.6	72.3	38.3	34.0	36.2	53.2	27.7	66.0	8.5
⑥漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体	59	27	39	19	15	15	19	16	33	11
	100.0	45.8	66.1	32.2	25.4	25.4	32.2	27.1	55.9	18.6
⑦財団法人等の公益機関	37	15	25	11	6	7	14	9	21	10
	100.0	40.5	67.6	29.7	16.2	18.9	37.8	24.3	56.8	27.0
⑧民間企業	25	12	18	9	8	8	12	7	15	5
	100.0	48.0	72.0	36.0	32.0	32.0	48.0	28.0	60.0	20.0
⑨市民団体やNPO	69	25	48	20	17	15	24	18	40	11
	100.0	36.2	69.6	29.0	24.6	21.7	34.8	26.1	58.0	15.9
⑩海洋に関する専門職業に就いている(従事していた)人	56	24	41	16	12	16	22	17	30	9
	100.0	42.9	73.2	28.6	21.4	28.6	39.3	30.4	53.6	16.1
⑪市民サポーター	50	17	28	18	11	13	18	15	41	5
	100.0	34.0	56.0	36.0	22.0	26.0	36.0	30.0	82.0	10.0
⑫その他	20	8	9	5	2	1	2	2	6	5
	100.0	40.0	45.0	25.0	10.0	5.0	10.0	10.0	30.0	25.0

- ・(自館以外の) 博物館から協力を得ていると回答した施設では、全体の6割以上の施設が「講師の派遣」と回答している。また、半数以上もしくは半数近くの施設が「教材の提供」「活動を実施する際の人的サポート」と回答している。
- ・(自館以外の) 学芸員から協力を得ていると回答した施設では、全体の7割以上の施設が「講師の派遣」と回答している。また、半数以上の施設が「教材の提供」「活動を実施する際の人的サポート」と回答している。
- ・博物館関連団体や博物館に関するネットワークから協力を得ていると回答した施設では、全体の7割以上の施設が「講師の派遣」と回答している。また、6割以上の施設が「活動を実施する際の人的サポート」、半数以上の施設が「教材の提供」、4割以上の施設が「施設見学と解説の対応」「体験学習に必要な機材の提供」と回答している。
- ・大学や研究機関から協力を得ていると回答した施設では、全体の4分の3以上の施設が「講師の派遣」と回答している。また、半数以上の施設が「活動を実施する際の人的サポート」、4割以上の施設が「教材の提供」と回答している。
- ・(大学以外の) 教育機関(小・中学校、高等学校等) から協力を得ていると回答した施設では、全体の7割以上の施設が「講師の派遣」と回答している。また、6割以上の施設が「活動を実施する際の人的サポート」、半数以上の施設が「体験学習に必要な機材の提供」、4割以上の施設が「教材の提供」と回答している。
- ・漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体から協力を得ていると回答した施設では、全体の6割以上の施設が「講師の派遣」と回答している。また、半数以上の施設が「活動を実施する際の人的サポート」、4割以上の施設が「教材の提供」と回答している。



- ・財団法人等の公益機関から協力を得ていると回答した施設では、全体の6割以上の施設が「講師の派遣」と回答している。また、半数以上の施設が「活動を実施する際の人的サポート」、4割以上の施設が「教材の提供」と回答している。
- ・民間企業から協力を得ていると回答した施設では、全体の7割以上の施設が「講師の派遣」と回答している。また、6割以上の施設が「活動を実施する際の人的サポート」、半数近くの施設が「教材の提供」「体験学習に必要な機材の提供」と回答している。
- ・市民団体やNPOから協力を得ていると回答した施設では、全体の7割近くの施設が「講師の派遣」と回答している。また、6割近くの施設が「活動を実施する際の人的サポート」と回答している。
- ・海洋に関する専門職業に従事している（従事していた）人から協力を得ていると回答した施設では、全体の7割以上の施設が「講師の派遣」と回答している。また、半数以上の施設が「活動を実施する際の人的サポート」、4割以上の施設が「教材の提供」と回答している。
- ・市民サポーターから協力を得ていると回答した施設では、全体の8割以上の施設が「活動を実施する際の人的サポート」と回答している。また、半数以上の施設が「講師の派遣」と回答している。
- ・なお、「授業やプログラムの共同開発」は、博物館関連団体や博物館に関するネットワーク、（大学以外の）教育機関（小・中学校、高等学校等）、民間企業から協力を得ていると回答した施設で、「体験学習用の施設の利用」は、（大学以外の）教育機関（小・中学校、高等学校等）、民間企業から協力を得ていると回答した施設で、「海洋教育」の要素を含んだ活動に関する情報発信」は、博物館関連団体や博物館に関するネットワーク、海洋に関する専門職業に従事している（従事していた）人、市民サポーターから協力を得ていると回答した施設で高い回答率を示している。

Ⅱ⑦協力者<種別> (複数回答) × Ⅱ⑨学校教育との関連 (複数回答)

< n 値 = 197 >

	合計	Ⅱ⑨					
		①教科書に記載されている内容を伝えている	②総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている	③体験学習ができる活動を行っている	④学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている	⑤学校教育や学校のカリキュラムとは関連していない	
合計	197	24	50	76	53	111	
	100.0	12.2	25.4	38.6	26.9	56.3	
Ⅱ⑦	①(自館以外の)博物館	88	11	26	38	29	50
		100.0	12.5	29.5	43.2	33.0	56.8
	②(自館以外の)学芸員	72	9	25	34	26	39
		100.0	12.5	34.7	47.2	36.1	54.2
	③博物館関連団体や博物館に関するネットワーク	49	7	15	19	17	27
		100.0	14.3	30.6	38.8	34.7	55.1
	④大学や研究機関	96	11	33	48	36	50
		100.0	11.5	34.4	50.0	37.5	52.1
	⑤(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)	47	12	21	33	22	18
		100.0	25.5	44.7	70.2	46.8	38.3
	⑥漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体	59	14	28	39	30	22
		100.0	23.7	47.5	66.1	50.8	37.3
	⑦財団法人等の公益機関	37	5	15	19	13	17
		100.0	13.5	40.5	51.4	35.1	45.9
	⑧民間企業	25	7	10	16	12	7
		100.0	28.0	40.0	64.0	48.0	28.0
	⑨市民団体やNPO	69	12	26	37	27	34
		100.0	17.4	37.7	53.6	39.1	49.3
	⑩海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人	56	10	17	28	14	27
		100.0	17.9	30.4	50.0	25.0	48.2
⑪市民サポーター	50	7	20	28	18	21	
	100.0	14.0	40.0	56.0	36.0	42.0	
⑫その他	20	4	3	3	2	14	
	100.0	20.0	15.0	15.0	10.0	70.0	

- ・(自館以外の) 博物館から協力を得ていると回答した施設では、全体の4割以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、3分の1以上の施設が「学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。
- ・(自館以外の) 学芸員から協力を得ていると回答した施設では、全体の4割以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、3分の1以上の施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」「学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。
- ・博物館関連団体や博物館に関するネットワークから協力を得ていると回答した施設では、全体の3分の1以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」「学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。
- ・大学や研究機関から協力を得ていると回答した施設では、全体の半数の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、3分の1以上の施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」「学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。

- ・(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)から協力を得ていると回答した施設では、全体の7割以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、4割以上の施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」「学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。
- ・漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体から協力を得ていると回答した施設では、全体の6割以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、半数以上の施設が「学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」、4割以上の施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」と回答している。
- ・財団法人等の公益機関から協力を得ていると回答した施設では、全体の半数以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、4割以上の施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」、3分の1以上の施設が「学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。
- ・民間企業から協力を得ていると回答した施設では、全体の6割以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、4割以上の施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」「学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。
- ・市民団体やNPOから協力を得ていると回答した施設では、全体の半数以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、4割近い施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」「学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。
- ・海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人から協力を得ていると回答した施設では、全体の半数の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。
- ・市民サポーターから協力を得ていると回答した施設では、全体の半数以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、4割の施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」、3分の1以上の施設が「学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。
- ・なお、「教科書に記載されている内容を伝えている」は、(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)、民間企業から協力を得ていると回答した施設で高い回答率を示している。

Ⅱ⑧協力内容（複数回答）×Ⅱ⑨学校教育との関連（複数回答）

< n 値 = 197 >

	合計	Ⅱ⑨					
		①教科書に記載されている内容を伝えている	②総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている	③体験学習ができる活動を行っている	④学校(小・中学校、高等学校等)に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている	⑤学校教育や学校のカリキュラムとは関連していない	
合計	197	24	50	76	53	111	
	100.0	12.2	25.4	38.6	26.9	56.3	
Ⅱ⑧	①教材の提供	70	9	23	34	28	38
		100.0	12.9	32.9	48.6	40.0	54.3
	②講師の派遣	109	15	32	53	33	60
		100.0	13.8	29.4	48.6	30.3	55.0
	③施設見学と解説の対応	42	8	17	21	14	21
		100.0	19.0	40.5	50.0	33.3	50.0
	④授業やプログラムの共同開発	28	4	17	18	19	9
		100.0	14.3	60.7	64.3	67.9	32.1
	⑤体験学習用の施設の利用	26	8	13	19	12	12
		100.0	30.8	50.0	73.1	46.2	46.2
	⑥体験学習に必要な機材の提供	52	11	21	29	24	23
		100.0	21.2	40.4	55.8	46.2	44.2
	⑦「海洋教育」の要素を含んだ活動に関する情報発信	35	6	12	15	11	21
		100.0	17.1	34.3	42.9	31.4	60.0
	⑧活動を実施する際の人的サポート	92	11	30	46	34	44
		100.0	12.0	32.6	50.0	37.0	47.8
	⑨その他	36	5	9	8	5	23
		100.0	13.9	25.0	22.2	13.9	63.9

- ・教材の提供を受けていると回答した施設では、全体の4割以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」「学校（小・中学校、高等学校等）に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。
- ・講師を派遣してもらっていると回答した施設では、全体の半数近くの施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。
- ・施設見学や解説の協力を得ていると回答した施設では、全体の半数の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、4割以上の施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」と回答している。
- ・授業やプログラムの共同開発を行っているという回答した施設では、全体の6割以上の施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」「体験学習ができる活動を行っている」「学校（小・中学校、高等学校等）に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。
- ・体験学習用の施設の利用に関して協力を得ていると回答した施設では、全体の7割以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、半数の施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」、4割以上の施設が「学校（小・中学校、高等学校等）に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。
- ・体験学習に必要な機材の提供を受けていると回答した施設では、全体の半数以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。また、4割以上の施設が「総合的な学習の時間での利用を考慮した活動を行っている」「学校（小・中学校、高等学校等）に出向いて行う移動博物館や出張授業を行っている」と回答している。

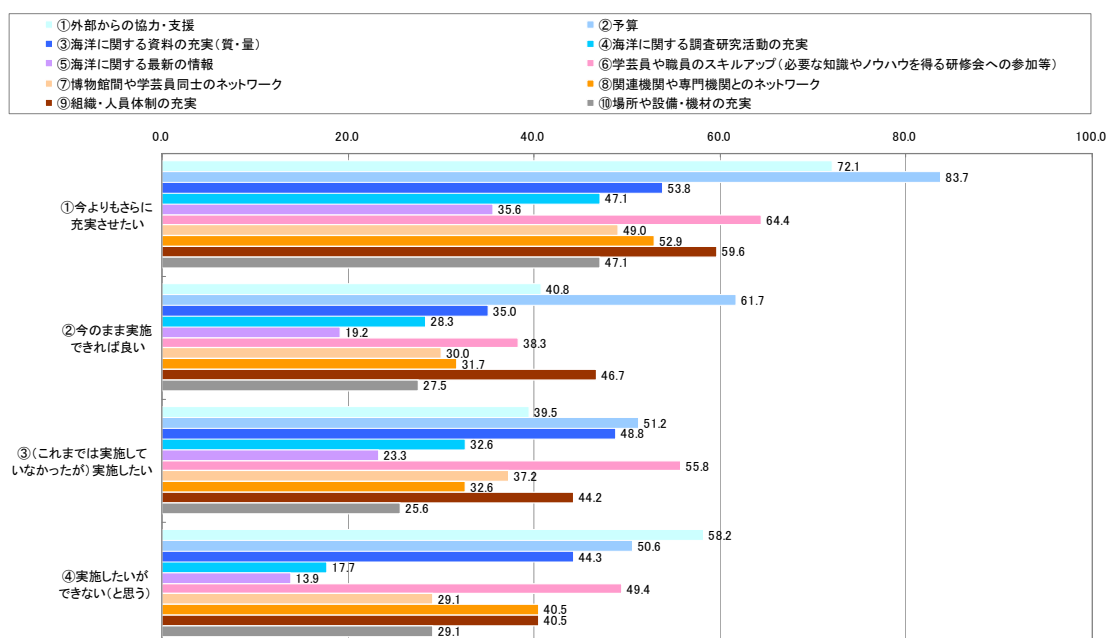
- ・海洋教育活動の情報発信に関して協力を得ていると回答した施設では、全体の4割以上の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。
- ・活動を実施する際に人的サポートを得ていると回答した施設では、全体の半数の施設が「体験学習ができる活動を行っている」と回答している。
- ・なお、「教科書に記載されている内容を伝えている」は、体験学習用の施設の利用に関して協力を得ていると回答した施設や、体験学習に必要な機材の提供を受けていると回答した施設で高い回答率を示している。

## ⑥ 「海洋教育」に関する各館の意向との関連性

Ⅲ③「海洋教育」に関する各館の意向 × Ⅳ④海洋教育活動推進に必要な事柄（複数回答）

< n 値=346 >

	合計	Ⅳ④											
		①外部からの協力・支援	②予算	③海洋に関する資料の充実(質・量)	④海洋に関する調査研究活動の充実	⑤海洋に関する最新の情報	⑥学芸員や職員のスキルアップ(必要な知識やノウハウを得る研修会への参加等)	⑦博物館間や学芸員同士のネットワーク	⑧関連機関や専門機関とのネットワーク	⑨組織・人員体制の充実	⑩場所や設備・機材の充実	⑪その他	
合計	346	187	223	154	111	81	176	126	139	169	116	9	
	100.0	54.0	64.5	44.5	32.1	23.4	50.9	36.4	40.2	48.8	33.5	2.6	
Ⅲ③	①今よりもさらに充実させたい	104	75	87	56	49	37	67	51	55	62	49	0
		100.0	72.1	83.7	53.8	47.1	35.6	64.4	49.0	52.9	59.6	47.1	-
	②今のまま実施できれば良い	120	49	74	42	34	23	46	36	38	56	33	2
		100.0	40.8	61.7	35.0	28.3	19.2	38.3	30.0	31.7	46.7	27.5	1.7
	③(これまでは実施していなかったが)実施したい	43	17	22	21	14	10	24	16	14	19	11	3
		100.0	39.5	51.2	48.8	32.6	23.3	55.8	37.2	32.6	44.2	25.6	7.0
	④実施したいができない(と思う)	79	46	40	35	14	11	39	23	32	32	23	4
		100.0	58.2	50.6	44.3	17.7	13.9	49.4	29.1	40.5	40.5	29.1	5.1
	⑤実施しない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



- ・海洋教育活動を今よりもさらに充実させたいと回答した施設は、他の意向（「今のまま実施できれば良い」など）を持つ施設に比べて、海洋教育活動推進に必要な事柄（対応）として設定した全ての選択肢に関して高い回答率を示している。特に、「外部からの協力・支援」「予算」「海洋に関する資料の充実（質・量）」「学芸員や職員のスキルアップ（研修会への参加等）」「関連機関や専門機関とのネットワーク」「組織・人員体制の充実」の回答率は高く、全体の半数以上の施設が回答している。
- ・海洋教育活動を（これまでは実施していなかったが）実施したいと回答した施設では、全体の半数以上の施設が「予算」「学芸員や職員のスキルアップ（研修会への参加等）」と回答している。また、4割以上の施設が「海洋に関する資料の充実（質・量）」「組織・人員体制の充実」と回答している。

- ・海洋教育活動を実施したいができない（と思う）と回答した施設では、全体の半数以上もしくは半数近くの施設が「外部からの協力・支援」「予算」「学芸員や職員のスキルアップ（研修会への参加等）」と回答している。
- ・なお、「海洋に関する調査研究活動の充実」と「博物館間や学芸員同士のネットワーク」は、海洋教育活動を今よりもさらに充実させたいと回答した施設や、海洋教育活動を（これまでは実施していなかったが）実施したいと回答した施設で高い回答率を示している。一方、「海洋に関する最新の情報」と「場所や設備・機材の充実」は、海洋教育活動を今よりもさらに充実させたいと回答した施設で高い回答率を示している。

Ⅲ③「海洋教育」に関する各館の意向 × Ⅲ⑤協力者の必要性＜種別＞（複数回答）

< n 値=182 >

	合計	Ⅲ⑤												
		①(自館以外の)博物館	②(自館以外の)学芸員	③博物館間連団体や博物館に関するネットワーク	④大学や研究機関	⑤(大学以外の)教育機関(小・中学校、高等学校等)	⑥漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体	⑦財団法人等の公益機関	⑧民間企業	⑨市民団体やNPO	⑩海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人	⑪市民サポーター	⑫その他	
合計	182	104	91	68	104	47	85	47	28	60	86	40	9	
	100.0	57.1	50.0	37.4	57.1	25.8	46.7	25.8	15.4	33.0	47.3	22.0	4.9	
Ⅲ③	①今よりもさらに充実させたい	73	37	30	34	46	29	44	25	16	29	38	23	3
		100.0	50.7	41.1	46.6	63.0	39.7	60.3	34.2	21.9	39.7	52.1	31.5	4.1
	②今のまま実施できれば良い	48	25	23	17	25	10	19	13	8	15	21	9	3
		100.0	52.1	47.9	35.4	52.1	20.8	39.6	27.1	16.7	31.3	43.8	18.8	6.3
	③(これまでは実施していなかったが)実施したい	17	11	9	5	9	1	7	4	1	5	6	3	2
	100.0	64.7	52.9	29.4	52.9	5.9	41.2	23.5	5.9	29.4	35.3	17.6	11.8	
④実施したいができない(と思う)	44	31	29	12	24	7	15	5	3	11	21	5	1	
	100.0	70.5	65.9	27.3	54.5	15.9	34.1	11.4	6.8	25.0	47.7	11.4	2.3	
⑤実施しない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

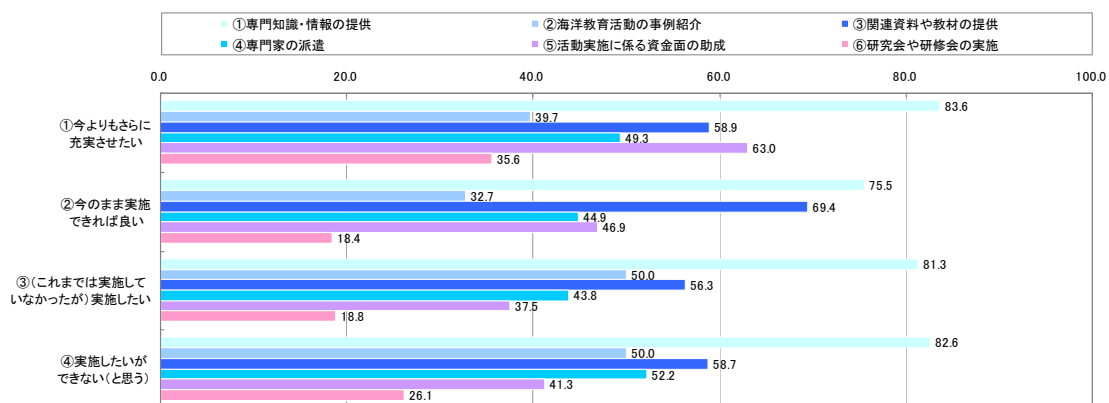
- ・海洋教育活動を今よりもさらに充実させたいと回答した施設では、全体の6割以上の施設が「大学や研究機関」「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」と回答している。また、半数以上の施設が「(自館以外の)博物館」「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」、4割以上の施設が「(自館以外の)学芸員」「博物館関連団体や博物館に関するネットワーク」と回答している。
- ・海洋教育活動は今のまま実施できれば良いと回答した施設では、全体の半数以上の施設が「(自館以外の)博物館」「大学や研究機関」と回答している。また、4割以上の施設が「(自館以外の)学芸員」「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」と回答している。
- ・海洋教育活動を（これまでは実施していなかったが）実施したいと回答した施設では、全体の6割以上の施設が「(自館以外の)博物館」と回答している。また、半数以上の施設が「(自館以外の)学芸員」「大学や研究機関」、4割以上の施設が「漁業協同組合等の漁業・水産業関連団体」と回答している。
- ・海洋教育活動を実施したいができない（と思う）と回答した施設では、全体の7割以上の施設が「(自館以外の)博物館」と回答している。また、6割以上の施設が「(自館以外の)学芸員」、半数以上の施設が「大学や研究機関」、4割以上の施設が「海洋に関する専門職業に従事している(従事していた)人」と回答している。

- ・なお、「(大学以外の) 教育機関 (小・中学校、高等学校等)」と「市民サポーター」は、海洋教育活動を今よりもさらに充実させたいと回答した施設で高い回答率を示している。一方、「財団法人等の公益機関」「民間企業」「市民団体やNPO」は、海洋教育活動を今よりもさらに充実させたいと回答した施設や、海洋教育活動は今のまま実施できれば良いと回答した施設で高い回答率を示している。

Ⅲ③「海洋教育」に関する各館の意向 × Ⅲ⑥求められる協力・支援内容 (複数回答)

< n 値 = 184 >

	合計	Ⅲ⑥							
		①専門知識・情報の提供	②海洋教育活動の事例紹介	③関連資料や教材の提供	④専門家の派遣	⑤活動実施に係る資金面の助成	⑥研究会や研修会の実施	⑦その他	
合計	184	149	76	113	89	94	50	10	
	100.0	81.0	41.3	61.4	48.4	51.1	27.2	5.4	
Ⅲ③	①今よりもさらに充実させたい	73	61	29	43	36	46	26	7
		100.0	83.6	39.7	58.9	49.3	63.0	35.6	9.6
	②今のまま実施できれば良い	49	37	16	34	22	23	9	1
		100.0	75.5	32.7	69.4	44.9	46.9	18.4	2.0
	③(これまでは実施していなかったが)実施したい	16	13	8	9	7	6	3	2
		100.0	81.3	50.0	56.3	43.8	37.5	18.8	12.5
	④実施したいができない(と思う)	46	38	23	27	24	19	12	0
		100.0	82.6	50.0	58.7	52.2	41.3	26.1	-
	⑤実施しない	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-



- ・海洋教育活動を今よりもさらに充実させたいと回答した施設では、全体の8割以上の施設が「専門知識・情報の提供」と回答している。また、6割以上の施設が「活動実施に係る資金面の助成」、半数以上もしくは半数近くの施設が「関連資料や教材の提供」「専門家の派遣」と回答している。
- ・海洋教育活動は今のまま実施できれば良いと回答した施設では、全体の4分の3以上の施設が「専門知識・情報の提供」と回答している。また、約7割の施設が「関連資料や教材の提供」と回答している。
- ・海洋教育活動を(これまでは実施していなかったが)実施したいと回答した施設では、全体の8割以上の施設が「専門知識・情報の提供」と回答している。また、半数以上の施設が「海洋教育活動の事例紹介」「関連資料や教材の提供」と回答している。
- ・海洋教育活動を実施したいができない(と思う)と回答した施設では、全体の8割以上の施設が「専門知識・情報の提供」と回答している。また、半数以上の施設が「海洋教育活動の事例紹介」「関連資料や教材の提供」「専門家の派遣」と回答している。



- ・なお、「研究会や研修会の実施」は、海洋教育活動を今よりもさらに充実させたいと回答した施設や、海洋教育活動を実施したいができない（と思う）と回答した施設で高い回答率を示している。